

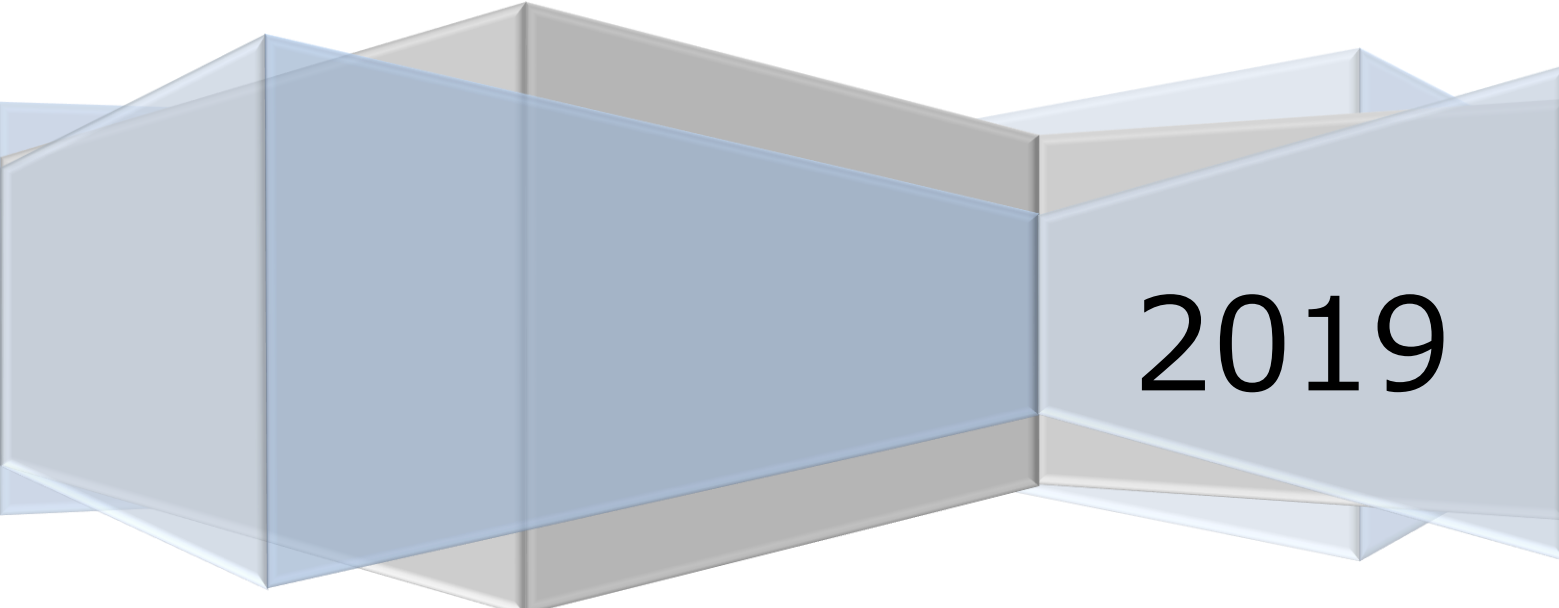
東京医科歯科大学教養部

教 育 要 項

－ 教養教育 －

医学部医学科 2・3 年

歯学部歯学科 2・3 年



2019

目次

2019年度医歯学融合教育（教養教育）	1
講義室一覧.....	2
教養教育	3
生命科学基礎	4
生命科学基礎（化学A）	5
生命科学基礎（化学B）	7
生命科学基礎（生物A）	9
生命科学基礎（生物B）	11
主題別教育（医学科・歯学科）について	13
主題別選択Ⅰ・Ⅱ	19
主題別選択Ⅰ（小説に見る日本語の変化と多様性(近代編)）	20
主題別選択Ⅰ（戦争と科学）	22
主題別選択Ⅰ（ロシア・中央ユーラシアの文化と生活）	24
主題別選択Ⅰ（スポーツと心）	26
主題別選択Ⅰ（フランス文学を読む）	28
主題別選択Ⅰ（ドイツとヨーロッパの社会）	30
主題別選択Ⅰ（学習・記憶と言語）	34
主題別選択Ⅰ（情報機械と人間）	35
主題別選択Ⅰ（医歯系のための物理）	37
主題別選択Ⅰ（物理数学演習）	39
主題別選択Ⅰ（科学と疑似科学の境界）	40
主題別選択Ⅰ（食品の科学）	42
主題別選択Ⅰ（生物の中の糖）	44
主題別選択Ⅰ（宇宙と生命）	46
主題別選択Ⅰ（生物間のコミュニケーション）	47
主題別選択Ⅰ（医療の社会学）	49
主題別選択Ⅰ（ヒトの脳と言語）	51
主題別選択Ⅰ（Explorations in Literature Philosophy and Science）	53
主題別選択Ⅰ（生命科学と技術）	55
主題別選択Ⅰ（小説に見る日本語の変化と多様性(現代編)）	56
主題別選択Ⅰ（生命倫理を問いなおす）	58
主題別選択Ⅰ（ロシア・中央ユーラシアの文化と歴史）	60
主題別選択Ⅰ（スポーツと健康）	62
主題別選択Ⅰ（フランス詩を読む）	64
主題別選択Ⅰ（ドイツとヨーロッパの現在）	66
主題別選択Ⅰ（学習・記憶と老化）	69
主題別選択Ⅰ（情報社会と人間）	71
主題別選択Ⅰ（人体・医療の物理）	73

主題別選択Ⅰ（微分方程式演習）	75
主題別選択Ⅰ（タンパク質科学の光と影）	76
主題別選択Ⅰ（植物の科学）	78
主題別選択Ⅰ（危険物の科学）	80
主題別選択Ⅰ（老化と寿命）	82
主題別選択Ⅰ（環境への適応）	83
主題別選択Ⅰ（民主主義を再考する）	85
主題別選択Ⅰ（英語で学ぶヒトの脳と言語）	87
主題別選択Ⅰ（Understanding Language and Society）	89
主題別選択Ⅰ（生命科学と医学）	90
主題別選択Ⅱ（小説に見る日本語の変化と多様性(近代編)）	91
主題別選択Ⅱ（戦争と科学）	93
主題別選択Ⅱ（ロシア・中央ユーラシアの文化と生活）	95
主題別選択Ⅱ（スポーツと心）	97
主題別選択Ⅱ（フランス文学を読む）	99
主題別選択Ⅱ（ドイツとヨーロッパの社会）	101
主題別選択Ⅱ（学習・記憶と言語）	104
主題別選択Ⅱ（情報機械と人間）	105
主題別選択Ⅱ（医歯系のための物理）	107
主題別選択Ⅱ（物理数学演習）	109
主題別選択Ⅱ（科学と疑似科学の境界）	110
主題別選択Ⅱ（食品の科学）	112
主題別選択Ⅱ（生物の中の糖）	114
主題別選択Ⅱ（宇宙と生命）	116
主題別選択Ⅱ（生物間のコミュニケーション）	117
主題別選択Ⅱ（医療の社会学）	119
主題別選択Ⅱ（ヒトの脳と言語）	121
主題別選択Ⅱ（Explorations in Literature Philosophy and Science）	123
主題別選択Ⅱ（生命科学と技術）	125
主題別選択Ⅱ（小説に見る日本語の変化と多様性(現代編)）	126
主題別選択Ⅱ（生命倫理を問いなおす）	128
主題別選択Ⅱ（ロシア・中央ユーラシアの文化と歴史）	130
主題別選択Ⅱ（スポーツと健康）	132
主題別選択Ⅱ（フランス詩を読む）	134
主題別選択Ⅱ（ドイツとヨーロッパの現在）	136
主題別選択Ⅱ（学習・記憶と老化）	139
主題別選択Ⅱ（情報社会と人間）	141
主題別選択Ⅱ（人体・医療の物理）	143
主題別選択Ⅱ（微分方程式演習）	145
主題別選択Ⅱ（タンパク質科学の光と影）	146

主題別選択Ⅱ（植物の科学）	148
主題別選択Ⅱ（危険物の科学）	150
主題別選択Ⅱ（老化と寿命）	152
主題別選択Ⅱ（環境への適応）	153
主題別選択Ⅱ（民主主義を再考する）	155
主題別選択Ⅱ（英語で学ぶヒトの脳と言語）	157
主題別選択Ⅱ（Understanding Language and Society）	159
主題別選択Ⅱ（生命科学と医学）	160
主題別人文社会科学セミナー・講義.....	161
医学科・歯学科（3年生）：主題別人文社会科学セミナー・講義スケジュール	162
人文社会科学講義（医療と社会）	163
人文社会科学講義（医療と法）	165
主題別人文社会科学セミナー（文化と人間）	167
主題別人文社会科学セミナー（生命と人間）	169
主題別人文社会科学セミナー（言語と人間）	171
主題別人文社会科学セミナー（制度と人間）	174
主題別人文社会科学セミナー（時間と人間）	176
東京医科歯科大学全学共通科目履修規則	179

2019年度医歯学融合教育（教養教育）

● 医学科・歯学科(2年生)

月日	曜日	回数	1時限(9:00～9:50)	2時限(10:05～10:55)	3時限(11:10～12:00)
4月4日	木	1	生命科学基礎(生物学) (医学科・歯学科2年生対象) (医学科講義室1 および共用講義室2)	主題別選択Ⅰ(前半) (医学科・歯学科2年生対象) (教養部教員) (講義室:次ページ参照)	
4月11日	木	2			
4月18日	木	3			
4月25日	木	4			
5月9日	木	5			
5月16日	木	6			
5月23日	木	7			
5月30日	木	8			
6月6日	木	9			
6月13日	木	10			
6月20日	木	11			
6月27日	木	12			
7月4日	木	13			
7月11日	木	14			
7月18日	木	15			
9月5日	木		試験	試験	主題別選択Ⅰ(予備日)
9月12日	木				生命科学基礎(生物・予備日)
9月26日	木	1	生命科学基礎(化学) (医学科・歯学科2年生対象) (医学科講義室1 および共用講義室2)		
10月3日	木	2			
10月10日	木	3			
10月17日	木	4			
10月24日	木				
10月31日	木	5	※11/7の共用講義室2は症例検討 室へ変更となります。 生命科学基礎(化学) (医学科・歯学科2年生対象) (医学科講義室1 および共用講義室2)		
11月7日	木	6			
11月14日	木	7			
11月21日	木	8			
11月28日	木	9			
12月5日	木	10			
12月12日	木	11			
12月19日	木	12			
1月9日	木	13			
1月16日	木	14			
1月23日	木	15			
1月30日	木	予備	生命科学基礎(化学) (医学科・歯学科2年生対象) 予備日		
2月6日	木		試験	試験	
2月20日	木		試験	試験	試験

● 医学科・歯学科(3年生)

月日	曜日	回数	1時限(9:00～9:50)	2時限(10:05～10:55)	3時限(11:10～12:00)
4月4日	木	1		主題別選択Ⅱ(前半) (医学科・歯学科3年生対象) (教養部教員) (講義室: 次ページ参照)	主題別人文社会科学セミナー (前期: 前半) (医学科・歯学科3年生対象) (教養部教員) (講義室: 次ページ参照)
4月11日	木	2			
4月18日	木	3			
4月25日	木	4			
5月9日	木	5			
5月16日	木	6			
5月23日	木	7			
5月30日	木	8			
6月6日	木	9			
6月13日	木	10			
6月20日	木	11		主題別選択Ⅱ(後半) (医学科・歯学科3年生対象) (教養部教員) (講義室: 次ページ参照)	主題別人文社会科学セミナー (前期: 後半) (医学科・歯学科3年生対象) (教養部教員) (講義室: 次ページ参照)
6月27日	木	12			
7月4日	木	13			
7月11日	木	14			
7月18日	木	15			
9月5日	木		主題別人文社会科学セミナー(予備日)		主題別選択Ⅱ(予備日)
9月26日	木	1			主題別人文社会科学セミナー (後期: 前半) (医学科・歯学科3年生対象) (教養部教員)(講義室: 次ページ参照)
10月3日	木	2			
10月10日	木	3			
10月17日	木				主題別人文社会科学セミナー (後期: 前半) (医学科・歯学科3年生対象) (教養部教員)(講義室: 次ページ参照)
10月24日	木	4			
10月31日	木	5			主題別人文社会科学セミナー (後期: 後半) (医学科・歯学科3年生対象) (教養部教員)(講義室: 次ページ参照)
11月7日	木	6			
11月14日	木	7			
11月21日	木	8			
11月28日	木	9			
12月5日	木	10			
12月12日	木	11			
12月19日	木	12			
1月9日	木	13			
1月16日	木	14			
1月23日	木	15			
1月30日	木	予備			主題別人文社会科学セミナー (後期: 後半) (医学科・歯学科3年生対象) 予備日

講義室一覧

(生命科学基礎)

	講義室	場所
1	医学科講義室1	3号館2階
2	共用講義室2	M&Dタワー2階

(※)11月17日(木)は、医学科講義室2に変更

(主題別選択Ⅰ・Ⅱ)

	講義室	場所
1	医学科講義室1	3号館2階
2	医学科講義室2	3号館3階
3	共用セミナー1	M&Dタワー24階
4	共用セミナー2	M&Dタワー23階
5	共用セミナー3	M&Dタワー23階
6	共用セミナー4	M&Dタワー22階
7	共用セミナー5	M&Dタワー15階
8	共用セミナー6	M&Dタワー15階
9	共用セミナー7	M&Dタワー14階
10	共用セミナー10	M&Dタワー8階
11	共用セミナー11	M&Dタワー6階
12	共用セミナー12	M&Dタワー6階
13	大学院講義室2	M&Dタワー13階
14	大学院講義室3	M&Dタワー11階
15	共用講義室2	M&Dタワー2階
16	演習室4-11.12	3号館4階
17	演習室5-1.2	3号館5階
18	演習室5-3.4	3号館5階
19	難治疾患研究所セミナー室	M&Dタワー22階

(主題別人文社会科学セミナー・講義)

	講義室	場所
1	医学科講義室2	3号館3階
2	大学院講義室2	M&Dタワー13階
3	大学院講義室3	M&Dタワー11階
4	アクティブラーニングルーム	M&Dタワー4階
5	共用講義室2	M&Dタワー2階
6	第4ゼミナール室	7号館6階
7	共用セミナー6	M&Dタワー15階
8	共用セミナー7	M&Dタワー14階
9	共用セミナー10	M&Dタワー8階
10	共用セミナー11	M&Dタワー6階
11	共用セミナー12	M&Dタワー6階

(※)10月24日(木)、11月7日(木)は、医学科講義室2に変更

教養教育

世界に通用する医療人になるためには、専門教育で獲得する知と技に加えて、様々な文化や多様な世界を理解できる教養と、他者を理解するための人間としての力が求められています。教養部では、そのためには、教養教育と、専門教育を学ぶための基礎教育を並行して行うことが必要だと考えています。

1年次には国府台キャンパスで、自然科学や人文社会科学の基本的な考え方を学ぶとともに基礎学力の充実を図りました。2年次と3年次には湯島キャンパスで、専門教育と密接にかかわる自然科学の分野を「生命科学基礎」として学びます。さらに、自然科学、人文社会科学、語学について複合的に学ぶことをとおして、自己問題提起・解決型の想像力を付けることを目的とした、「主題別選択Ⅰ・Ⅱ」と「主題別人文社会科学セミナー」の授業が行われます。

科目概要

1) 生命科学基礎（生物学・化学）

1年次の学習だけでは不十分であった生物学、化学の内容を補うとともに、生命科学に関するトピックも取り上げ、医歯学の専門に関わる教育の基礎となる科学を総合的に学ぶことで、基礎学力のさらなる充実を図り、専門教育への円滑につないでいくことを目的としています。

2) 主題別選択Ⅰ・Ⅱ

「人間」という存在について、人間を生物的社会的存在たらしめている要素である「文化」「生命」「言語」「制度」「時間」という5つの視点の中から各自が1つの視点を選択し、その視点から「人間」を考えてみる授業です。3年次に行われる「主題別人文社会科学セミナー」へ向け、視野を広げ、基礎的な知識や考え方を身につけることを目的としています。

3) 主題別人文社会科学セミナー

各主題に別れて、担当者の指導のもと、自ら問題を設定し、調査・考察・討論を経て、一定の結論を導きます。自分が選択した主題の観点を中心に、「人間」という存在について、自分の考えを持つことが期待されています。

生命科学基礎

時間割番号	000501				
科目名	生命科学基礎（化学 A）				
担当教員	奈良 雅之, 澤野 頼子				
開講時期	通年	対象年次	2		
・曜日・時間: 木曜1限 ・対象学科: 医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 4ー2) 生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける					
主な講義場所 医学科講義室 1、共用講義室 2					
授業の目的、概要等 1 年次の学習だけでは不十分な化学の分野を補うとともに、生命科学に関係するトピックを取り上げることにより、専門教育の土台となる科学的な基礎体力を養います。医歯学の専門に関わる教育の基礎となる科学を総合的に学習することにより、専門教育へ円滑につないでいくことを目的としています。					
授業の到達目標 生命科学の土台となる化学について、必要に応じて自学自習で理解を深めることができる。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	9/26	09:00-09:50	医学科講義室 1	反応速度論(1)	奈良 雅之
2	10/3	09:00-09:50	医学科講義室 1	反応速度論(2)	奈良 雅之
3	10/10	09:00-09:50	医学科講義室 1	反応速度論(3)	奈良 雅之
4	10/17	09:00-09:50	医学科講義室 1	反応速度論(4)	奈良 雅之
5	10/31	09:00-09:50	医学科講義室 1	反応速度論(5)	奈良 雅之
6	11/7	09:00-09:50	医学科講義室 1	生体高分子論(1)	澤野 頼子
7	11/14	09:00-09:50	医学科講義室 1	生体高分子論(2)	澤野 頼子
8	11/21	09:00-09:50	医学科講義室 1	生体高分子論(3)	澤野 頼子
9	11/28	09:00-09:50	医学科講義室 1	生体高分子論(4)	澤野 頼子
10	12/5	09:00-09:50	医学科講義室 1	生体高分子論(5)	澤野 頼子
11	12/12	09:00-09:50	医学科講義室 1, 共用講義室 2	医学または歯学特論 (1)	奈良 雅之
12	12/19	09:00-09:50	医学科講義室 1, 共用講義室 2	医学または歯学特論 (2)	奈良 雅之
13	1/9	09:00-09:50	医学科講義室 1, 共用講義室 2	医学または歯学特論 (3)	奈良 雅之
14	1/16	09:00-09:50	医学科講義室 1, 共用講義室 2	医学または歯学特論 (4)	奈良 雅之
15	1/23	09:00-09:50	医学科講義室 1, 共用講義室 2	医学または歯学特論 (5)	奈良 雅之
授業方法 主に講義形式で授業を行います。適宜、演習、ディスカッションなどアクティブラーニングを取り入れます。					
授業内容 第 1 週から第 10 週は習熟度別で生命科学に関係する生体高分子、反応速度論を学習します。 第 11 週から第 15 週は学科別で医学、歯学に関連した化学に関するトピックを学習します。					
成績評価の方法 評価: 試験 100% ・レポート0% その他(授業中の回答状況等も考慮される。) 再評価: 有 再試験					
成績評価の基準					

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 予習: 授業で行う項目について、講義資料(WebClass に掲載)、教科書・参考書などをあらかじめ読んでおく。 復習: 授業で扱った項目について、教科書・参考書で確認し、演習問題などを通じて理解を深める。
試験の受験資格 定期試験(考査)・再試験の受験資格: 原則3分の2以上出席
教科書 生体分子化学／秋久俊博, 長田洋子 編, 秋久俊博, 長田洋子, 浅田泰男, 石塚盛雄, 小池一男, 神野英毅, 西尾俊幸, 宮澤三雄 著, 共立出版, 2008 数学いらずの化学反応論: 反応速度の基本概念を理解するために／齋藤勝裕 著, 化学同人, 2009
参考書 マクマリー有機化学(下)／JOHN McMURRY／著, 伊東椒／訳者代表, 児玉三明／訳者代表, McMurry, John, 伊東 椒, 児玉: 東京化学同人, 2017 アトキンス生命科学のための物理化学／Peter Atkins, Julio de Paula 著, 稲葉章, 中川敦史 訳, 東京化学同人, 2008 ライフサイエンス系の高分子化学 新版／宮下 徳治 (編著): 三共出版, 2010
履修上の注意事項 生命科学基礎の評価は、生物学、化学の総合評価で行う。前期の定期試験では生物学、後期の定期試験では化学について行う。試験のいずれか1つでも受験を放棄した場合、履修放棄とみなす。
連絡先 奈良 雅之: nara.las@tmd.ac.jp 澤野 頼子: sawano.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 奈良 雅之: 毎週水曜日 PM.0:00-PM.2:00, 毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4 階 澤野 頼子: 毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4 階

時間割番号	000502				
科目名	生命科学基礎（化学B）				
担当教員	奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行				
開講時期	通年	対象年次	2		
・曜日・時間: 木曜1限 ・対象学科: 医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 4－2) 生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける					
主な講義場所 共用講義室 2、医学科講義室 1					
授業の目的、概要等 1年次の学習だけでは不十分な化学の分野を補うとともに、生命科学に関係するトピックを取り上げることにより、専門教育の土台となる科学的な基礎体力を養います。医歯学の専門に関わる教育の基礎となる科学を総合的に学習することにより、専門教育へ円滑につないでいくことを目的としています。					
授業の到達目標 生命科学の土台となる化学について、必要に応じて自学自習で理解を深めることができる。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	9/26	09:00-09:50	共用講義室 2	生体高分子論(1)	澤野 頼子
2	10/3	09:00-09:50	共用講義室 2	生体高分子論(2)	澤野 頼子
3	10/10	09:00-09:50	共用講義室 2	生体高分子論(3)	澤野 頼子
4	10/17	09:00-09:50	共用講義室 2	生体高分子論(4)	澤野 頼子
5	10/31	09:00-09:50	共用講義室 2	生体高分子論(5)	澤野 頼子
6	11/7	09:00-09:50	共用講義室 2	反応速度論(1)	奈良 雅之
7	11/14	09:00-09:50	共用講義室 2	反応速度論(2)	奈良 雅之
8	11/21	09:00-09:50	共用講義室 2	反応速度論(3)	奈良 雅之
9	11/28	09:00-09:50	共用講義室 2	反応速度論(4)	奈良 雅之
10	12/5	09:00-09:50	共用講義室 2	反応速度論(5)	奈良 雅之
11	12/12	09:00-09:50	医学科講義室 1, 共用講義室 2	歯学または医学特論(1)	澤野 頼子
12	12/19	09:00-09:50	医学科講義室 1, 共用講義室 2	歯学または医学特論(2)	澤野 頼子
13	1/9	09:00-09:50	医学科講義室 1, 共用講義室 2	歯学または医学特論(3)	勝又 敏行
14	1/16	09:00-09:50	医学科講義室 1, 共用講義室 2	歯学または医学特論(4)	勝又 敏行
15	1/23	09:00-09:50	医学科講義室 1, 共用講義室 2	歯学または医学特論(5)	勝又 敏行
授業方法 主に講義形式で授業を行います。適宜、演習、ディスカッションなどアクティブラーニングを取り入れます。					
授業内容 第1週から第10週は習熟度別で生命科学に関係する生体高分子、反応速度論を学習します。 第11週から第15週は学科別で医学、歯学に関連した化学に関するトピックを学習します。					
成績評価の方法 評価: 試験 100% ・レポート0% その他(授業中の回答状況等も考慮される。) 再評価: 有 再試験					
成績評価の基準					

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 予習: 授業で行う項目について、講義資料(WebClass に掲載)、教科書・参考書などをあらかじめ読んでおく。 復習: 授業で扱った項目について、教科書・参考書で確認し、演習問題などを通じて理解を深める。
試験の受験資格 定期試験(考査)・再試験の受験資格: 原則3分の2以上出席
教科書 生体分子化学／秋久俊博, 長田洋子 編, 秋久俊博, 長田洋子, 浅田泰男, 石塚盛雄, 小池一男, 神野英毅, 西尾俊幸, 宮澤三雄 著, 共立出版, 2008 数学いらずの化学反応論: 反応速度の基本概念を理解するために／齋藤勝裕 著, 化学同人, 2009
参考書 マクマリー有機化学(下)／JOHN McMURRY／著, 伊東椒／訳者代表, 児玉三明／訳者代表, McMurry, John, 伊東 椒, 児玉: 東京化学同人, 2017 アトキンス生命科学のための物理化学／Peter Atkins, Julio de Paula 著, 稲葉章, 中川敦史 訳, 東京化学同人, 2008 ライフサイエンス系の高分子化学 新版／宮下 徳治 (編著): 三共出版, 2010
履修上の注意事項 生命科学基礎の評価は、生物学、化学の総合評価で行う。前期の定期試験では生物学、後期の定期試験では化学について行う。試験のいずれか1つでも受験を放棄した場合、履修放棄とみなす。
連絡先 奈良 雅之: nara.las@tmd.ac.jp 澤野 頼子: sawano.las@tmd.ac.jp 勝又 敏行: katsumata.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 奈良 雅之: 毎週水曜日 PM.0:00-PM.2:00, 毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4 階 澤野 頼子: 毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4 階 勝又 敏行: 毎週金曜日 12:00-13:00 ヒポクラテス 2 階化学実験準備室

時間割番号	000505			
科目名	生命科学基礎（生物 A）			
担当教員	伊藤 正則			
開講時期	通年	対象年次	2	
・曜日・時間:木曜 1 限 ・対象学科:医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) 4-2)生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎 学力・思考力を身につける。				
主な講義場所 3 号館、医学科講義室 1				
授業の目的、概要等 1 年次の学習だけでは不十分な生物学の分野を補うとともに、生命科学のトピックスを取り上げることにより、専門教育の基礎となる部分を学習する。また、医歯学の専門と関わる教育の基礎部分を総合的に理解することにより、専門教育へ円滑につないでいくことを目的とする。				
授業の到達目標 1)医歯学専門教育の基礎生命科学のトピックスについて理解し、説明することができる。 2)生命科学の基礎的な分野について必要に応じて自学自習を行い、理解を深めることができる。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/4	09:00-09:50	医学科講義室 1	伊藤 正則
2	4/11	09:00-09:50	医学科講義室 1	伊藤 正則
3	4/18	09:00-09:50	医学科講義室 1	伊藤 正則
4	4/25	09:00-09:50	医学科講義室 1	伊藤 正則
5	5/9	09:00-09:50	医学科講義室 1	伊藤 正則
6	5/16	09:00-09:50	医学科講義室 1	伊藤 正則
7	5/23	09:00-09:50	医学科講義室 1	伊藤 正則
8	5/30	09:00-09:50	医学科講義室 1	伊藤 正則
9	6/6	09:00-09:50	医学科講義室 1	伊藤 正則
10	6/13	09:00-09:50	医学科講義室 1	伊藤 正則
11	6/20	09:00-09:50	医学科講義室 1	伊藤 正則
12	6/27	09:00-09:50	医学科講義室 1	伊藤 正則
13	7/4	09:00-09:50	医学科講義室 1	伊藤 正則
14	7/11	09:00-09:50	医学科講義室 1	伊藤 正則
15	7/18	09:00-09:50	医学科講義室 1	伊藤 正則
授業方法 基本的には講義形式による。毎回、コメントシートに疑問点などを記述し、提出する。次の講義においてこの問題点に対する答えを述べる。また、課題を出す。その課題に対する答えをレポートにまとめ提出する。数名の学生を指名し、指名された学生は板書などの方法を用いて答を導いた過程を含めて発表する。				
授業内容 生命科学のトピックスを取り上げ、基本的な知識とその知識の発展性・応用性を説明する。				
成績評価の方法 評価:試験による。生物学と化学の総合的評価による。前期の定期試験では生物学、後期の定期試験では化学の試験を行う。 試験のいずれか1つでも受験を放棄した場合、履修放棄とみなす。 再評価:有				

成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。
準備学習などについての具体的な指示 知識が体系的になるようにノートを整理する等の複習を行うこと。質問があればリアクションペーパーに記入すること。次週の授業で質問に答える。
試験の受験資格 2/3 以上出席したものに試験の受験資格を与える。
教科書 必要に応じて参考資料を配布する。
参考書 時間生物学の基礎／富岡憲治, 沼田英治, 井上慎一 共著, :裳華房, 2003 よくわかるゲノム医学：ヒトゲノムの基本から個別化医療まで／服部成介, 水島-菅野純子 著,菅野純夫 監修,:羊土社, 2016 必要に応じて紹介する。
履修上の注意事項 出欠管理システムで出欠を記録する。
連絡先 itohmt.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週月曜日 AM.10:00-PM.2:00 ヒポクラテスホール4階生物学教員研究室

時間割番号	000506			
科目名	生命科学基礎（生物B）			
担当教員	服部 淳彦			
開講時期	通年	対象年次	2	
・曜日・時間：木曜1限 ・対象学科：医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー） 4－2）生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける				
授業の目的、概要等 1年次の学習だけでは不十分な生物学の分野を補うとともに、生命科学のトピックスである『時間生物学・時間医療科学』を取り上げることにより、専門教育の基盤を学習する。また、医歯学の専門の基礎部分を総合的に理解することにより、専門教育へ円滑につないでいくことを目的とする。				
授業の到達目標 1) 医歯学専門教育の基礎生命科学のトピックスについて理解し、説明することができる。 2) 生命科学の基礎的な分野について必要に応じて自学自習を行い、理解を深めることができる。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/4	09:00-09:50	共用講義室 2	服部 淳彦
2	4/11	09:00-09:50	共用講義室 2	服部 淳彦
3	4/18	09:00-09:50	共用講義室 2	服部 淳彦
4	4/25	09:00-09:50	共用講義室 2	服部 淳彦
5	5/9	09:00-09:50	共用講義室 2	服部 淳彦
6	5/16	09:00-09:50	共用講義室 2	服部 淳彦
7	5/23	09:00-09:50	共用講義室 2	服部 淳彦
8	5/30	09:00-09:50	共用講義室 2	服部 淳彦
9	6/6	09:00-09:50	共用講義室 2	服部 淳彦
10	6/13	09:00-09:50	共用講義室 2	服部 淳彦
11	6/20	09:00-09:50	共用講義室 2	服部 淳彦
12	6/27	09:00-09:50	共用講義室 2	服部 淳彦
13	7/4	09:00-09:50	共用講義室 2	服部 淳彦
14	7/11	09:00-09:50	共用講義室 2	服部 淳彦
15	7/18	09:00-09:50	共用講義室 2	服部 淳彦
授業方法 講義と一部グループワークや演習形式による。				
授業内容 生命科学の中でも『時間生物学・時間医療科学』のトピックスを中心に、生命現象の背後にある『時間』という概念の基本的な知識とその発展・応用例を取り上げる。				
成績評価の方法 評価：生命現象について総合的に理解するための基礎学力をつけるために 試験：90%、授業内でのグループワークや演習への貢献度、質問への回答等：10% 生物学と化学の各試験の成績を元に総合評価を行う。前期は生物学の試験、後期は化学の試験を行う。試験のいずれか1つでも受験しなかった場合は履修放棄とみなす。 再評価：有（再試験の成績は60点を上限とする）				
成績評価の基準				

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。
準備学習などについての具体的な指示 講義の内容と関連のある書物を読むこと。
教科書 適宜関連するプリントを配布する。
参考書 時間生物学の基礎／富岡憲治, 沼田英治, 井上慎一 共著, :裳華房, 2003
連絡先 ahattori.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週 水曜:12:30～14:00 金曜:10:30～12:30 ヒポ 4F 教員研究室(A2)

主題別教育（医学科・歯学科）について

【目的】

人間とは何か。これまで、偉大な先人達が、「人間」の解明にあらゆる観点からいどみ、説明を試みてきました。それらは、「知」として蓄積され、私たちをさらなる思索へと導いてくれます。

あらゆる学問は、この人間について思索をめぐらせ、理論化しようとするところから始まったといってもよいでしょう。人間とは甚だ不可思議な、得体の知れない存在です。私たちは、このよく分からない人間として、よく分からない人間が構築する世界で、よく分からない人間と一緒に生きていかねばなりません。人間をめぐる思索は、自分自身の姿、あるいは自分たちが生きる世界の構造を明らかにしようとする営みにほかならず、人間として生きていく上での必然的行為であり、人間の宿命であるともいえます。

主題別教育は、この「人間」という存在について、人間を生物的社会的存在たらしめている要素である「文化」「生命」「言語」「制度」「時間」という5つの視点から考えてみようという取り組みです。

ゴールは、3年次に行う「主題別人文社会科学セミナー」です。このセミナーでは、各主題に分かれて、担当者の指導のもと、自ら問題を設定し、調査・考察・討論を経て、一定の結論を導出します。1年次および2年次には、その準備として、視野を広げ、基礎的な知識や考え方を身につけます。

セミナー修了時には、みなさんは、自分が選択した主題の観点を中心に、「人間」という存在について、自分なりの考えを持つことになるでしょう。もちろん、それは「絶対的な正解」ではありません。しかし、各自が、3年間かけてたどりついた一つの「結論」です。

そして、この「結論」は、さらなる「新たな問い」を生みだし、「思索」を促し、「新たな結論」へとみなさんを導くでしょう。この、「問い」から「結論」へ、そして「新たな問い」へという、とどまるところを知らない学問のダイナミズムを体験すること、そして、自ら思索する力強さを身につけること、これが主題別教育の目的です。

ここでの取り組みは、将来、「人間」そのものを対象とすることになる医学・歯学系の皆さんを支える、大きな力となるはずです。

【5つの主題】

文化と人間	生命と人間	言語と人間	制度と人間	時間と人間
-------	-------	-------	-------	-------

各主題の目的は次の通りです。

文化と人間	文化とは、人間が創造し習得する精神的な価値の総体である。また、文化とは象徴的記号の体系である。そのような文化を理解することによって、人間の本質を捉えようとするのが目的である。
生命と人間	人間を含むあらゆる生物には生命が宿っている。医療はその生命と常に向き合わなければならない。その生命の多様な現象と、それに対する人間の様々な認識のありようを理解することが目的である。
言語と人間	人間と動物とを区別する最大の要素は言語の使用にある。人間は言語によって、自らの世界を構築してきた。その言語に関する様々な事象を理解することによって、人間の本質を捉えようとするのが目的である。
制度と人間	社会的生物である人間は、様々な制度に取り巻かれて生きている。その制度を相対的に理解することと、制度の構造を分析することによって、人間のありようを理解することが目的である。
時間と人間	人間は時間的存在であり、時間的拘束のもとに生きている。時間を相対的に理解し、その構造を明らかにすることによって、人間存在の本質を理解することが目的である。

上の5つの主題の中から、1つ選択します。各主題とも、定員は約30名です。

3年次の「主題別人文社会科学セミナー」は、この主題に分かれて開講されます。各セミナーは、1年次の人文社会科学科目の「主題に関連の深い科目」の担当者が担当する予定です（この1年次人文社会科学の「主題に関連の深い科目」については、次の【各学年の履修について】で説明します）。

どの主題に進むかを決定する時期は、2年進級時です。1年生の2月に「希望調査」を取り、希望を考慮しながら、各主題とも約30名になるように振り分けます。

1年生の間に、色々な科目を履修しながら、自分がどの主題を選択するかを考えておいて下さい。

【各学年の履修について】

1 年生：基盤の形成

必修科目・必修選択科目・自由選択科目などで、さまざまな分野の科目が開講されています。それらに取り組むことにより、それぞれの学問分野における基礎的な知識や、科学的な思考方法を身につけます。

同時に、人間に関する根源的な問いに対して、これまで人間自身がどのようにアプローチし、どのように理論化してきたのかということを学びます。そして、「問いの継続と発展」という学問のありようを理解します。

1 年生は、このように 3 年生のセミナーに向けて基礎体力を養いながら、自分がどの主題に進むかを考える期間です。

特に、人文社会科学科目には、「主題に関連の深い科目」は設けられています（下表）。自分が進むかもしれないと思う主題については、その「主題に関連の深い科目」の中にある科目を、積極的に履修しておくことをお勧めします。

主題に関連の深い科目は次の通りです。各授業の内容については、それぞれのシラバスを参照して下さい。

主題	関連の深い科目
文化と人間	文化人類学、歴史学、社会学
生命と人間	哲学、倫理学、宗教学
言語と人間	文学、哲学、文化人類学
時間と人間	歴史学、社会思想史、社会学
制度と人間	政治学、法学、社会科学特論

2・3 年生前期：主題別選択科目—視点の拡充—

2・3 年生では、前期の木曜日午前中に、「主題別選択科目」が開講されます。

「主題別選択科目」とは、主題について考察できる、様々な学問分野にまたがった複合的な内容の選択科目です。各科目とも、50 分間の授業が 7 回行われます。2 年生と 3 年生が合同で受講します。具体的には、各主題において、下表のような科目が開講されます。開講科目は、若干の変更の可能性があります。2 年前期の前半 8 回、前期の後半 7 回、3 年前期の前半 8 回、前期の後半 7 回にそれぞれ 1 科目ずつ履修します。自分が選択した主題の「主題別選択科目」の中から 2 科目以上を履修することが必要です。ただし、2 年前期の前半・後半はいずれも、自分が選択した主題の「主題別選択科目」の中から履修しなければなりません。また、同一教員の科目を 2 回以上選択することはできません。前半 8 回と後半 7 回、合計 2 科目を履修して、1 単位取得となります。

(例)「言語と人間」を選択した学生

→2年前期の前半8回「生物間のコミュニケーション」履修

〃 後半7回「フランス詩を読む」履修

(この2科目で1単位取得)

主題	主題別選択科目 (2019 年度開講)	
	2 年の前期前半 8 回 (50 分×8 回)	2 年の前期後半 7 回 (50 分×7 回)
文化と人間	戦争と科学 (田中) スポーツと心 (水野) フランス文学を読む (中島) ドイツとヨーロッパの社会 (シンチ) 医歯系のための物理 (檜枝) 物理数学演習 (越野) 科学と疑似科学の境界 (奈良) 食品の科学 (澤野) Crazy Little Thing Called Love: Explorations in Literature and Science (チャンネル)	生命倫理を問いなおす (田中) スポーツと健康 (水野) フランス詩を読む (中島) ドイツとヨーロッパの現在 (シンチ) 情報社会と人間 (中口) タンパク質科学の光と影 (奈良) 民主主義を再考する (藤井)
生命と人間	スポーツと心 (水野) 医歯系のための物理 (檜枝) 物理数学演習 (越野) 食品の科学 (澤野) 生物の中の糖 (勝又) 宇宙と生命 (服部) 生物間のコミュニケーション (伊藤) 医療の社会学 (藤井) ヒトの脳と言語 (時本) 学習・記憶と言語 (岩下) 生命科学と技術 (石野他)	スポーツと健康 (水野) 人体・医療の物理 (檜枝) タンパク質科学の光と影 (奈良) 植物の科学 (澤野) 老化と寿命 (服部) 環境への適応 (伊藤) 英語で学ぶヒトの脳と言語 (時本) 学習・記憶と老化 (岩下) 生命科学と医学 (石野他)
言語と人間	ロシア・中央ユーラシアの文化 と生活 (濱本) フランス文学を読む (中島) ドイツとヨーロッパの社会 (シンチ) 情報機械と人間 (中口) 生物間のコミュニケーション (伊藤) ヒトの脳と言語 (時本) 学習・記憶と言語 (岩下)	ロシア・中央ユーラシアの文化と 歴史 (濱本) フランス詩を読む (中島) ドイツとヨーロッパの現在 (シンチ) 情報社会と人間 (中口) 人体・医療の物理 (檜枝) 微分方程式演習 (越野) 民主主義を再考する (藤井) 英語で学ぶヒトの脳と言語 (時本) Understanding Language and Society (チャンネル)
制度と人間	戦争と科学 (田中) ドイツとヨーロッパの社会 (シンチ) 科学と疑似科学の境界 (奈良) 医療の社会学 (藤井) 情報機械と人間 (中口)	ドイツとヨーロッパの現在 (シンチ) 情報社会と人間 (中口) 人体・医療の物理 (檜枝) 微分方程式演習 (越野) 危険物の科学 (勝又) 民主主義を再考する (藤井)

時間と人間	小説に見る日本語の変化と多様性（近代編）（平井） フランス文学を読む（中島） ドイツとヨーロッパの社会（シンチ） 情報機械と人間（中口） 医歯系のための物理（檜枝） 食品の科学（澤野） 宇宙と生命（服部） 医療の社会学（藤井）	小説に見る日本語の変化と多様性（現代編）（平井） 生命倫理を問いなおす（田中） フランス詩を読む（中島） ドイツとヨーロッパの現在（シンチ） 微分方程式演習（越野） タンパク質科学の光と影（奈良） 植物の科学（澤野） 老化と寿命（服部） 環境への適応（伊藤） 民主主義を再考する（藤井） 学習・記憶と老化（岩下）
-------	--	--

また、3年次に行われる主題別人文社会科学セミナーの担当者から、2年生の間にやっておくべき課題が提示される場合があります。2年生は、「主題別選択科目」を受講し、同時にその課題に取り組みながら、主題に関する視点の拡充をめざします。

3年次：主題別人文社会科学セミナー—思考の深化—

3年生では、主題ごとに、セミナーを受講します。

各主題の学生30人を、10人ずつのグループA・B・Cに分けます。セミナーは、このグループごとに、7回ずつ行われます。セミナーを担当する教員は、1年次人文社会科学の「主題に関連の深い科目」担当教員の予定です。

セミナーと平行して、「医療と法」および「医療と社会」という二つの講義科目が7回ずつ開講されます。グループごとに「セミナー」「医療と法」「医療と社会」を7回ずつ受講します。そして、学年の最後に開講される「総括セミナー」において、主題に関する自らの取り組みをレポートにまとめます。「総括セミナー」は、主題ごとに30人全員が参加し、討論を経てレポート執筆に取り組みます。

グループ (各10人)	前 期		後 期	
	前半7回	後半7回	前半7回	後半7回
グループA	セミナー	医療と社会	医療と法	総括セミナー (セミナー論文執筆)
グループB	医療と法	セミナー	医療と社会	
グループC	医療と社会	医療と法	セミナー	

1年生において基礎力を身に付け、自ら問いを見出す意識を養い、2年生「主題別選択科目」において視野を広げてきました。3年生「主題別人文社会科学セミナー」では、それらを前提にして、問題を設定し結論の導出を目指します。

問題設定は、自らの興味や関心にもとづいて、担当教員のアドバイスを受けながら、学生それぞれが設定します。その問題について、調査や考察を行い、またその結果を他の受講生と共有して、問題点を指摘しあいながら結論を導き出すのが「セミナー」です。そして、これらを集大成するのが、「総括セミナー（セミナー論文執筆）」です。

「総括セミナー（セミナー論文執筆）」、ここがこの主題別教育のゴール地点となります。

「総括セミナー（セミナー論文執筆）」までの予定

4月4日（木）：各主題でオリエンテーション。

担当者より、セミナー計画・日程・セミナー論文の問題設定
の仕方などについて説明。

4月11日（木）～11月14日（木）：セミナーと講義

11月21日（木）～2020年1月23日（木）：総括セミナー

2月6日（木）：提出締切（予定）

【今後の予定】

2年生 4月～9月 「主題別選択Ⅰ」受講

3年生 4月～9月 「主題別選択Ⅱ」受講

4月～3月 「主題別人文社会科学セミナー」受講

【成績・評価について】

主題別選択Ⅰ・Ⅱ 前半と後半をあわせてそれぞれ1単位。

原則としてレポート（80点）、授業への参加度（20点）で評価。

（筆記試験で評価する場合に、その旨を周知する。）

ただし、レポートの代替として、授業の最終日に試験を実施することがある。

主題別人文社会科学セミナーと講義 あわせて2単位

原則として講義における試験と総括セミナーにおけるレポート（80点）、授業への参加度（20点）
で評価。

主題別選択 I ・ II

時間割番号	000907			
科目名	主題別選択Ⅰ（小説に見る日本語の変化と多様性(近代編)）			
担当教員	平井 裕香			
開講時期	前期	対象年次	2	
曜日・時間:木曜2限 対象学科:医学科・歯学科 受講資格:「言語と人間」、「時間と人間」の主題であること 募集人数:30人 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):1－1)言語を通じた人間の創造的営みを理解する、1－3)人間の歴史的営みを理解する、1－5)人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る				
授業の目的、概要等				
私たちの多くが日常的に使用している日本語は、通時的に不変でも、共時的に一定でもない。それは複雑な変化を経て現在のような形となり、現在においても重要な多様性を持っている。本授業では、日本語のそうした変化と多様性に、いくつかの小説を通して触れることを目的とする。多彩な言語現象のごく一部である「小説」が、日本語の変化と多様性にいかに関与してきたのかも、あわせて理解できるだろう。前半では比較的古い時代(これを仮に「近代」と呼ぼう)に焦点を当て、日本において「小説」というジャンルが新たに編成された事情を概観したうえで、書かれた時期を異にする三つの作品を取り上げる。自分が読んだ印象を、他人が読んだ印象や、教員が講義で提示する情報と突き合わせることで、表現と時代、言葉と主体、形式と内容の関係について、洞察を深めてもらいたい。				
授業の到達目標				
(1)日本語の通時的な変化と共時的な多様性を知る。 (2)「小説」というジャンルの特異性を理解する。 (3)自分の考えを口頭あるいは文章で他者に伝達する。 (4)表現と時代、言葉と主体、形式と内容の関係を考察する。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/4	10:05-10:55	共用セミナー室 7	平井 裕香
2	4/11	10:05-10:55	共用セミナー室 7	平井 裕香
3	4/18	10:05-10:55	共用セミナー室 7	平井 裕香
4	4/25	10:05-10:55	共用セミナー室 7	平井 裕香
5	5/9	10:05-10:55	共用セミナー室 7	平井 裕香
6	5/16	10:05-10:55	共用セミナー室 7	平井 裕香
7	5/23	10:05-10:55	共用セミナー室 7	平井 裕香
8	5/30	10:05-10:55	共用セミナー室 7	平井 裕香
授業方法				
各回の前半約3分の2を教員による講義に、後半約3分の1をクラス全体での討論かリアクションペーパーの執筆にあてる。				
授業内容				
1)イントロダクション 2)日本における近代「小説」ジャンルの編成 3)明治時代の小説1 4)明治時代の小説2 5)大正時代の小説1 6)大正時代の小説2 7)昭和時代の小説1 8)昭和時代の小説2 なお、各回の授業内容は、受講者の興味関心に即して変更する場合がある。				
成績評価の方法				
評価：試験 0% ・ レポート 60% ・ その他(授業への積極的参加(討論での発言、リアクションペーパーの執筆など)) 40%				
再評価： 有(再評価方法:レポート)				

課題図書と各回の講義に対する応答を「授業への積極的参加」で、その総合と発展を「レポート」でそれぞれ評価する。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 8回で計3作、2週間ごとに1作の小説を読むことを求める。各自が読んでいることを前提に、講義および討論を行う。 なお、課題として読む3作は、多少なりとも医療にかかわる短編とするつもりである。現在とは離れた時代の、形式も異なる作品となるが、そのかわりをきっかけにして関心を持ってもらいたい。
試験の受験資格 8回中3回以上の欠席で、レポート提出の資格を失うことを原則とする。
教科書 なし。課題として読む3作については、コピーを配布する予定。
参考書 安藤宏『日本近代小説史』中央公論新社、2015 年 柄谷行人『定本 日本近代文学の起源』岩波現代文庫、2008 年 川口良、角田史幸『日本語は誰のものか』吉川弘文館、2005 年 小森陽一『〈くらぎ〉の日本文学』日本放送出版協会、1998 年 柳父章『近代日本語の思想—翻訳文体成立事情』法政大学出版局、2004 年
履修上の注意事項 出欠管理システムより、教員がとる出欠を優先させる。

時間割番号	000893			
科目名	主題別選択Ⅰ（戦争と科学）			
担当教員	田中 智彦			
開講時期	前期	対象年次	2	
◇ 曜日・時間:木曜 2 限				
◇ 対象学科:医学科・歯学科				
◇ 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)				
別表 1-3)人間の歴史的営みを理解する				
別表 1-5)人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る				
別表 1-10)現代社会における科学の責任を意識できるようになる				
授業の目的、概要等				
現代においては——とりわけ第一次世界大戦以降は——戦争と科学は切り離せなくなった。ペニシリンの開発史に示されるように、医学・医療も例外ではない。もちろん科学には多くの「光」の側面がある。だが同時に多くの「影」の側面もあるのであって、そのことに目を閉ざしてはならないはずだ。ではそうした「影」の側面はどこから生まれてくるのか。科学そのものからだろうか。研究者や技術者のふるまいからだろうか。そしてそうした問いに対する答えは、科学に、また研究者・技術者に、さらにどのような問いを投げかけることになるだろうか。この授業では戦争と科学の現代史をふまえながら、以上のような問いについて考えてゆくことにしたい。				
授業の到達目標				
(1)現代の科学研究・科学技術の問題点について理解を深めること。				
(2)研究者・技術者に求められる倫理の根拠と意味について理解を深めること。				
(3)科学研究・科学技術の未来について批判的に思考する基礎を築くこと。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/4	10:05-10:55	共用セミナー室 5	田中 智彦
2	4/11	10:05-10:55	共用セミナー室 5	田中 智彦
3	4/18	10:05-10:55	共用セミナー室 5	田中 智彦
4	4/25	10:05-10:55	共用セミナー室 5	田中 智彦
5	5/9	10:05-10:55	共用セミナー室 5	田中 智彦
6	5/16	10:05-10:55	共用セミナー室 5	田中 智彦
7	5/23	10:05-10:55	共用セミナー室 5	田中 智彦
8	5/30	10:05-10:55	共用セミナー室 5	田中 智彦
授業方法				
授業はセミナー形式で進める。教科書は用いず、必要な文献・資料等はコピーして配布する。授業ではそれらをもとにして解説や議論を行い、内容について理解を深めてゆく。				
授業内容				
(1)近代以降、戦争と科学はどのように結びつくことになったか。その特質、論理はどのようなものか。				
(2)二度の世界大戦において、その論理の下で研究者・技術者は何を考え、どのようにふるまったか。				
(3)こうしたことと現代の科学研究・科学技術との関係とは、またその問題とはどのようなものか。				
成績評価の方法				
◇評価:レポート 60%				
授業への参加度 40%(出席状況、議論への参加度など)				
◇再評価:有(レポート)				
成績評価の基準				
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表 2」による				
準備学習などについての具体的な指示				
受講者には授業の中で、文献や資料(ドキュメンタリー等も含む)から歴史を知り、「なぜ」を問い、考えることが求められる。解説や議論はそうした問いや思考を深めるためにある。それゆえ解説・議論への能動的な関与と、そこで学んだことの積極的な吸収・応用に努めてもらいたい。				
試験の受験資格				

◇ レポートの提出資格:原則として7回中5回以上の出席

教科書

教科書は用いない。必要な文献・資料等はコピーして配布する。

参考書

参考書等は授業の中で随時紹介する。

履修上の注意事項

出欠については、出欠管理システムの記録と、毎授業時に教員がとる出欠とを併用する。

時間割番号	000909			
科目名	主題別選択Ⅰ（ロシア・中央ユーラシアの文化と生活）			
担当教員	濱本 真実			
開講時期	前期	対象年次	2	
曜日・時間:木曜 2 限				
受講資格:「文化と人間」「言語と人間」選択者				
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):				
1－4) 異なる空間の文化を理解する				
3－4) 外国文化を理解する				
授業の目的、概要等				
本授業では、ロシアを含む中央ユーラシアに住む人々の生活を素材に、衣食住の文化や、多民族、多宗教が混在するコミュニティについて検討する。授業の前半で、ソ連のアニメや映画などの映像資料に基づいて、ロシアを含む中央ユーラシアの生活文化を紹介する。授業の後半では、受講者が自分の興味に基づいて現代のロシア・中央ユーラシアに関するテーマで発表を行い、その後発表内容について授業参加者全員で討論する。				
授業の到達目標				
中央ユーラシアの生活文化を学ぶことにより、日本の生活文化を相対化する思考力を身につけ、多文化共生社会について理解を深める。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/4	10:05-10:55	医学科演習室 5－3, 医学科演習室 5－4	濱本 真実
2	4/11	10:05-10:55	医学科演習室 5－3, 医学科演習室 5－4	濱本 真実
3	4/18	10:05-10:55	医学科演習室 5－3, 医学科演習室 5－4	濱本 真実
4	4/25	10:05-10:55	医学科演習室 5－3, 医学科演習室 5－4	濱本 真実
5	5/9	10:05-10:55	医学科演習室 5－3, 医学科演習室 5－4	濱本 真実
6	5/16	10:05-10:55	医学科演習室 5－3, 医学科演習室 5－4	濱本 真実
7	5/23	10:05-10:55	医学科演習室 5－3, 医学科演習室 5－4	濱本 真実
8	5/30	10:05-10:55	医学科演習室 5－3, 医学科演習室 5－4	濱本 真実
授業方法				
講義および演習形式				
授業内容				
1. ロシアのアニメ				
2. ロシア・中央ユーラシアの多民族社会と映画				
3. ロシア・中央ユーラシアの多民族社会と芸術				

4. 出席者による報告と討論 5. 出席者による報告と討論 6. 出席者による報告と討論 7. 出席者による報告と討論 8. 出席者による報告と討論
成績評価の方法 評価：試験 0% ・ レポート 70% ・ その他(授業への参加度) 30% 再評価： 有(レポート)
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示
試験の受験資格 レポートの提出資格:原則として8回中6回以上の出席
教科書 プリントを配布する。
参考書 下斗米伸夫編著『現代ロシアを知るための60章【第2版】』明石書店、2012年 宇山智彦、藤本透子編著『カザフスタンを知るための60章』明石書店、2015年 帯谷知可編著『ウズベキスタンを知るための60章』明石書店、2018年 廣瀬陽子編著『アゼルバイジャンを知るための67章』明石書店、2018年
履修上の注意事項 出欠については、出欠管理システムの記録と教員がとる出欠とを併用します。

時間割番号	000603			
科目名	主題別選択Ⅰ（スポーツと心）			
担当教員	水野 哲也			
開講時期	前期	対象年次	2	
曜日・時間:木曜 対象学科:医学科・歯学科 2年 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) 別表1－7)人間の心への理解を深める 別表1－8)自己の心と体を管理する能力を獲得する				
授業の目的、概要等 本授業では、競技を中心としたスポーツにおける心をテーマにいくつかの視点からこれまでに提示された理論を紹介し、スポーツにおける心の問題を考えます。また、授業の後半では受講者各自が考える「スポーツと心」について発表し、その中身について共に考えます。				
授業の到達目標 本授業の最終到達目標は、主題別選択授業のテーマでもある偏らない思考や物の見方をどのようにして身に付けてゆくか？を実践的に学ぶことです。よって、学生各自が本授業の題目である「スポーツと心」に関する独自のテーマを設定し、それぞれの私論を述べるとともに意見交換し、授業終了後にそれらを基に 2000 字程度のレポートをまとめることを具体的な到達目標とします。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/4	10:05-10:55	共用セミナー室 6	水野 哲也
2	4/11	10:05-10:55	共用セミナー室 6	水野 哲也
3	4/18	10:05-10:55	共用セミナー室 6	水野 哲也
4	4/25	10:05-10:55	共用セミナー室 6	水野 哲也
5	5/9	10:05-10:55	共用セミナー室 6	水野 哲也
6	5/16	10:05-10:55	共用セミナー室 6	水野 哲也
7	5/23	10:05-10:55	共用セミナー室 6	水野 哲也
8	5/30	10:05-10:55	共用セミナー室 6	水野 哲也
授業方法 授業は発表形式で実施しますが、その中で実習形式の内容がいくつかある。また後半は、その学習効果を上げるために学生による発表、討議型の授業を行います。				
授業内容 「スポーツと心の関係性」、「リラックスと集中」、「メンタルタフネス」、「動機づけ」、「ピークパフォーマンス」などを取り上げる予定ですが、受講者の発表を優先し、共に考え、意見交換することを重視します。				
成績評価の方法 評価:出席 30%、各授業時の参加度 20%、レポート 50% 再評価: 有				
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による				
準備学習などについての具体的な指示 本授業では単に授業に出席して講義を聴くというだけでなく、主体的、能動的な取り組みによって、主題(自ら選択したテーマ)について考える積極的な態度や姿勢が求められます。よって、発表の内容をしっかりと準備してください。				
試験の受験資格 本授業は、原則全授業の 2/3(全 7 回のうち 5 回)以上の出席を受験(評価対象)の資格とします。				
参考書 最新スポーツ心理学：その軌跡と展望／日本スポーツ心理学会 編.:大修館書店, 2004 実践メンタルタフネス／ジム・レーヤー 著,ジェフリー・ミグドゥ 著,小林 信也 訳.:TBSブリタニカ ピークパフォーマンス／チャールズ・A・ガーフィールドほか.:ベースボール・マガジン社, 1988				

他科目との関連

1年次のスポーツ・健康科学並びに保健体育学分野のS科目との有機的な連携を図ることでより効果が上がるように設計されています。

連絡先

水野 哲也:mizuno.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

水野 哲也:毎週金曜日 AM. 10:30 ~ 12:00 管理研究棟 2階 水野研究室

時間割番号	000604					
科目名	主題別選択Ⅰ（フランス文学を読む）					
担当教員	中島　ひかる					
開講時期	前期	対象年次	2			
・曜日・時間：木曜2限						
・対象学科：医学科・歯学科						
・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)：						
別表1－1)言語を通じた人間の創造的営みを理解する						
別表1－6)優れた芸術作品に触れて感性を高める						
別表1－7)人間の心への理解を深める						
主な講義場所						
湯島						
授業の目的、概要等						
16 世紀から現代に至るまでのフランス文学から、幾つかの作品の抜粋を読んでいます。フランス語の原文と共に、日本語訳を配付して解説しますので、フランス語履修者でなくても、文学やフランス文化に興味があれば受講できます。文学には、普遍的な人間の感性が表現されていますが、また一方で、言語活動が現実の「再現」である以上、そこに「自然」のままの現実の表現はありません。語り、時間、空間等に関する、時代や文化によっても変わるさまざまな約束事の中で、言語表現は成立します。また、どの「現実」を切り取り、言語として表現するかも時代によって変化します。この授業では、文学作品を通して文化や時代の中での「言語表現」を意識していただきたいと考えています。						
授業の到達目標						
1)フランス文学のニュアンス・表現を味わう。						
2)文化・時代による感性の表現を自らの感性や表現と比較し、自らを相対化する。						
3)文学作品の、時代や文化による表現の違いを意識する。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/4	10:05-10:55	共用セミナー室 2	イントロダクション　スタンダール　バルザック	心理分析　社会の描写　19世紀と小説	中島　ひかる
2	4/11	10:05-10:55	共用セミナー室 2	パスカル　モンテーニュ	モラリスト文学	中島　ひかる
3	4/18	10:05-10:55	共用セミナー室 2	モリエール・ラシーヌ	フランス古典劇	中島　ひかる
4	4/25	10:05-10:55	共用セミナー室 2	ラクロ	書簡体文学	中島　ひかる
5	5/9	10:05-10:55	共用セミナー室 2	ルソー	自伝文学	中島　ひかる
6	5/16	10:05-10:55	共用セミナー室 2	プルースト	語り　時間	中島　ひかる
7	5/23	10:05-10:55	共用セミナー室 2	カミュ　バルト	現代文学・批評	中島　ひかる
8	5/30	10:05-10:55	共用セミナー室 2	まとめ	意見交換	中島　ひかる
授業方法						
講義と意見交換による。						
毎回、幾つかの文学作品の抜粋を講読します。あらかじめ、作品に目を通して頂いた後、教員が作品の内容や言葉のニュアンス、時代背景等を解説します。それを聞いた後、各自の感想を述べて頂き受講者の間で意見交換を行います。						
授業内容						
8 回の授業ですので、フランス文学を網羅的に扱うことはできませんが、フランス文学の概要がわかるように代表的な文学作品とりあげます。以下の予定は受講者の興味により変更することもあります。						
1)スタンダール、バルザック(19 世紀の社会と小説)						
2)パスカル、モンテーニュ(モラリスト文学)						
3)モリエール、ラシーヌ(フランス古典劇)						
4)ラクロ(書簡体文学)						
5)ルソー(自伝文学)						
6)プルースト(時間の表現)						
7)カミュ(現代文学)						

8)バルト(現代批評)
成績評価の方法 評価:試験(期末考査)0%・レポート80%・ その他 20 % (授業への参加度) 再評価:有 (再評価方法 主題別教育運営委員会の指示にしたがってください) フランス文学の中から作品を選び、授業で扱った内容を参考にしながら、自分なりに分析して頂くことで成績を評価します。 授業中に発言を求めますので、それについても 20%まで評価します。フランス文学への教養も大事ですが、知識の蓄積を 目的とする授業ではありませんので、解説記事を写すのではなく、選んだ作品に対して、何を感じ、なぜ自分がそう感じたの かを分析したレポートを高く評価します。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 初回の導入以外は、毎回、次回に扱う教材をあらかじめ配付するので、事前に目を通して、自分なりの解釈や感想をまとめ ておくこと。
試験の受験資格 2/3 以上出席したものに、レポート提出の資格を与える。
教科書 プリントを配付する
参考書 危険な関係／ラクロ 失われた時を求めて／ブルースト 異邦人／カミュ 赤と黒／スタンダール 告白／ルソー パンセ／パスカル ペルシャ人の手紙／モンテスキュー エセー／モンテーニュ ゴリオ爺さん／バルザック 嫉妬／アラン・ロブ＝グリエ
履修上の注意事項 出欠管理システムの端末がない部屋がほとんどと思われるので、教員が出欠をとります。
連絡先 中島 ひかる:nakashima.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 中島 ひかる:毎週月・水曜 12:30～13:00 教養部管理研究棟 3 階フランス語研究室

時間割番号	000605						
科目名	主題別選択Ⅰ（ドイツとヨーロッパの社会）						
担当教員	SCHINZINGER EMI						
開講時期	前期	対象年次	2				
前期前半							
・曜日・時間:木曜 2 限							
・対象学科:医学科・歯学科							
・受講資格:ドイツ語 a,b,c,d,4 単位を持っていること							
・募集人数:3 年生とあわせて 20 人							
・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):							
別表 1－1)言語を通じた人間の創造的営みを理解する							
別表 1－2)社会制度や仕組みについての基本を理解する							
別表 1－3)人間の歴史的営みを理解する							
別表 1－4)異なる空間の文化を理解する							
別表 3－4)外国文化を理解する							
別表 3－5)国際情勢を理解する							
主な講義場所							
湯島キャンパス							
3号棟4階演習室4－11, 12							
授業の目的、概要等							
ドイツ語で書かれた教科書を読みながら、ドイツとヨーロッパの社会について学んでいきます。原文を読む授業ですので、ドイツ語の 4 単位を持っていない方は受講できません！							
ドイツ政府や EU のホームページも見えていきます。時間があれば、DVD も見ます。毎回予習してきてもらって、ドイツ語を訳していきますので、予習をすることが受講の条件です。							
授業の到達目標							
ドイツの地理と社会について教科書で読んでから、ドイツ政府と EU についても学び、「ドイツ再統一」に至った経緯について学ぶことが目標です。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/4	10:05-10:55	医学科演習室 4－11, 医学科演習室 4－12	ドイツとヨーロッパの社会 1	オリエンテーション:ドイツとヨーロッパに関するクイズを行ってから教科書の第 1 課を読んで訳してみる。今後使うプリントを配り、今後の進め方について話し合う。	SCHINZINGER EMI	生協にて教科書を購入して持ってくること:「ドイツとドイツ語を話す国々」朝日出版社; 次回に向けて:第 2 課を予習してこ
2	4/11	10:05-10:55	医学科演習室 4－11, 医学科演習室 4－	ドイツとヨーロッパの社会 2	教科書の第 2 課を読んで訳していく。時間があればドイツ政府のホームページも見えて原文を読んで訳していく。	SCHINZINGER EMI	次回に向けて:教科書第 3 課を予習しておく。

			12				
3	4/18	10:05-10:55	医学 科演 習室 4ー 11, 医学 科演 習室 4ー 12	ドイツとヨーロッパの 社会3	教科書の第3課を読んで訳していく。時間があればEUのホームページも見て、原文を読んで訳していく。	SCHINZIN GER EMI	次回に向けて: 教科書第4課 の前半とホーム ページのプリン トアウトを予習し ておく。
4	4/25	10:05-10:55	医学 科演 習室 4ー 11, 医学 科演 習室 4ー 12	ドイツとヨーロッパの 社会4	ドイツ政府と首相のホームページならびにEUのホームページの続きを読む。教科書第4課を読み始める。	SCHINZIN GER EMI	次回に向けて: 教科書第4課 の前半(9~10ペ ージ)を予習し ておく。
5	5/9	10:05-10:55	医学 科演 習室 4ー 11, 医学 科演 習室 4ー 12	ドイツとヨーロッパの 社会5	教科書第4課の前半を読んで訳していく。その後ドイツ再統一がどのように始まったのかについてのドキュメンタリーのDVDを見始める。	SCHINZIN GER EMI	次回に向けて: 教科書第4課 の続き(10~11 ページ)を予習 しておく。
6	5/16	10:05-10:55	医学 科演 習室 4ー 11, 医学 科演 習室 4ー 12	ドイツとヨーロッパの 社会6	教科書第4課の続きを読んで訳していく。ドキュメンタリーのDVDの続きも見していく。	SCHINZIN GER EMI	次回に向けて: 教科書第4課 を最後まで (12~13ページ) 予習しておく。
7	5/23	10:05-10:55	医学 科演 習室 4ー 11, 医学 科演 習室	ドイツとヨーロッパの 社会7	教科書第4課を最後まで読んで訳していく。ドイツ再統一についてのドキュメンタリーのDVDも続きを見る。	SCHINZIN GER EMI	次回に向けて: 試験勉強:初回 のドイツクイズ を見直しておく。 教科書で読ん だところ、ドイツ 政府とEUのホ ームページのプ

			4-12				プリントで読んだところをしっかりと復習しておく。
8	5/30	10:05-10:55	医学 科演 習室 4-11, 医学 科演 習室 4-12	ドイツとヨーロッパの 社会8	試験	SCHINZIN GER EMI	遅刻、欠席をしないこと。
授業方法 セミナー形式; 毎回教科書を読んで訳してから、ドイツ政府や EU のホームページの内容を読みます。時間があればドキュメンタリー映像も見ます。							
授業内容 初回: オリエンテーション、第1課 (1 ページ) 第2回~第3回: 第2課と第3課 (3 ページと6 ページ) 第4回~第6回: 第4課(9~13 ページ)を読みながら、ドイツ再統一に至った経緯を考えます。インターネット、DVD も使用する予定。 第7回: 理解の度合いを調べるため、試験を行います。							
成績評価の方法 毎回予習をしてきて積極的に授業に参加することによる平常点が 50 パーセント。 試験が 50 パーセント。 再評価: 無							
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表 2」による							
準備学習などについての具体的な指示 ・授業中にたくさん原文、ドイツ語を読みますので、1 年で学んだドイツ語の内容を、授業が始まる前に復習しておいてください。1 年生の時に使った文法と会話の両方の教科書をしっかりと復習しておいてください。他の参考書や、ラジオやテレビのドイツ語講座など活用してみてください。 ・授業時間が短いため、必ず毎回自宅で辞書を使い、指定された範囲を予習してきてください。							
試験の受験資格 原則 3 分の 2 以上出席							
教科書 ドイツとドイツ語を話す国ぐに／Heinz Griesbach [著], 松本嘉久 編, Griesbach, Heinz, : 朝日出版社, 1994 教科書が絶版になっている場合には初回にプリントを配ります。 教科書以外にも様々なプリントなどの教材を使用します。 それらは授業中に配布されますので注意してください。							
参考書 新現代独和辞典／ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編, Schinzinger, Robert, 1898-1988, 山本, 明, 1928-, 南原, 実, 1930-2013, : 三修社, 2008 アポロン独和辞典／根本道也, 恒吉良隆, 吉中幸平, 成田克史, 福元圭太, 重竹芳江 責任編集執筆, 有村隆広, 新保弼彬, 本田義昭, 鈴木敦典 編集執筆, 根本, 道也, 1934-, 恒吉, 良隆, 1938-, 吉中, 幸平, 有村, 隆広, 1936-, 新保, 弼彬, 本田, 義昭, : 同学社, 2010							

代表的な独和辞典を挙げておきましたが、授業時間が短いので、授業中は電子辞書の方が早く使えるので便利です。もしできるのであれば電子辞書を用意してください。これからもドイツ語を使うのであれば、カシオ Ex-word XD-U7100 がおすすめです。
履修上の注意事項 毎回出欠を取ります。 毎回教科書と電子辞書か独和辞典を持ってくるください。毎回指定された範囲の予習をしてください。
連絡先 SCHINZINGER EMI:schinzinger.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー SCHINZINGER EMI:毎週月曜日 16:30 – 18:00 管理研究棟 3 階研究室

時間割番号	000808			
科目名	主題別選択Ⅰ（学習・記憶と言語）			
担当教員	岩下 洸			
開講時期	前期	対象年次	2	
曜日・時間:木曜 2 限 対象学科:医学科・歯学科 募集人数:20 人 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表1－1)言語を通じた人間の創造的営みを理解する 別表1－5)人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る 別表2－3)言語活動や社会現象を科学的に分析するための方法論を知る				
授業の目的、概要等 ヒトを含め、動物は過去の経験を記憶し、学習することで行動を変化させ、環境の変化に適応しながら生存している。そのため、「学習・記憶」は動物にとって重要な能力である。そして、動物は言語、少なくとも「ヒトのような言語」は持たないが、ヒトは主に言語を用いて考え、コミュニケーションをとり、生活している。したがって、言語を用いた情報処理こそがヒトのヒトたる所以である、重要な能力といっても過言ではないであろう。 この授業では、これら「学習・記憶」や「言語」の処理といった脳の高次機能について、生物学的な視点から講義を行い、理解を深めることを目的とする。				
授業の到達目標 学習・記憶と言語の観点から脳の機能への理解を深める。また、当該分野における研究手法を学ぶ。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/4	10:05-10:55	共用セミナー室 12	岩下 洸
2	4/11	10:05-10:55	共用セミナー室 12	岩下 洸
3	4/18	10:05-10:55	共用セミナー室 12	岩下 洸
4	4/25	10:05-10:55	共用セミナー室 12	岩下 洸
5	5/9	10:05-10:55	共用セミナー室 12	岩下 洸
6	5/16	10:05-10:55	共用セミナー室 12	岩下 洸
7	5/23	10:05-10:55	共用セミナー室 12	岩下 洸
8	5/30	10:05-10:55	共用セミナー室 12	岩下 洸
授業方法 講義形式と授業内での質疑応答				
授業内容 第 1 回-第 4 回 学習と記憶 第 5 回-第 7 回 言語とコミュニケーション				
成績評価の方法 評価：その他(各講義での小テスト・授業への参加度) 100% 再評価：有				
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による				
準備学習などについての具体的な指示 予習は特に必要ありません。毎回、前回と当日の講義内容について小テストを行うとともに、質問やコメントを書いています。				
教科書 指定なし プリントを配布する。				
参考書 カールソン神経科学テキスト 脳と行動/ NEIL R.CARLSON 著, 泰羅 雅登 監訳, 中村 克樹 監訳.: 丸善出版, 2013				

履修上の注意事項				
毎回の講義における小テスト等を出欠確認に用います。また、3 分の 2 以上の出席を前提とし、評価の対象とする。				
時間割番号	000897			
科目名	主題別選択Ⅰ（情報機械と人間）			
担当教員	中口 悦史			
開講時期	前期	対象年次	2	
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 1－1), 1－10), 2－1), 2－3), 4－4)				
対象主題(2年生): 言語と人間, 制度と人間, 時間と人間				
授業の目的、概要等				
情報化社会とよばれる現代、すでに人工知能を搭載したロボットが会社やホテルの受付で柔軟な来客対応を魅せる時代となり、人々は否が応でも情報機械との共生を迫られている。では現代の人々は、いかにして情報機械に順応しているのか。そもそも人間と機械とのコミュニケーションは成立しているのか。情報通信や情報機械について人文社会科学や工学などさまざまな観点から考察する。				
授業の到達目標				
情報と情報機械に対して自分なりの視点や立場を持ち、それを他人に説明し、互いに議論・討論することができる。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/4	10:05-10:55	医学科講義室 1	中口 悦史
2	4/11	10:05-10:55	医学科講義室 1	中口 悦史
3	4/18	10:05-10:55	医学科講義室 1	中口 悦史
4	4/25	10:05-10:55	医学科講義室 1	中口 悦史
5	5/9	10:05-10:55	医学科講義室 1	中口 悦史
6	5/16	10:05-10:55	医学科講義室 1	中口 悦史
7	5/23	10:05-10:55	医学科講義室 1	中口 悦史
8	5/30	10:05-10:55	医学科講義室 1	中口 悦史
授業方法				
講義と議論・討論を交えながら授業を進める。				
授業内容				
配付資料を基に、情報と情報機械の理論的基礎を学習しながら、互いに議論・討論を重ね、各自の視点で考察を加える。				
授業計画				
(1) 情報という概念、情報の定義				
(2) 情報と感知・認知・心理・行動				
(3) シヤノンとソシュールのモデル				
(4) 現代の情報通信システムの構造				
(5) 現代のコンピュータ・情報機械の仕組み				
(6) 情報機械と人間の対話は成立するか				
(7) 情報機械は人間に置き換われるか				
(8) まとめ、情報とは何か				
成績評価の方法				
評価：試験 0%・レポート 80%・その他(授業への参加度) 20%				

再評価：有 レポートと授業への参加度を総合して成績評価を行う。授業への参加度は、質疑応答や議論・討論への参加の積極性、演習への取り組み具合などにより測る。期末にレポートを課し、この授業の内容に即したテーマに沿って、学生個々の考えを問う。 「試験の受験資格」を満たし、かつレポートを提出したもののみを、評価の対象とする。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則別表 2」による
準備学習などについての具体的な指示 毎回の授業計画にあるトピックについて、疑問点などを事前にまとめて、授業に臨むこと。
試験の受験資格 授業回数の3分の2回以上の出席。
教科書 教科書は特に指定しない。資料は適宜配付する。
参考書 情報理論／甘利俊一 著, 甘利, 俊一, 1936-, : 筑摩書房, 2011 通信の数学的理論／クロード・E.シャノン, ワレン・ウィーバー 著, 植松友彦 訳, Shannon, Claude E, 1916-2001, Weaver, Warren, 1894-1978, 植松, 友彦, : 筑摩書房, 2009 ソシュールと言語学 : コトバはなぜ通じるのか／町田健 著, 町田, 健, 1957-, : 講談社, 2004 情報と自己組織性の理論 (オンデマンド版)／吉田民人 : 東京大学出版会, 2012 生命と機械をつなぐ知 : 基礎情報学入門／西垣通 著, 西垣, 通, 1948-, : 高陵社書店, 2012 人間機械論 : 人間の人間的な利用／ノーバート・ウィーナー [著], 鎮目恭夫, 池原止戈夫 訳, Wiener, Norbert, 1894-1964, 鎮目, 恭夫, 1925-2011, 池原, 止戈夫, 1904-1984, : みすず書房, 2014 ノイマン・ゲーデル・チューリング／高橋昌一郎 著, 高橋, 昌一郎, 1959-, : 筑摩書房, 2014 心と認知の情報学 : ロボットをつくる・人間を知る／石川幹人 著, 石川, 幹人, 1959-, : 勁草書房, 2006 人工知能は人間を超えるか : ディープラーニングの先にあるもの／松尾豊 [著], 松尾, 豊, 1975-, : KADOKAWA, 2015 AIに心は宿るのか／松原仁 著, 松原, 仁, 1959-, : 集英社インターナショナル, 2018
履修上の注意事項 出欠確認は出欠管理システムと、授業中の点呼を併用する。

時間割番号	000635					
科目名	主題別選択Ⅰ（医歯系のための物理）					
担当教員	檜枝 光憲					
開講時期	前期	対象年次	2			
曜日・時間:木曜2限 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):別表2－1)別表2－2)別表2－4) 別表4－2)						
授業の目的、概要等 医療は物理学と大いに関係しています。例えば、人体の動きや歯の矯正治療は力学が関係しており、医療でお馴染みの X 線、MRI、レーザーなど現代医療技術は物理学者によって発見されました。本授業は講義形式で進め、医歯学に関係した物理について理解を深めていきます。						
授業の到達目標 医歯学に関係した物理を習得する。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/4	10:05-10:55	医学科講義室 2	第1回	力学	檜枝 光憲
2	4/11	10:05-10:55	医学科講義室 2	第2回	流体	檜枝 光憲
3	4/18	10:05-10:55	医学科講義室 2	第3回	熱	檜枝 光憲
4	4/25	10:05-10:55	医学科講義室 2	第4回	音	檜枝 光憲
5	5/9	10:05-10:55	医学科講義室 2	第5回	光	檜枝 光憲
6	5/16	10:05-10:55	医学科講義室 2	第6回	磁気	檜枝 光憲
7	5/23	10:05-10:55	医学科講義室 2	第7回	放射線	檜枝 光憲
8	5/30	10:05-10:55	医学科講義室 2	第8回	まとめ	檜枝 光憲
授業方法 講義と演習						
授業内容 1. 医歯系のための物理 1:力学 2. 医歯系のための物理 2:流体 3. 医歯系のための物理 3:熱 4. 医歯系のための物理 4:音 5. 医歯系のための物理 5:光 6. 医歯系のための物理 6:磁気 7. 医歯系のための物理 7:放射線 8. まとめ						
成績評価の方法 授業の到達目標の達成度を主に授業毎に提出してもらう演習内容(小レポート)によって評価する。 評価：レポート 80 % その他(授業の参加度) 20% 再評価: 無						
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による						
準備学習などについての具体的な指示 予習として関連の参考書や他の関連図書を探して読むこと。						
参考書 生物学と医学のための物理学／Paul Davidovits 著,曾我部正博 監訳,吉村建二郎 編集協力,:共立出版, 2015 物理学入門から医用物理へ：超音波、磁気共鳴、X 線理解のために／本間康浩 著,:ブイソーソリューション, 2013 医療系のための物理／佐藤幸一, 藤城敏幸 著,:東京教学社, 2013						
履修上の注意事項						

原則 2/3 以上の出席が必要。 出欠管理システムより、教員自身が取る出欠を優先させる。

連絡先

檜枝 光憲:hieda.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

檜枝 光憲:毎週金曜日 16:30～17:30 ヒボ 4F 教員研究室 3

時間割番号	000609					
科目名	主題別選択Ⅰ（物理数学演習）					
担当教員	越野 和樹					
開講時期	前期	対象年次	2			
・曜日・時間: 時間割を参照のこと ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) 別表2－1) 別表4－2)						
授業の目的、概要等 私たちはみな、毎日の暮らしの中で物理法則に従って生きています。例えば、自動車の停止距離はスピードの2乗に比例しますが、このことは物理理論によって明快に説明することができます。物理法則は数学(特に微分方程式)を用いて記述されています。本講義では、微分方程式などの物理数学を演習形式で学習します。						
授業の到達目標 問題演習をとおして、数理科学的能力を高めること						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/4	10:05-10:55	共用セミナー室 4	第 1 回	物理数学演習	越野 和樹
2	4/11	10:05-10:55	共用セミナー室 4	第 2 回	物理数学演習	越野 和樹
3	4/18	10:05-10:55	共用セミナー室 4	第 3 回	力学演習	越野 和樹
4	4/25	10:05-10:55	共用セミナー室 4	第 4 回	力学演習	越野 和樹
5	5/9	10:05-10:55	共用セミナー室 4	第 5 回	力学演習	越野 和樹
6	5/16	10:05-10:55	共用セミナー室 4	第 6 回	電磁気学演習	越野 和樹
7	5/23	10:05-10:55	共用セミナー室 4	第 7 回	電磁気学演習	越野 和樹
8	5/30	10:05-10:55	共用セミナー室 4	第 8 回	電磁気学演習	越野 和樹
授業方法 講義およびアクティブラーニング(演習や討論など)による						
授業内容 ・物理数学演習 ・電磁気学演習 ・力学演習						
成績評価の方法 評価: 試験(期末考査)0%・レポート0%・その他(各講義での提出課題)100%						
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による						
準備学習などについての具体的な指示 特別な準備は必要ないが、講義前半の基礎知識確認に集中すること。						
参考書 「詳解物理応用数学演習」 後藤憲一ほか 共立出版						
履修上の注意事項 数学・物理学の双方に十分な能力を有することを前提としている。						
連絡先 越野 和樹: ikuzak.las@tmd.ac.jp						
オフィスアワー 越野 和樹: 毎週月曜日 12:00—13:00 ヒポクラテス 4 階						

時間割番号	000606																																															
科目名	主題別選択Ⅰ（科学と疑似科学の境界）																																															
担当教員	奈良 雅之																																															
開講時期	前期	対象年次	2																																													
・曜日・時間：木曜2限 ・対象学科：医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）： 1-2)社会制度や仕組みについて基本を理解する 1-10) 現代社会における科学の責任を意識できるようになる 4-2) 生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける																																																
授業の目的、概要等 巷には「プラズマクラスターイオン」、「パワーストーン」、「活性水素水」「ホメオパシー」など科学的な根拠がないもの、曖昧なもので溢れています。大学生の科学的な知識があれば、このようなニセ科学（疑似科学）に属するものには絶対だまされるはずはないと過信しがちですが、科学とニセ科学の間に明確な境界線があるわけではなく、白黒がはっきりつかないことがしばしばです。この授業では、社会問題としてインパクトの強かった疑似科学のトピックをいくつか選び、科学と疑似科学のグレーゾーンについて理解を深めます。受講者にはできるだけ授業に参加できるように、発言、発表する機会を設けたいと思います。																																																
授業の到達目標 授業の関係したテーマを見つけて、そのテーマの基づいて理解を深める																																																
授業計画 <table><tr><td>回</td><td>日付</td><td>時刻</td><td>講義室</td><td>担当教員</td></tr><tr><td>1</td><td>4/4</td><td>10:05-10:55</td><td>共用セミナー室 3</td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>2</td><td>4/11</td><td>10:05-10:55</td><td>共用セミナー室 3</td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>3</td><td>4/18</td><td>10:05-10:55</td><td>共用セミナー室 3</td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>4</td><td>4/25</td><td>10:05-10:55</td><td>共用セミナー室 3</td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>5</td><td>5/9</td><td>10:05-10:55</td><td>共用セミナー室 3</td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>6</td><td>5/16</td><td>10:05-10:55</td><td>共用セミナー室 3</td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>7</td><td>5/23</td><td>10:05-10:55</td><td>共用セミナー室 3</td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>8</td><td>5/30</td><td>10:05-10:55</td><td>共用セミナー室 3</td><td>奈良 雅之</td></tr></table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	4/4	10:05-10:55	共用セミナー室 3	奈良 雅之	2	4/11	10:05-10:55	共用セミナー室 3	奈良 雅之	3	4/18	10:05-10:55	共用セミナー室 3	奈良 雅之	4	4/25	10:05-10:55	共用セミナー室 3	奈良 雅之	5	5/9	10:05-10:55	共用セミナー室 3	奈良 雅之	6	5/16	10:05-10:55	共用セミナー室 3	奈良 雅之	7	5/23	10:05-10:55	共用セミナー室 3	奈良 雅之	8	5/30	10:05-10:55	共用セミナー室 3	奈良 雅之
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																												
1	4/4	10:05-10:55	共用セミナー室 3	奈良 雅之																																												
2	4/11	10:05-10:55	共用セミナー室 3	奈良 雅之																																												
3	4/18	10:05-10:55	共用セミナー室 3	奈良 雅之																																												
4	4/25	10:05-10:55	共用セミナー室 3	奈良 雅之																																												
5	5/9	10:05-10:55	共用セミナー室 3	奈良 雅之																																												
6	5/16	10:05-10:55	共用セミナー室 3	奈良 雅之																																												
7	5/23	10:05-10:55	共用セミナー室 3	奈良 雅之																																												
8	5/30	10:05-10:55	共用セミナー室 3	奈良 雅之																																												
授業方法 講義形式を予定していますが、履修人数が少ない場合は、希望に応じて、セミナー形式に変更することができます。履修人数が多い場合にも、文献や指定課題について事前に調べてディスカッションするなど、アクティブラーニングを取り入れます。																																																
授業内容 社会問題としてインパクトの強かった疑似科学のトピックをいくつか選び、科学と疑似科学のグレーゾーンについて理解を深めます。科学的な側面から基礎事項を確認するとともに、文化、制度の面からも考えていきます。																																																
成績評価の方法 評価：試験0%・レポート80% その他20%（授業への参加度・授業中の回答状況） 再評価：有 授業で習得したことをレポートにまとめることを重視します。																																																
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による																																																
準備学習などについての具体的な指示 予習：配付資料、関連資料に目を通してください。 復習：興味のある項目について、文献を調べてください。																																																
試験の受験資格 ・定期試験・再試験の受験資格：原則3分の2以上出席（レポートでもって、定期試験・再試験の代替とする。）																																																

教科書 なぜ疑似科学が社会を動かすか／石川幹人：PHP 新書，2016
参考書 嘘と絶望の生命科学／榎木英介 著，：文藝春秋，2014 メディア・バイアス あやしい健康情報とニセ科学／松永和紀 著，：名古屋市鶴舞中央図書館点字文庫，2010 科学と人間の不協和音／池内了 [著]，：角川書店，2012 活性酸素／高柳 輝夫 編，大坂 武男 編，大坂 武男 [ほか] 共著，日本化学会 監修，：丸善 博士漂流時代：「余った博士」はどうなるか？／榎木英介 [著]，：ディスカヴァー・トゥエンティワン，2010 水素水とサビない身体／太田成男 著，：小学館，2013 疑似科学入門／池内 了 著，：岩波書店
連絡先 nara.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週水曜日 PM.0:00-PM.2:00，毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4 階

時間割番号	000611				
科目名	主題別選択Ⅰ（食品の科学）				
担当教員	澤野 頼子				
開講時期	前期	対象年次	2		
曜日・時間:木曜日・2時限 対象学科:医学科・歯学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表1－3)人間の歴史的営みを理解する 別表2－1)自然現象を科学的に探究するための方法論を知る。					
授業の目的、概要等					
食品は私たちの健康や生命を維持するために欠かすことのできない大切なものである。人間にとって食品とは、身体の形成やエネルギー供給源として働く「栄養素」を与えるだけのものではない。「おいしさ」や「安全性」を兼ね備え、健康の維持や疾病の予防に有効な「機能性(生体調節機能)」をもたらすものでもある。そして、「食生活」、「食文化」という言葉が表すように、食は人類の進化の歴史の中で、生活環境や文化と密接に関連し、変遷を遂げてきた。本授業では、食の歴史的背景、食品成分の化学的性質を学び、食品の様々な側面についての理解を深めることを目的とする。					
授業の到達目標					
食品を文化的、歴史的、および科学的側面からとらえ、自分の考えをレポートにまとめる。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	4/4	10:05-10:55	共用講義室 2	イントロダクション、食の歴史(1)	澤野 頼子
2	4/11	10:05-10:55	共用講義室 2	食の歴史(2)	澤野 頼子
3	4/18	10:05-10:55	共用講義室 2	食の歴史(3)	澤野 頼子
4	4/25	10:05-10:55	共用講義室 2	食品成分の化学的性質(1)	澤野 頼子
5	5/9	10:05-10:55	共用講義室 2	食品成分の化学的性質(2)	澤野 頼子
6	5/16	10:05-10:55	共用講義室 2	食品成分の化学的性質(3)	澤野 頼子
7	5/23	10:05-10:55	共用講義室 2	食品成分の化学的性質(4)	澤野 頼子
8	5/30	10:05-10:55	共用講義室 2	まとめ、課題発表など	澤野 頼子
授業方法					
主に講義形式で行うが、適宜、アクティブラーニング(討論、課題発表など)を取り入れる。					
授業内容					
食の歴史的背景および食品成分の化学的性質について学ぶ。					
成績評価の方法					
評価：試験 0%・レポート 80%・その他(授業への参加度) 20%					
再評価: 有					
成績評価の基準					
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による					
準備学習などについての具体的な指示					
講義資料(WebClassに掲載)に目を通しておく。					
授業で扱った事項について、参考書やインターネット等により知識の拡充・整理を行い、自分なりの考えをまとめる。					
試験の受験資格					
定期試験・再試験の受験資格:原則3分の2以上出席 (レポートでもって、定期試験・再試験の代替とする。)					
参考書					
食品の科学／上野川修一、田之倉優 編、東京化学同人、2005					
食品学：食品成分と機能性／久保田紀久枝、森光康次郎 編、久保田、紀久枝、1948-、森光、康次郎、1963-、東京化学同人、2016					
ニューフードサイエンス／鮫島邦彦、高橋史生 編著、鮫島、邦彦、1938-、高橋、史生、三共出版、2005					
健康と食生活／吉田勉 編著、吉田、勉、1927-、学文社、2016					

連絡先

澤野 頼子:sawano.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

澤野 頼子:毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4 階

時間割番号	000612					
科目名	主題別選択Ⅰ（生物の中の糖）					
担当教員	勝又 敏行					
開講時期	前期	対象年次	2			
曜日・時間:木曜日 2限 対象学科:医学科、歯学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表1ー10)現代社会における科学の責任を意識できるようになる 別表2ー1)自然現象を科学的に探求するための方法論を知る						
授業の目的、概要等 糖は生物の中で構造体、エネルギー源をはじめとして、タンパク質、核酸、脂質などと結合して重要な機能を担っている物質である。糖の化学的性質および生体内での機能を、疾病との関連等最新の知見を交えながら講義形式で紹介していく。最後に自分の興味を持った事柄について調べ、プレゼンテーションを行ってもらう。						
授業の到達目標 糖の性質と機能について基礎的な知識を身につける。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/4	10:05-10:55	共用セミナー室1	糖とは何か	糖の種類や構造について	勝又 敏行
2	4/11	10:05-10:55	共用セミナー室1	糖の生合成	糖の生合成について	勝又 敏行
3	4/18	10:05-10:55	共用セミナー室1	人の中の糖1	血液型と糖、受精と糖鎖など	勝又 敏行
4	4/25	10:05-10:55	共用セミナー室1	人の中の糖2	ガンと糖鎖構造など	勝又 敏行
5	5/9	10:05-10:55	共用セミナー室1	人の中の糖3	糖関連の疾病など	勝又 敏行
6	5/16	10:05-10:55	共用セミナー室1	糖の分析法	糖の分析法について	勝又 敏行
7	5/23	10:05-10:55	共用セミナー室1	プレゼンテーション	糖について興味を持った事柄について調べたものを発表する	勝又 敏行
8	5/30	10:05-10:55	共用セミナー室1	プレゼンテーション	糖について興味を持った事柄について調べたものを発表する	勝又 敏行
授業方法 講義形式および一部アクティブラーニングを取り入れる。						
授業内容 1. 糖とは何か 2. 糖の種類、および構造、性質 3. 糖の分析法 4. 植物における糖 5. 人の中の糖1 6. 人の中の糖2 7. 糖と疾病						
成績評価の方法 評価:試験 0%、レポート 50%、出席、授業への参加度(発表を含む)等 50% アクティブラーニングを取り入れ以上の通りとする。						
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による						
準備学習などについての具体的な指示 講義で興味を持った項目について調べ、次の授業に臨んでください。						
参考書 コールドスプリングハーバー糖鎖生物学／Ajit Varki [ほか編],鈴木康夫, 木全弘治 監訳,:丸善, 2010						

連絡先

勝又 敏行:katsumata.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

勝又 敏行:毎週金曜日 12:00-13:00 ヒボクラテス 2 階化学実験準備室

時間割番号	000613																																															
科目名	主題別選択Ⅰ（宇宙と生命）																																															
担当教員	服部 淳彦																																															
開講時期	前期	対象年次	2																																													
・曜日・時間:木曜2限 ・対象学科:医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) 1－5)人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る。 1－10)現代社会における科学の責任を意識できるようになる。																																																
授業の目的、概要等 日本人が次々と宇宙に飛び立つ光景を見て、宇宙がますます身近な存在として感じられた学生さんも多いのではないだろうか。この授業では、宇宙環境、例えば「無(微小)重量状態」や「宇宙放射線」などが、さまざまな生物(ヒトも含めて)に与える影響について簡単に解説した後、セミナー形式で各自に発表してもらう。なお、発表内容に関しては、適宜アドバイスをを行う。																																																
授業の到達目標 生命科学のトピックスについて理解し、説明することができる。																																																
授業計画 <table><tr><td>回</td><td>日付</td><td>時刻</td><td>講義室</td><td>担当教員</td></tr><tr><td>1</td><td>4/4</td><td>10:05-10:55</td><td>共用セミナー室 10</td><td>服部 淳彦</td></tr><tr><td>2</td><td>4/11</td><td>10:05-10:55</td><td>共用セミナー室 10</td><td>服部 淳彦</td></tr><tr><td>3</td><td>4/18</td><td>10:05-10:55</td><td>共用セミナー室 10</td><td>服部 淳彦</td></tr><tr><td>4</td><td>4/25</td><td>10:05-10:55</td><td>共用セミナー室 10</td><td>服部 淳彦</td></tr><tr><td>5</td><td>5/9</td><td>10:05-10:55</td><td>共用セミナー室 10</td><td>服部 淳彦</td></tr><tr><td>6</td><td>5/16</td><td>10:05-10:55</td><td>共用セミナー室 10</td><td>服部 淳彦</td></tr><tr><td>7</td><td>5/23</td><td>10:05-10:55</td><td>共用セミナー室 10</td><td>服部 淳彦</td></tr><tr><td>8</td><td>5/30</td><td>10:05-10:55</td><td>共用セミナー室 10</td><td>服部 淳彦</td></tr></table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	4/4	10:05-10:55	共用セミナー室 10	服部 淳彦	2	4/11	10:05-10:55	共用セミナー室 10	服部 淳彦	3	4/18	10:05-10:55	共用セミナー室 10	服部 淳彦	4	4/25	10:05-10:55	共用セミナー室 10	服部 淳彦	5	5/9	10:05-10:55	共用セミナー室 10	服部 淳彦	6	5/16	10:05-10:55	共用セミナー室 10	服部 淳彦	7	5/23	10:05-10:55	共用セミナー室 10	服部 淳彦	8	5/30	10:05-10:55	共用セミナー室 10	服部 淳彦
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																												
1	4/4	10:05-10:55	共用セミナー室 10	服部 淳彦																																												
2	4/11	10:05-10:55	共用セミナー室 10	服部 淳彦																																												
3	4/18	10:05-10:55	共用セミナー室 10	服部 淳彦																																												
4	4/25	10:05-10:55	共用セミナー室 10	服部 淳彦																																												
5	5/9	10:05-10:55	共用セミナー室 10	服部 淳彦																																												
6	5/16	10:05-10:55	共用セミナー室 10	服部 淳彦																																												
7	5/23	10:05-10:55	共用セミナー室 10	服部 淳彦																																												
8	5/30	10:05-10:55	共用セミナー室 10	服部 淳彦																																												
授業方法 セミナー形式による(各自に発表してもらう)。したがって、募集人数は15名をMAXとする。																																																
授業内容 宇宙環境と生物(概論) 無(微小)重力と生物(1) 無(微小)重力と生物(2) 宇宙放射線と生物(1) 宇宙放射線と生物(2) 宇宙医学(1) 宇宙医学(2)																																																
成績評価の方法 評価:その他 100% 平常点(参加度)と発表点による。病気以外では、全出席を前提とする。 再評価: 有																																																
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。																																																
準備学習などについての具体的な指示 主題科目の内容と関連のある書物を多数読むこと。																																																
連絡先 服部 淳彦:ahattori.las@tmd.ac.jp																																																
オフィスアワー 服部 淳彦:毎週 水曜:12:30～14:00 金曜:10:30～12:30 ヒポ 4F 教員研究室(A2)																																																

時間割番号	000614																																															
科目名	主題別選択Ⅰ（生物間のコミュニケーション）																																															
担当教員	伊藤 正則																																															
開講時期	前期	対象年次	2																																													
・曜日・時間:木曜 2 限 ・対象学科:医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) 別表 1-1)言語を通じた人間の創造的営みを理解する。 別表 2-4)自己問題提起・解決型の学習方法を身につける。																																																
授業の目的、概要等 この授業の目的は次の1)～4)である。 1)生物間におけるコミュニケーションの方法(ヒトによる言語を含む)とその制御メカニズムを理解する。 2)この分野における研究の現状を理解する。 3)基本的な知識を活用して論理的に考え、その考えを解り易く説明する技術を向上させる。 4)研究テーマと目的を設定し、目的を達成するための実験を立案する技術を習得する。																																																
授業の到達目標 1)生物間におけるコミュニケーションの方法、その制御メカニズム、この分野における研究の現状を説明することができる。 2)基本的な知識を活用して論理的に考え、その考えを解り易く説明することができる。 3)研究テーマと目的を設定し、目的を達成するための実験を立案することができる。																																																
授業計画 <table><tr><td>回</td><td>日付</td><td>時刻</td><td>講義室</td><td>担当教員</td></tr><tr><td>1</td><td>4/4</td><td>10:05-10:55</td><td>大学院講義室3</td><td>伊藤 正則</td></tr><tr><td>2</td><td>4/11</td><td>10:05-10:55</td><td>大学院講義室3</td><td>伊藤 正則</td></tr><tr><td>3</td><td>4/18</td><td>10:05-10:55</td><td>大学院講義室3</td><td>伊藤 正則</td></tr><tr><td>4</td><td>4/25</td><td>10:05-10:55</td><td>大学院講義室3</td><td>伊藤 正則</td></tr><tr><td>5</td><td>5/9</td><td>10:05-10:55</td><td>大学院講義室3</td><td>伊藤 正則</td></tr><tr><td>6</td><td>5/16</td><td>10:05-10:55</td><td>大学院講義室3</td><td>伊藤 正則</td></tr><tr><td>7</td><td>5/23</td><td>10:05-10:55</td><td>大学院講義室3</td><td>伊藤 正則</td></tr><tr><td>8</td><td>5/30</td><td>10:05-10:55</td><td>大学院講義室3</td><td>伊藤 正則</td></tr></table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	4/4	10:05-10:55	大学院講義室3	伊藤 正則	2	4/11	10:05-10:55	大学院講義室3	伊藤 正則	3	4/18	10:05-10:55	大学院講義室3	伊藤 正則	4	4/25	10:05-10:55	大学院講義室3	伊藤 正則	5	5/9	10:05-10:55	大学院講義室3	伊藤 正則	6	5/16	10:05-10:55	大学院講義室3	伊藤 正則	7	5/23	10:05-10:55	大学院講義室3	伊藤 正則	8	5/30	10:05-10:55	大学院講義室3	伊藤 正則
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																												
1	4/4	10:05-10:55	大学院講義室3	伊藤 正則																																												
2	4/11	10:05-10:55	大学院講義室3	伊藤 正則																																												
3	4/18	10:05-10:55	大学院講義室3	伊藤 正則																																												
4	4/25	10:05-10:55	大学院講義室3	伊藤 正則																																												
5	5/9	10:05-10:55	大学院講義室3	伊藤 正則																																												
6	5/16	10:05-10:55	大学院講義室3	伊藤 正則																																												
7	5/23	10:05-10:55	大学院講義室3	伊藤 正則																																												
8	5/30	10:05-10:55	大学院講義室3	伊藤 正則																																												
授業方法 講義形式で行う。ただし、履修者の希望によってはセミナー形式等で行う。毎回、コメントシートに疑問点などを書き、提出する。																																																
授業内容 ヒトによる言語等の生物間におけるコミュニケーションの方法とその制御メカニズムを説明する。主に、最近の研究論文を教材として用いて、発想から目的の設定、目的を達成するための実験計画の立案、結果を整理する方法及び考察での論理展開を重視して説明する。																																																
成績評価の方法 評価:試験 0%・レポート 100%・授業への参加度 0% 再評価:有																																																

成績評価の基準
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表 2」による。
準備学習などについての具体的な指示
予習では予め配布した参考資料を読んでおくこと。復習では授業内容を参考にして、研究テーマを設定し、研究目的を達成するための実験計画を立案したレポートを提出する。
試験の受験資格
2/3 以上出席したものにレポートを提出することができる資格を与える。
教科書
必要に応じて参考資料を配布する
参考書
脳とホルモンの行動学：行動神経内分泌学への招待：カラー版／近藤保彦，小川園子，菊水健史，山田一夫，富原一哉 編：西村書店，2010
はじめて学ぶ、脳の構成細胞と情報伝達の基盤／渡辺雅彦著：羊土社，2008-12
行動の神経生物学／ギュンター・K.H.ツープンク 著，山元大輔 訳，シュプリンガー・ジャパン，2007
化学受容の科学／東原和成編：化学同人，2012-02
履修上の注意事項
出欠管理システムで出欠を記録する。
連絡先
伊藤 正則:itohmt.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー
伊藤 正則:毎週月曜日 AM.10:00-PM.2:00 ヒポクラテスホール4階生物学教員研究室

時間割番号	000615			
科目名	主題別選択Ⅰ（医療の社会学）			
担当教員	藤井 達夫			
開講時期	前期	対象年次	2	
曜日・時間： 木曜 2 限 対象学科： 医・歯学科 募集人数： 25 人 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)：1-2)、1-3)、1-4)、1-5)、1-9)、1-10)、2-4)				
授業の目的、概要等 この授業では、医療テクノロジーの発展の中で医療が理想とした社会像や、医療が実際に可能にした社会の仕組みを批判的に検討します。その上で、医療との関係において、現在の社会がどこに向かおうとしているのかを考えます。具体的には、18 世紀から 20 世紀にかけての近代社会の形成と医療の発展との根深く暗い関係を優生学の観点から議論します。さらに、20 世紀後半に登場する新しい優生学の影響下で現代の医療が目指す社会像を検討します。今年度は、「優生手術」を手掛かりに、優生学と障害者問題にも焦点を当てる予定です。				
授業の到達目標 (1)人文科学・社会科学的な考察から得られる医療に対する知見を深めることができる。(2)社会のあり方やその仕組みに位置付けて医療の抱える問題を発見し、解決を模索するための視座を得ることができる。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/4	10:05-10:55	共用セミナー室 11	藤井 達夫
2	4/11	10:05-10:55	共用セミナー室 11	藤井 達夫
3	4/18	10:05-10:55	共用セミナー室 11	藤井 達夫
4	4/25	10:05-10:55	共用セミナー室 11	藤井 達夫
5	5/9	10:05-10:55	共用セミナー室 11	藤井 達夫
6	5/16	10:05-10:55	共用セミナー室 11	藤井 達夫
7	5/23	10:05-10:55	共用セミナー室 11	藤井 達夫
8	5/30	10:05-10:55	共用セミナー室 11	藤井 達夫
授業方法 講義形式と授業内での質疑応答。ただし、履修者の人数によっては、セミナー形式をとる場合もあります。				
授業内容 第 1 回 医療が描く理想社会 第 2 回 医療と優生学 第 3 回 健康優良者からなる社会——ナチス・ドイツの例 第 4 回 健康優良者からなる社会——日本の例 第 5 回 現代の優生学とそのユートピア 第 6 回 生命が廃棄される社会における障害者 第 7 回 『青い芝の会』と障害者の自己決定権 ※以上の授業計画には、変更の可能性があります。				
成績評価の方法 評価： レポート 80% ・ その他(授業での取り組み) 20% 再評価： 有(再評価方法)レポート				
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による				
準備学習などについての具体的な指示 必要があれば、授業内で適宜、指示します。				
教科書 教科書は使用しません。				
参考書 ハクスレー『素晴らしい新世界』(講談社文庫、1974 年)				

カズオ・イシグロ『わたしを離さないで』(ハヤカワ epi 文庫、2008 年)

ジグムント・バウマン『近代とホロコースト』(大月書店、2006 年)

横塚晃一『母よ！殺すな』(生活書院、2007 年)

横田弘『障害者殺しの思想』(現代書館、2015 年)

優生手術に対する謝罪を求める会編『優生保護法が犯した罪』(現代書館、2018 年)

履修上の注意事項

出欠・遅刻の扱いについては、該当する規則に従います。ただし、教員自身が出欠を取る場合もあります。

時間割番号	000616			
科目名	主題別選択Ⅰ（ヒトの脳と言語）			
担当教員	時本 楠緒子			
開講時期	前期	対象年次	2	
曜日・時間： 木曜・2 限(10:05-10:55)				
対象学科： 医・歯学科				
募集人数： 25 人				
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):別表 1-1) 言語を通じた人間の創造的営みを理解する。 別表 1-7) 人間の心への理解を深める。 別表 2-3) 言語活動や社会現象を科学的に分析するための方法を知る。				
授業の目的、概要等				
なぜヒトだけが言語を持つのでしょうか。授業の前半では、言語を可能にするヒトの脳構造と心的機能を概観し、子どもの言語獲得と脳神経系の発達から臨界期仮説を解説します。後半は、様々な動物の音声コミュニケーションとヒト言語の比較研究から得られた、言語の生物学的起源についての知見を紹介します。				
授業の到達目標				
(1) 言語機能を担うヒトの脳構造について理解する。(2) 言語の生物学的起源に関する知見に触れる。(3) 言語の脳科学研究における研究手法を学ぶ。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/4	10:05-10:55	大学院講義室 2	時本 楠緒子
2	4/11	10:05-10:55	大学院講義室 2	時本 楠緒子
3	4/18	10:05-10:55	大学院講義室 2	時本 楠緒子
4	4/25	10:05-10:55	大学院講義室 2	時本 楠緒子
5	5/9	10:05-10:55	大学院講義室 2	時本 楠緒子
6	5/16	10:05-10:55	大学院講義室 2	時本 楠緒子
7	5/23	10:05-10:55	大学院講義室 2	時本 楠緒子
8	5/30	10:05-10:55	大学院講義室 2	時本 楠緒子
授業方法				
基本的に講義形式で行うが、リアクションペーパーを利用した質疑や討論も予定している。				
授業内容				
4 月 11 日 言語とは:言語の研究法 4 月 18 日 言語獲得と脳 4 月 25 日 言語獲得の臨界期 5 月 9 日 言語の神経基盤 5 月 16 日 言語の神経基盤(2) 5 月 23 日 言語の生物学的起源 5 月 30 日 言語の生物学的起源(2) 6 月 6 日 総括				
成績評価の方法				
評価：試験 0 % ・ レポート 80 % ・ その他(リアクションペーパー) 20 %				
再評価：有(レポート) 0 % ・ 無				
成績評価の基準				
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による				
準備学習などについての具体的な指示				
教科書				
指定しない				

参考書

「カンデル神経科学」 金澤一郎 他監修, メディカルサイエンスインターナショナル, 2014. その他、抗議中に随時紹介します

履修上の注意事項

レポート提出の資格は、原則として授業回数の 2/3 以上の出席とします。出欠は、リアクションペーパーの提出により確認します。

時間割番号	000637		
科目名	主題別選択Ⅰ（Explorations in Literature Philosophy and Science）		
担当教員	DAVID CANNEL		
開講時期	前期	対象年次	2

授業の目的、概要等

What exactly is love? Is love madness, or a kind of sickness? Is it a form of blindness? Why does love feel so real and vital, and yet illusory and even ridiculous? Supposing that such baffling questions are not ultimately beyond us, who can we turn to for guidance and insight? In this course, we will appeal to a group of philosophers, poets and scientists to help guide our thinking and judgment on such matters of love.

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/4	10:05-10:55	医学科演習室 5－1, 医学科演習室 5－2	DAVID CANNEL
2	4/11	10:05-10:55	医学科演習室 5－1, 医学科演習室 5－2	DAVID CANNEL
3	4/18	10:05-10:55	医学科演習室 5－1, 医学科演習室 5－2	DAVID CANNEL
4	4/25	10:05-10:55	医学科演習室 5－1, 医学科演習室 5－2	DAVID CANNEL
5	5/9	10:05-10:55	医学科演習室 5－1, 医学科演習室 5－2	DAVID CANNEL
6	5/16	10:05-10:55	医学科演習室 5－1, 医学科演習室 5－2	DAVID CANNEL
7	5/23	10:05-10:55	医学科演習室 5－1, 医学科演習室 5－2	DAVID CANNEL
8	5/30	10:05-10:55	医学科演習室 5－1, 医学科演習室 5－2	DAVID CANNEL

授業内容

What exactly is love? Is love madness, or a kind of sickness? Is it a form of blindness? Why does love feel so real and vital, and yet illusory and even ridiculous? Supposing that such baffling questions are not ultimately beyond us, who then can we turn to for guidance and insight? In this course, we will appeal to a group of philosophers, poets and scientists to help guide our thinking and judgment on such matters of love.

The keywords for this course are reading, discussion, and writing. Since this is primarily a discussion-centered class, faithful attendance and participation will be critical to making it a success for each of us individually and for all of us as a group. Consequently, attendance will be recorded each time we meet.

* Note: As a rule, use of electronic devices is not permitted in the classroom.

成績評価の方法

評価：レポート 80% ・ その他(授業での取り組み) 20%

再評価：有(再評価方法)レポート

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

必要があれば、授業内で適宜、指示します。

教科書

Most texts will be available as email attachments or handouts.

参考書

Participation

There is a strong expectation that each student will make every effort to contribute to class discussion. This is critical to the success of the whole course. Please come prepared to be a part of the conversation.

Absence policy

Each unexcused absence will affect the student's overall course grade.

Journal

Notebook, A-5 size

時間割番号	000911			
科目名	主題別選択Ⅰ（生命科学と技術）			
担当教員	石野 史敏			
開講時期	前期	対象年次	2	
・曜日・時間：木曜2限 ・対象学科：医学科・歯学科				
授業の目的、概要等				
難治疾患研究所は、難治疾患をその学理と応用の研究により克服し、人々の健康と社会の福祉に貢献することを理念とします。本研究所では、がん・感染症・生活習慣病など様々な難治疾患を対象として、ビッグデータ・ゲノム編集など最新の技術を駆使して基礎医学研究に取り組んでいます。本授業では、各回、異なる教員がそれぞれ専門の話題を提供し、最前線の研究に触れてもらうことを目的とします。生命科学を飛躍的に発展させたテクノロジーに力点を置いた研究を紹介します。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/4	10:05-10:55		石野 史敏
2	4/11	10:05-10:55		岡澤 均
3	4/18	10:05-10:55		清水 重臣
4	4/25	10:05-10:55		田賀 哲也
5	5/9	10:05-10:55		古川 哲史
6	5/16	10:05-10:55		樗木 俊聡
7	5/23	10:05-10:55		田中 光一
8	5/30	10:05-10:55		澁谷 浩司
授業方法				
成績評価の基準				
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。				
準備学習などについての具体的な指示				

時間割番号	000908			
科目名	主題別選択Ⅰ（小説に見る日本語の変化と多様性(現代編)）			
担当教員	平井 裕香			
開講時期	前期	対象年次	2	
曜日・時間:木曜2限				
対象学科:医学科・歯学科				
受講資格:「言語と人間」、「文化と人間」の主題であること				
募集人数:30人				
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):1-1)言語を通した人間の創造的営みを理解する、1-5)人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る、1-9)市民としての倫理観を養う				
授業の目的、概要等				
私たちの多くが日常的に使用している日本語は、通時的に不変でも、共時的に一定でもない。それは複雑な変化を経て現在のような形となり、現在においても重要な多様性を持っている。本授業では、日本語のそうした変化と多様性に、いくつかの小説を通して触れることを目的とする。多彩な言語現象のごく一部である「小説」が、日本語の変化と多様性にいかに関与してきたのかも、あわせて理解できるだろう。後半では比較的新しい時代(これを仮に「現代」と呼ぼう)に焦点を当て、「日本語」に生じる問題や「日本語」という枠組みが生じてしまう問題に、異なる角度から接近している三つの作品を取り上げる。自分が読んだ印象を、他人が読んだ印象や、教員が講義で提示する情報と突き合わせることで、表現と時代、言葉と主体、形式と内容の関係について、洞察を深めてもらいたい。				
授業の到達目標				
(1)日本語の通時的な変化と共時的な多様性を知る。				
(2)「小説」というジャンルの特異性を理解する。				
(3)自分の考えを口頭あるいは文章で他者に伝達する。				
(4)表現と時代、言葉と主体、形式と内容の関係を考察する。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	6/6	10:05-10:55	共用セミナー室 7	平井 裕香
2	6/13	10:05-10:55	共用セミナー室 7	平井 裕香
3	6/20	10:05-10:55	共用セミナー室 7	平井 裕香
4	6/27	10:05-10:55	共用セミナー室 7	平井 裕香
5	7/4	10:05-10:55	共用セミナー室 7	平井 裕香
6	7/11	10:05-10:55	共用セミナー室 7	平井 裕香
7	7/18	10:05-10:55	共用セミナー室 7	平井 裕香
授業方法				
各回の前半約3分の2を教員による講義に、後半約3分の1をクラス全体での討論かリアクションペーパーの執筆にあてる。				
授業内容				
1)イントロダクション				
2)メディアへの視線1				
3)メディアへの視線2				
4)さまざまな越境1				
5)さまざまな越境2				
6)方言という戦略1				
7)方言という戦略2				
なお、各回の授業内容は、受講者の興味関心に即して変更する場合がある。				
成績評価の方法				
評価：試験 0% ・ レポート 60% ・ その他(授業への積極的参加(討論での発言、リアクションペーパーの執筆など)) 40%				
再評価：有(再評価方法:レポート)				
課題図書と各回の講義に対する応答を「授業への積極的参加」で、その総合と発展を「レポート」でそれぞれ評価する。				
成績評価の基準				

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 7回で計3作、2週間ごとに1作の小説を読むことを求める。各自が読んでいることを前提に、講義および討論を行う。 なお、課題として読む3作は、私たちが生きる現在の様々な事象を描いている。必ずしも医療とかかわらないが、それとは異なる観点から社会や自分自身について考えるきっかけにしてほしい。
試験の受験資格 7回中3回以上の欠席で、レポート提出の資格を失うことを原則とする。
教科書 なし。課題として読む3作については、コピーを配布する予定。
参考書 飯田祐子『彼女たちの文学—語りにくさと読まれること』名古屋大学出版会、2016 年 郭南燕(編著)『バイリンガルな日本語文学—多言語多文化のあいだ』三元社、2013 年 川口良、角田史幸『日本語は誰のものか』吉川弘文館、2005 年 斎藤美奈子『日本の同時代小説』岩波新書、2018 年 土田知則、青柳悦子『文学理論のプラクティス—物語・アイデンティティ・越境』新曜社、2001 年
履修上の注意事項 出欠管理システムより、教員がとる出欠を優先させる。

時間割番号	000894			
科目名	主題別選択Ⅰ（生命倫理を問いなおす）			
担当教員	田中 智彦			
開講時期	前期	対象年次	2	
◇ 曜日・時間:木曜 2 限				
◇ 対象学科:医学科・歯学科				
◇ 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)				
別表 1-5)人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る				
別表 1-9)市民としての倫理観を養う				
別表 1-10)現代社会における科学の責任を意識できるようになる				
授業の目的、概要等				
生命(いのち)の倫理を問うとはどういうことだろうか。なるほどすでに生命倫理(bioethics)という制度と学問がある。そのおかげでこの半世紀に医学・医療は大きく変わった。患者の権利を守り、また治療・研究にルールを課す、さまざまな法律やガイドラインが作られた。そのことの意義は評価しなければならない。しかし他方で、そうした所定の手続きにしたがうことは、本来、倫理的に考え、判断し、行為することと同じではないこともたしかである。そこでこの授業では、あらためて「生命(いのち)」とは何か、「倫理」とは何か、という原点に立ち返りながら、今日の医学・医療で「問題」とされることのいくつかを検討してゆくことにしたい。				
授業の到達目標				
(1)「倫理」と「法」の違いについて理解を深めること。				
(2)その理解のもとに、生命倫理上の問題を批判的に再検討する視点を得ること。				
(3)「いのち」について倫理的に思考するとはどういうことかを理解すること。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	6/6	10:05-10:55	共用セミナー室 5	田中 智彦
2	6/13	10:05-10:55	共用セミナー室 5	田中 智彦
3	6/20	10:05-10:55	共用セミナー室 5	田中 智彦
4	6/27	10:05-10:55	共用セミナー室 5	田中 智彦
5	7/4	10:05-10:55	共用セミナー室 5	田中 智彦
6	7/11	10:05-10:55	共用セミナー室 5	田中 智彦
7	7/18	10:05-10:55	共用セミナー室 5	田中 智彦
授業方法				
授業はセミナー形式で進める。教科書は用いず、必要な文献・資料等はコピーして配布する。授業ではそれらをもとにして解説や議論を行い、内容について理解を深めてゆく。				
授業内容				
(1)「倫理」と「法」はどのように違うのか。またなぜその違いが重要なのか。				
(2)患者の権利や尊厳(そして時にいのちまでも)が深く損なわれた歴史は、何を教えるのか。				
(3)こうしたことから生命倫理を省みるとき、その意義と限界はどのように評価されるか。				
成績評価の方法				
◇評価:レポート 60%				
授業への参加度 40%(出席状況、議論への参加度など)				
◇再評価:有(レポート)				
成績評価の基準				
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表 2」による				
準備学習などについての具体的な指示				
受講者には授業の中で、文献や資料(ドキュメンタリー等も含む)から過去と現在を知り、「なぜ」を問い、考えることが求められる。解説や議論はそうした問いや思考を深めるためにある。それゆえ解説・議論への能動的な関与と、そこで学んだことの積極的な吸収・応用に努めてもらいたい。				
試験の受験資格				
◇ レポートの提出資格:原則として 7 回中 5 回以上の出席				

教科書

教科書は用いない。必要な文献・資料等はコピーして配布する。

参考書

参考書等は授業の中で随時紹介する。

履修上の注意事項

出欠については、出欠管理システムの記録と、教員が毎授業時にとる出欠とを併用する。

時間割番号	000910			
科目名	主題別選択Ⅰ（ロシア・中央ユーラシアの文化と歴史）			
担当教員	濱本 真実			
開講時期	前期	対象年次	2	
曜日・時間:木曜 2 限				
受講資格:「文化と人間」「言語と人間」選択者				
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):				
1－3) 人間の歴史的営みを理解する				
3－4) 外国文化を理解する				
授業の目的、概要等				
本授業では、ロシアを含む中央ユーラシアに住む人々の文化の成り立ちに注目し、この地に居住する多くの民族の文化的背景と、それらが影響しあい部分的に融合していく様子をたどる。授業の前半では、ロシアや中央アジアの諸民族の文化とその融合の歴史について解説する。授業の後半では、受講者が自分の興味に基づいて、ロシア、中央アジアやその周辺の国々の歴史に関する発表を行い、その後発表内容について授業参加者全員で討論する。				
授業の到達目標				
多文化共生社会成立の歴史を学ぶことにより、ときに激しい民族対立が発生する多文化・多民族共生社会の構造について理解を深める。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	6/6	10:05-10:55	医学科演習室 5－3, 医学科演習室 5－4	濱本 真実
2	6/13	10:05-10:55	医学科演習室 5－3, 医学科演習室 5－4	濱本 真実
3	6/20	10:05-10:55	医学科演習室 5－3, 医学科演習室 5－4	濱本 真実
4	6/27	10:05-10:55	医学科演習室 5－3, 医学科演習室 5－4	濱本 真実
5	7/4	10:05-10:55	医学科演習室 5－3, 医学科演習室 5－4	濱本 真実
6	7/11	10:05-10:55	医学科演習室 5－3, 医学科演習室 5－4	濱本 真実
7	7/18	10:05-10:55	医学科演習室 5－3, 医学科演習室 5－4	濱本 真実
授業方法				
講義および演習形式				
授業内容				
1. ナショナリズムとは？				
2. ロシア帝国は「諸民族の牢獄」か？				
3. 多民族国家ソ連の成り立ちと文化融合				
4. 出席者による報告と討論				
5. 出席者による報告と討論				
6. 出席者による報告と討論				
7. 出席者による報告と討論				
成績評価の方法				
評価：試験 0% ・ レポート 70% ・ その他(授業への参加度) 30%				
再評価: 有(レポート)				
成績評価の基準				
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による				
準備学習などについての具体的な指示				

試験の受験資格
レポートの提出資格:原則として7回中5回以上の出席
教科書
プリントを配布する。
参考書
塩川伸明『民族と言語』(多民族国家ソ連の興亡 1)岩波書店、2004 年 塩川伸明『民族とネイション—ナショナリズムという難問』岩波新書、2008 年
履修上の注意事項
出欠については、出欠管理システムの記録と教員がとる出欠とを併用します。

時間割番号	000610			
科目名	主題別選択Ⅰ（スポーツと健康）			
担当教員	水野 哲也			
開講時期	前期	対象年次	2	
曜日・時間:木曜 対象学科:医学科・歯学科 2年 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) 別表1－4)異なる空間の文化を理解する 別表1－8)自己の心と体を管理する能力を獲得する				
授業の目的、概要等 本授業では、生活の身近にある「スポーツ」また「健康」とは何か?、を原点に立ち返って、今一度考えてみたいと思います。授業では、私(水野)の考える「スポーツとは?」、「健康とは?」を述べますが、これは私論です。よって、授業では受講者各自が考える「スポーツ」また「健康」とは? を発表し、その本質について共に考えたいと思います。				
授業の到達目標 本授業の最終到達目標は、主題別選択授業のテーマでもある偏らない思考や物の見方をどのようにして身に付けてゆくか?を実践的に学ぶことです。よって、学生各自が本授業の題目である「スポーツと健康」に関する独自のテーマを設定し、それぞれの私論を述べるとともに意見交換し、授業終了後にそれらを基に2000字程度のレポートをまとめることを具体的な到達目標とします。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	6/6	10:05-10:55	共用セミナー室 6	水野 哲也
2	6/13	10:05-10:55	共用セミナー室 6	水野 哲也
3	6/20	10:05-10:55	共用セミナー室 6	水野 哲也
4	6/27	10:05-10:55	共用セミナー室 6	水野 哲也
5	7/4	10:05-10:55	共用セミナー室 6	水野 哲也
6	7/11	10:05-10:55	共用セミナー室 6	水野 哲也
7	7/18	10:05-10:55	共用セミナー室 6	水野 哲也
授業方法 授業は発表形式で実施しますが、その学習効果を上げるために学生による発表、討議型の授業を行います。				
授業内容 「スポーツとは?」、「健康とは?」、そして「文化とは?」について考え、その後「スポーツは文化か?」、「健康づくりは文化か?」などについて事例やデータを基にともに考えます。受講者の主体的な発表が重要で、そのをもとに意見交換をします。				
成績評価の方法 評価:出席 30%、各授業時の参加度 20%、レポート 50% 再評価: 有				
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による				
準備学習などについての具体的な指示 本授業では単に授業に出席して講義を聴くというだけでなく、主体性。能動的に主題(自ら選択したテーマ)について考える積極的な態度や姿勢が求められます。発表の内容をしっかりと準備してください。				
試験の受験資格 本授業は、原則全授業の2/3(全7回のうち5回)以上の出席を受験(評価対象)の資格とします。				
参考書 痛快!みんなのスポーツ学／辻秀一 著,集英社インターナショナル, 2001 病気になるらない暮らし事典／本間真二郎:セブン&アイ出版, 2016 健康生成力SOCと人生・社会／山崎喜比古山崎ほか:有信堂, 2017				
他科目との関連 1年次のスポーツ・健康科学並びに保健体育学分野のS科目との有機的な連携を図ることでより効果が上がるように設計				

されています。

連絡先

水野 哲也:mizuno.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

水野 哲也:毎週金曜日 AM. 10:30 ～ 12:00 管理研究棟 2 階 水野研究室

時間割番号	000620					
科目名	主題別選択Ⅰ（フランス詩を読む）					
担当教員	中島 ひかる					
開講時期	前期	対象年次	2			
・曜日・時間：木曜2限						
・対象学科：医学科・歯学科						
・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)：						
別表1－1)言語を通じた人間の創造的営みを理解する						
別表1－6)優れた芸術作品に触れて感性を高める						
別表1－7)人間の心への理解を深める						
主な講義場所						
湯島						
授業の目的、概要等						
ルネサンス期から現代にいたるまでのフランスの代表的な詩を講読します。授業では、フランス語の原文と共に、できる限り日本語訳を配付して、言葉のニュアンスや詩の構造を解説していきますので、フランス語履修者でなくても、詩や文学に興味があれば受講できます。フランス語を学習した人は、原語で、使われている単語・表現のニュアンスをできるだけ味わって下さい。						
詩(文学)には、普遍的な人間の感性が表現されていますが、また一方で、その感性の表現は、時代・文化の刻印を受けて変化もします。現代の若い皆さんの感性で、共感できる部分、理解しがたい部分を正直に受け止めることが、詩を味わう出発点となると考えます。その共感や違和感をもとに文化・時代の差を考えていただくこともこの授業の目的です。						
授業の到達目標						
1)フランス詩のニュアンス・表現を味わう。						
2)文化・時代による感性の表現を自らの感性や表現と比較し、自らを相対化する。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	6/6	10:05-10:55	共用セミナー室 2	フランス詩を読む	序論(概要の説明) ジャック・プレヴェール	中島 ひかる
2	6/13	10:05-10:55	共用セミナー室 2	フランス詩を読む	ヴェルレーヌ等	中島 ひかる
3	6/20	10:05-10:55	共用セミナー室 2	フランス詩を読む	アポリネール・ロンサール	中島 ひかる
4	6/27	10:05-10:55	共用セミナー室 2	フランス詩を読む	ランボー、ボードレー ル	中島 ひかる
5	7/4	10:05-10:55	共用セミナー室 2	フランス詩を読む	マラルメ、ヴァレリー	中島 ひかる
6	7/11	10:05-10:55	共用セミナー室 2	フランス詩を読む	ロマン派	中島 ひかる
7	7/18	10:05-10:55	共用セミナー室 2	フランス詩を読む	現代詩、意見交換	中島 ひかる
授業方法						
講義と演習による。						
毎回、2、3篇の詩を講読します。最初に各自に簡単な解釈や感想を述べていただいた後、教員が詩の内容や言葉のニュアンス、時代背景等を解説し、それを聞いた後、どのように感じ方が変わったかを再び話していただきます。						
授業内容						
ロンサール、ラシーヌ、ボードレー、ヴェルレーヌ、ランボー、マラルメ、アポリネール等、できるだけ日本語訳のあるフランス詩を、各時代から幅広く選んで読んでいきます。						
おおよその予定は以下の通りですが、受講者の反応や希望によって取り上げる詩と順序は変更します。						
1 回目：授業の概要説明、ジャック・プレヴェール						
2 回目：ヴェルレーヌ等						
3 回目：アポリネール・ロンサール						
4 回目：ランボー・ボードレー						
5 回目：マラルメ、ヴァレリー						
6 回目：ロマン派						

7 回目:現代詩、意見交換
成績評価の方法 評価:試験(期末考査)0%・レポート80%・ その他 20 % (授業への参加度) 再評価:有 (再評価方法 主題別教育運営委員会の指示にしたがってください) 授業中のコメント、並びに期末レポートで評価します。レポートは、自分の興味を持った詩(授業中に取り上げた詩でも、それ以外の詩でも構いません)を選び、分析して頂きます。フランス文学への教養も大事ですが、知識の蓄積を目的とする授業ではありませんので、レポート作成にあたっては解説記事を写すのではなく、授業中の教員の解説や他の人のコメントも参考にしながら、選んだ作品に対して、何を感じ、なぜ自分がそう感じたのかを分析して下さい。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 初回の導入以外は、毎回、次回に扱う詩をあらかじめ配付するので、事前に目を通して、自分なりの解釈や感想をまとめておくこと。
試験の受験資格 2/3 以上出席したものに、レポート提出の資格を与える。
教科書 フランス名詩選／安藤元雄、入沢康夫、渋谷孝輔 編、:岩波書店、1998 プリントを配付する
参考書 珊瑚集 : 仏蘭西近代抒情詩選／永井 荷風 訳、:岩波書店 上田敏全訳詩集／山内 義雄・ 矢野峰人 編、:岩波書店 悪の華／ボードレール 著、鈴木信太郎 著、:集英社 ヴァレリー詩集／ヴァレリー／著、鈴木 信太郎／訳、:岩波書店、1979 月下の一群 : 訳詩集／堀口大樹 訳、:岩波書店、2013 ロンサル詩集／ピエール・ド・ロンサル／〔著〕、井上究一郎／訳、:岩波書店、1989 ランボオ詩集／ランボオ〔著〕、中原中也 訳、:岩波書店、2013 地獄の季節／ランボー /作、小林秀雄／訳、:岩波書店、2008 ヴェルレーヌ詩集／ヴェルレーヌ〔著〕、堀口 大樹 訳、:新潮社 アポリネール詩集／アポリネール／〔著〕、堀口大樹／訳、:新潮社、1985
履修上の注意事項 出欠管理システムの端末がない部屋がほとんどと思われるので、教員が出欠をとります。
連絡先 中島 ひかる:nakashima.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 中島 ひかる:毎週月・水曜 12:30～13:00 教養部管理研究棟 3 階フランス語研究室

時間割番号	000621						
科目名	主題別選択Ⅰ（ドイツとヨーロッパの現在）						
担当教員	SCHINZINGER EMI						
開講時期	前期	対象年次	2				
・前期後半 ・曜日・時間：木曜 2 限 ・対象学科：医学科・歯学科 ・受講資格：ドイツ語 a,b,c,d,4 単位を持っていること ・募集人数：3 年生とあわせて 20 人 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)： 別表1－1) 言語を通じた人間の創造的営みを理解する 別表1－3) 人間の歴史的営みを理解する 別表1－4) 異なる空間の文化を理解する 別表1－6) 優れた芸術作品に触れて感性を高める 別表1－7) 人間の心への理解を深める 別表3－4) 外国文化を理解する							
主な講義場所							
湯島キャンパス							
3号棟4階演習室4－11, 12							
授業の目的、概要等							
ベルリンという特別な町について学ぶことによって、ドイツとヨーロッパの現在について考えていきます。具体的には、1986 年に初演されてから現在までベルリンで再演され続けている「Linie 1」という、ベルリンの地下鉄を題材にした音楽劇の中から、抜粋した箇所を読んでいきます。原文を読む授業ですので、ドイツ語の 4 単位を持っていない方は受講できません！毎回予習してきてもらって、ドイツ語を訳していきますので、予習をすることが受講の条件です。							
授業の到達目標							
ベルリンについて学んでから、現代の演劇作品から多くの抜粋箇所を読むことが目標です。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	6/6	10:05-10:55	医学科演習室 4－11, 医学科演習室 4－12	ドイツとヨーロッパの現在 1	オリエンテーション：ベルリンについて：教員から説明後、プリントを読んで訳していく。その後戯曲のプリントを配り、一つ目の詩を読んで訳し始める。次回からどの詩をどの順番で読んでいくか話し合う。	SCHINZINGER EMI	毎回独和辞典、あれば電子辞書を持ってくる。次回に向けて：予習してくる範囲が指定される。
2	6/13	10:05-10:55	医学科演習室 4－11, 医学科演習室 4－12	ドイツとヨーロッパの現在 2	一つ目の詩を最後まで読んで訳したら、二つ目の詩を読んで訳していく。	SCHINZINGER EMI	独和辞典、あれば電子辞書を持ってくる。指定された範囲を予習してくる。
3	6/20	10:05-10:55	医学科演習室 4－11, 医学科演習室 4－12	ドイツとヨーロッパの現在 3	二つ目の詩を最後まで読んで訳したら、三つ目の詩を読んで訳していく。	SCHINZINGER EMI	独和辞典、あれば電子辞書を持ってくる。指定された範囲を予習してくる。
4	6/27	10:05-10:55	医学科演習室 4－11, 医学科演習室 4－12	ドイツとヨーロッパの現在 4	三つ目の詩を最後まで読んで訳したら、四つ目の詩を読んで訳していく。	SCHINZINGER EMI	独和辞典、あれば電子辞書を持ってくる。指定された範囲を

			12				予習してくる。
5	7/4	10:05-10:55	医学科演習室 4-11, 医学科演習室 4-12	ドイツとヨーロッパの現在5	四つ目の詩を最後まで読んで訳したら、五つ目の詩を読んで訳していく。	SCHINZIN GER EMI	独和辞典、あれば電子辞書を持ってくる。指定された範囲を予習してくる。
6	7/11	10:05-10:55	医学科演習室 4-11, 医学科演習室 4-12	ドイツとヨーロッパの現在6	五つ目の詩を最後まで読んで訳したら、六つ目の詩を読んで最後まで訳していく。	SCHINZIN GER EMI	試験準備: 今まで読んだ詩をすべてしっかり復習しておく。ベルリンという町と「地下鉄1号線」というお芝居についても考えておく。
7	7/18	10:05-10:55	医学科演習室 4-11, 医学科演習室 4-12	ドイツとヨーロッパの現在7	試験	SCHINZIN GER EMI	遅刻、欠席をしないこと。

授業方法

セミナー形式; 初回はベルリンについてのオリエンテーションで、インターネットのページなど読みます。その次からは作品の一部を原文で読んで訳していきます。

授業内容

初回: ベルリンについてのオリエンテーション、プリント配布

第2回～第6回: 「Linie 1」より抜粋を読んでいきます。毎回予習が必要です。1年生で習ったドイツ語より格段に難しいので覚悟が必要です。

第7回: 到達したところまでの内容について、試験を行います。

成績評価の方法

毎回予習をしてきて積極的に授業に参加することによる平常点が 50 パーセント。

試験が 50 パーセント。

再評価: 無

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表 2」による

準備学習などについての具体的な指示

・授業中にたくさん原文、ドイツ語を読みますので、1年で学んだドイツ語の内容を、授業が始まる前に復習しておいてください。1年生の時の文法と会話の両方の教科書を復習しておくといいです。他の参考書、ラジオやテレビのドイツ語講座も活用するとよいです。

・授業時間が短いため、必ず毎回自宅で辞書を使い、指定された範囲を予習してきてください。

試験の受験資格

原則 3 分の 2 以上出席

教科書

1 回目にプリントを配布します。

参考書

新現代独和辞典／ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編, Schinzinger, Robert, 1898-1988, 山本, 明, 1928-, 南原, 実, 1930-2013, : 三修社, 2008

アポロン独和辞典／根本道也, 恒吉良隆, 吉中幸平, 成田克史, 福元圭太, 重竹芳江 責任編集執筆, 有村隆広, 新保弼彬, 本田義昭, 鈴木敦典 編集執筆, 根本, 道也, 1934-, 恒吉, 良隆, 1938-, 吉中, 幸平, 有村, 隆広, 1936-, 新保, 弼彬, 本田, 義昭, : 同学社, 2010

代表的な独和辞典を挙げておきましたが、授業時間が短いので、授業中は電子辞書の方が早く使えるので便利です。もしできるのであれば電子辞書を用意してください。これからもドイツ語を使うのであれば、カシオ Ex-word XD-U7100 がおすすめです。
履修上の注意事項 毎回出欠を取ります。 毎回プリントと電子辞書か独和辞典を持ってくるください。 毎回指定された範囲を予習してきてください。
連絡先 SCHINZINGER EMI:schinzinger.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー SCHINZINGER EMI:毎週月曜日 16:30 – 18:00 管理研究棟 3 階研究室

時間割番号	000809			
科目名	主題別選択Ⅰ（学習・記憶と老化）			
担当教員	岩下 洸			
開講時期	前期	対象年次	2	
曜日・時間:木曜 2 限 募集人数:20 人 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表1ー5)人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る 別表1ー7)人間の心への理解を深める 別表2ー1)自然現象を科学的に探求するための方法論を知る				
授業の目的、概要等				
ヒトを含め、動物は過去の経験を記憶し、学習することで行動を変化させ、環境の変化に適応しながら生存している。そのため、「学習・記憶」は動物にとって重要な能力である。しかしながら、「学習・記憶」を含む認知機能は加齢にともなう様々な要因に影響される。平均寿命の著しい伸びとともに、高齢化率が急速に増加しているわが国において、認知症患者数の増加が社会に与える影響は大きいであろう。 この授業では、「学習・記憶」に関係する脳の機能と、そこに与える老化の影響について、生物学的な視点から講義を行い、理解を深めることを目的とする。				
授業の到達目標				
学習・記憶の観点から脳の機能への理解を深め、そこに与える老化の影響を学ぶ。また、当該分野における研究手法を学ぶ。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	6/6	10:05-10:55	共用セミナー室 12	岩下 洸
2	6/13	10:05-10:55	共用セミナー室 12	岩下 洸
3	6/20	10:05-10:55	共用セミナー室 12	岩下 洸
4	6/27	10:05-10:55	共用セミナー室 12	岩下 洸
5	7/4	10:05-10:55	共用セミナー室 12	岩下 洸
6	7/11	10:05-10:55	共用セミナー室 12	岩下 洸
7	7/18	10:05-10:55	共用セミナー室 12	岩下 洸
授業方法				
講義形式と授業内での質疑応答				
授業内容				
第 1 回-第 4 回 学習と記憶 第 5 回-第 7 回 学習・記憶の老化				
成績評価の方法				
評価：その他(各講義での小テスト・授業への参加度) 100% 再評価：有				
成績評価の基準				
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による				
準備学習などについての具体的な指示				
予習は特に必要ありません。毎回、前回と当日の講義内容について小テストを行うとともに、質問やコメントを書いています。				
教科書				
指定なし プリントを配布する。				
参考書				
カールソン神経科学テキスト 脳と行動/ NEIL R.CARLSON 著, 泰羅 雅登 監訳, 中村 克樹 監訳.: 丸善出版, 2013 老年医学系統講義テキスト/ 日本老年医学会 編.: 西村書店, 2013				

履修上の注意事項

毎回の講義における小テスト等を出欠確認に用います。また、3 分の 2 以上の出席を前提とし、評価の対象とする。

時間割番号	000898			
科目名	主題別選択Ⅰ（情報社会と人間）			
担当教員	中口 悦史			
開講時期	前期	対象年次	2	
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 1－1), 1－7), 2－1), 2－3), 4－4)				
対象主題(2年生): 文化と人間, 言語と人間, 制度と人間				
授業の目的、概要等				
情報化社会とよばれる現代, すでに対面よりもスマホの画面内のSNS上での会話が支配的な時代となり, 人々はネット社会とリアル社会の両面での生活を強いられている。では現代の人々は, ネット社会での生活にうまく適応できているのだろうか。そもそもコミュニケーションの本質とは何か。情報社会やコミュニケーションについて人文社会科学や医学などさまざまな観点から考察する。				
授業の到達目標				
情報と情報社会に対して自分なりの視点や立場を持ち, それを他人に説明し, 互いに議論・討論することができる。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	6/6	10:05-10:55	医学科講義室 1	中口 悦史
2	6/13	10:05-10:55	医学科講義室 1	中口 悦史
3	6/20	10:05-10:55	医学科講義室 1	中口 悦史
4	6/27	10:05-10:55	医学科講義室 1	中口 悦史
5	7/4	10:05-10:55	医学科講義室 1	中口 悦史
6	7/11	10:05-10:55	医学科講義室 1	中口 悦史
7	7/18	10:05-10:55	医学科講義室 1	中口 悦史
授業方法				
講義と議論・討論を交えながら授業を進める。				
授業内容				
配付資料を基に, 情報と情報社会の理論的基礎を学習しながら, 互いに議論・討論を重ね, 各自の視点で考察を加える。				
授業計画				
(1) 情報という概念, 情報の定義				
(2) 情報と感知・認知・心理・行動				
(3) シヤノンとソシュールのモデル				
(4) コミュニケーションの成立と言語の役割				
(5) うわさやデマの伝播				
(6) デジタル社会は仮想か現実か				
(7) まとめ・情報とは何か				
成績評価の方法				
評価 : 試験 0% ・ レポート 80% ・ その他(授業への参加度) 20%				
再評価: 有				
レポートと授業への参加度を総合して成績評価を行う。授業への参加度は, 質疑応答や議論・討論への参加の積極性, 演習への取り組み具合などにより測る。期末にレポートを課し, この授業の内容に即したテーマに沿って, 学生個々の考えを問う。				
「試験の受験資格」を満たし, かつレポートを提出したもののみを, 評価の対象とする。				

成績評価の基準
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則別表 2」による
準備学習などについての具体的な指示
毎回の授業計画にあるトピックについて、疑問点などを事前にまとめて、授業に臨むこと。
試験の受験資格
授業回数の3分の2回以上の出席。
教科書
教科書は特に指定しない。資料は適宜配付する。
参考書
情報理論／甘利俊一 著, 甘利, 俊一, 1936-, : 筑摩書房, 2011 通信の数学的理論／クロード・E. シャノン, ワレン・ウィーバー 著, 植松友彦 訳, Shannon, Claude E, 1916-2001, Weaver, Warren, 1894-1978, 植松, 友彦, : 筑摩書房, 2009 ソシールと言語学 : コトバはなぜ通じるのか／町田健 著, 町田, 健, 1957-, : 講談社, 2004 情報と自己組織性の理論 (オンデマンド版)／吉田民人 : 東京大学出版会, 2012 生命と機械をつなぐ知 : 基礎情報学入門／西垣通 著, 西垣, 通, 1948-, : 高陵社書店, 2012 ケータイ化する日本語 : モバイル時代の“感じる”“伝える”“考える”／佐藤健二 著, 佐藤, 健二, 1957-, : 大修館書店, 2012 ケータイ社会論 = Understanding Keitai Society／岡田朋之, 松田美佐 編, 岡田, 朋之, 1965-, 松田, 美佐, 1968-, : 有斐閣, 2012 うわさとは何か : ネットで変容する「最も古いメディア」／松田美佐 著, 松田, 美佐, 1968-, : 中央公論新社, 2014 クチコミとネットワークの社会心理 : 消費と普及のサービスイノベーション研究／池田謙一 編, 池田, 謙一, 1955-, : 東京大学出版会, 2010 ウェブ社会のゆくえ : 〈多孔化〉した現実のなかで／鈴木謙介 著, 鈴木, 謙介, 1976-, : NHK 出版, 2013
履修上の注意事項
出欠確認は出欠管理システムと、授業中の点呼を併用する。

時間割番号	000636					
科目名	主題別選択Ⅰ（人体・医療の物理）					
担当教員	檜枝 光憲					
開講時期	前期	対象年次	2			
曜日・時間:木曜2限 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):別表2－1)別表2－2)別表2－4) 別表4－2)						
授業の目的、概要等 生命も含め物質現象は物理学の原理と大いに関係しています。例えば人体の動きや歯の矯正治療は力学、血流の流れは流体力学、また体内に取り込み消費するエネルギーは熱力学の原理に従っています。また、X線、MRI、重粒子線治療など多くの現代医療測定技術は物理学の成果です。本授業は講義形式で進め、人体や医歯学に関係した物理を学んでいきます。						
授業の到達目標 人体・医療に関係した物理を習得する。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	6/6	10:05-10:55	医学科講義室 2	第1回	力学と人体・医療	檜枝 光憲
2	6/13	10:05-10:55	医学科講義室 2	第2回	流体と人体・医療	檜枝 光憲
3	6/20	10:05-10:55	医学科講義室 2	第3回	熱と人体・医療	檜枝 光憲
4	6/27	10:05-10:55	医学科講義室 2	第4回	音と人体・医療	檜枝 光憲
5	7/4	10:05-10:55	医学科講義室 2	第5回	光と人体・医療	檜枝 光憲
6	7/11	10:05-10:55	医学科講義室 2	第6回	磁気と人体・医療	檜枝 光憲
7	7/18	10:05-10:55	医学科講義室 2	第7回	放射線と人体・医療	檜枝 光憲
授業方法 講義と演習						
授業内容 1. 力学と人体・医療 2. 流体と人体・医療 3. 熱と人体・医療 4. 音と人体・医療 5. 光と人体・医療 6. 磁気と人体・医療 7. 放射線と人体・医療						
成績評価の方法 授業の到達目標の達成度を主に授業毎に提出してもらう演習内容(小レポート)によって評価する。 評価：レポート 80 % その他(授業の参加度) 20% 再評価：無						
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による						

準備学習などについての具体的な指示

予習として関連の参考書や他の関連図書を探して読むこと。

参考書

生物学と医学のための物理学／Paul Davidovits 著,曾我部正博 監訳,吉村建二郎 編集協力,：共立出版, 2015
物理学入門から医用物理へ：超音波、磁気共鳴、X線理解のために／本間康浩 著,：ブイツーソリューション, 2013
医療系のための物理／佐藤幸一, 藤城敏幸 著,：東京教学社, 2013

履修上の注意事項

原則 2/3 以上の出席が必要。 出欠管理システムより、教員自身が取る出欠を優先させる。

連絡先

檜枝 光憲:hieda.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

檜枝 光憲:毎週金曜日 16:30～17:30 ヒポ 4F 教員研究室 3

時間割番号	000625					
科目名	主題別選択Ⅰ（微分方程式演習）					
担当教員	越野 和樹					
開講時期	前期	対象年次	2			
・曜日・時間：時間割を参照のこと ・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー） 別表2－1） 別表4－2）						
授業の目的、概要等						
私たちはみな、毎日の暮らしの中で物理法則に従って生きています。例えば、自動車の停止距離はスピードの2乗に比例しますが、このことは物理理論によって明快に説明することができます。物理法則は数学（特に微分方程式）を用いて記述されています。本講義では、微分方程式などの物理数学を演習形式で学習します。						
授業の到達目標						
問題演習をとおして、数理科学的能力を高めること						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	6/6	10:05-10:55	共用セミナー室 4	第 1 回	物理数学演習	越野 和樹
2	6/13	10:05-10:55	共用セミナー室 4	第 2 回	物理数学演習	越野 和樹
3	6/20	10:05-10:55	共用セミナー室 4	第 3 回	力学演習	越野 和樹
4	6/27	10:05-10:55	共用セミナー室 4	第 4 回	力学演習	越野 和樹
5	7/4	10:05-10:55	共用セミナー室 4	第 5 回	力学演習	越野 和樹
6	7/11	10:05-10:55	共用セミナー室 4	第 6 回	電磁気学演習	越野 和樹
7	7/18	10:05-10:55	共用セミナー室 4	第 7 回	電磁気学演習	越野 和樹
授業方法						
講義およびアクティブラーニング（演習や討論など）による						
授業内容						
・物理数学演習 ・電磁気学演習 ・力学演習						
成績評価の方法						
評価：試験（期末考査）0％・レポート0％・その他（各講義での提出課題）100％						
成績評価の基準						
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による						
準備学習などについての具体的な指示						
特別な準備は必要ないが、講義前半の基礎知識確認に集中すること。						
参考書						
「詳解物理応用数学演習」 後藤憲一ほか 共立出版						
履修上の注意事項						
数学・物理学の双方に十分な能力を有することを前提としている。						
連絡先						
越野 和樹:ikuzak.las@tmd.ac.jp						
オフィスアワー						
越野 和樹:毎週月曜日 12:00―13:00 ヒポクラテス 4 階						

時間割番号	000626			
科目名	主題別選択Ⅰ（タンパク質科学の光と影）			
担当教員	奈良 雅之			
開講時期	前期	対象年次	2	
・曜日・時間：木曜2限 ・対象学科：医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）： 1-3)人間の歴史的営みを理解する。 1-10)現代社会における科学の責任を意識できるようになる 2-1)自然現象を科学的に理解するための方法論を知る 4-2)生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける				
授業の目的、概要等				
我々の生存を支えている生命現象はきわめて複雑で、それにはタンパク質、糖質、脂質、核酸などの多種類の物質が関わっています。それらの物質の中で生命現象の直接的な担い手であるタンパク質に注目が集まっています。21世紀はタンパク質の時代ともてはやされて、この10年間で大型のプロジェクトが活発に推進されました。この授業ではタンパク質研究におけるX線、核磁気共鳴（NMR）、赤外線という電磁波の活用に焦点を当てます。これらの光を活用するために、フーリエ変換という数学的な手法について知り、タンパク質科学の「光と影」について理解を深めます。				
授業の到達目標				
授業に関するテーマを見つけて、そのテーマについて理解を深める				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	6/6	10:05-10:55	共用セミナー室1	奈良 雅之
2	6/13	10:05-10:55	共用セミナー室1	奈良 雅之
3	6/20	10:05-10:55	共用セミナー室1	奈良 雅之
4	6/27	10:05-10:55	共用セミナー室1	奈良 雅之
5	7/4	10:05-10:55	共用セミナー室1	奈良 雅之
6	7/11	10:05-10:55	共用セミナー室1	奈良 雅之
7	7/18	10:05-10:55	共用セミナー室1	奈良 雅之
授業方法				
講義形式を予定していますが、履修人数が少ない場合は、希望に応じて、セミナー形式に変更することができます。履修人数が多い場合にも、文献や指定課題について事前に調べてディスカッションするなど、アクティブラーニングを取り入れます。				
授業内容				
21世紀はタンパク質の時代ともてはやされて、この18年間で大型のプロジェクトが活発に推進されましたが、その光と影に迫ってみたいと考えます。科学的な知識として、タンパク質構造解析の概略を勉強しますが、実際にこの研究に携わったポスドクの問題など、社会的な視点からも理解を深めます。				
成績評価の方法				
評価：試験0%・レポート 80% その他（授業への参加度 20%） 再評価：有				
授業で習得したことをレポートにまとめることを重視します。				
成績評価の基準				
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による				
準備学習などについての具体的な指示				
予習：配付資料に目を通してください。 復習：興味のあるテーマを見つけたら、それに関する文献や本を調べてください。				
試験の受験資格				

・定期試験・再試験の受験資格:原則3分の2以上出席
(レポートでもって、定期試験・再試験の代替とする。)

参考書

タンパク質の生命科学：ポスト・ゲノム時代の主役／池内俊彦 著,：中央公論新社, 2001

ポストゲノム時代のタンパク質科学：構造・機能・ゲノミクス／Arthur M.Lesk 著,高木淳一 訳,：化学同人, 2007

入門構造生物学：放射光 X 線と中性子で最新の生命現象を読み解く／高エネルギー加速器研究機構構造生物学研究センター, 加藤龍一 編,：共立出版, 2010

タンパク質の構造と機能：カラー図説／グレゴリー A. ペツコ／著,ダグマール リンゲ／著,横山 茂之／監訳,宮島 郁子／訳,：メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2005

連絡先

nara.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週水曜日 PM.0:00-PM.2:00, 毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4 階

時間割番号	000619				
科目名	主題別選択Ⅰ（植物の科学）				
担当教員	澤野 頼子				
開講時期	前期	対象年次	2		
曜日・時間:木曜日・2 時限 対象学科:医学科・歯学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表1－3)人間の歴史的営みを理解する 別表1－10)現代社会における科学の責任を意識できるようになる					
授業の目的、概要等 植物は地球上のあらゆる生物の生存を支えている。動物の食物として役立つだけでなく、光合成によって大気圏の二酸化炭素を吸収して酸素を供給し、大気環境を保持する役割をもつ。また、人間は、太古に繁殖していた植物の遺体を化石燃料として、医療現場では植物中の有効成分から誘導された医薬品を利用している。本授業では、植物の構造・成長・代謝などに関する基礎的な知識を講義を通して学び、人類と植物との関わりについて考える。					
授業の到達目標 植物を歴史的および科学的側面からとらえ、自分の考えをレポートにまとめる。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	6/6	10:05-10:55	大学院講義室 3	イントロダクション、植物の歴史と人類との関わり	澤野 頼子
2	6/13	10:05-10:55	大学院講義室 3	植物の構造	澤野 頼子
3	6/20	10:05-10:55	大学院講義室 3	植物の成長	澤野 頼子
4	6/27	10:05-10:55	大学院講義室 3	植物の機能(1)	澤野 頼子
5	7/4	10:05-10:55	大学院講義室 3	植物の機能(2)	澤野 頼子
6	7/11	10:05-10:55	大学院講義室 3	PBL	澤野 頼子
7	7/18	10:05-10:55	大学院講義室 3	発表会	澤野 頼子
授業方法 主に講義形式で行うが、適宜、アクティブラーニング(PBL、課題発表など)を取り入れる。					
授業内容 植物の構造・成長・代謝や人類との関わりについて学ぶ。					
成績評価の方法 評価：試験 0% ・ レポート 80% ・ その他(授業への参加度) 20% 再評価：有					
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による					
準備学習などについての具体的な指示 講義資料(WebClass に掲載)に目を通しておく。 授業で扱った事項について、参考書やインターネット等で知識を整理し、自分なりの考えをまとめる。					
試験の受験資格 定期試験・再試験の受験資格:原則3分の2以上出席 (レポートでもって、定期試験・再試験の代替とする。)					
参考書 植物生理学／三村徹郎, 鶴見誠二 編著,:化学同人, 2009 ベーシックマスター 植物生理学／塩井祐三, 井上弘, 近藤矩朗 共編,:オーム社, 2009 植物生理学概論／桜井英博 [ほか] 共著,桜井, 英博,柴岡, 弘郎(1934-),高橋, 陽介,小関, 良宏,藤田, 知道(1964-),:培風館, 2017 新しい植物科学：環境と食と農業の基礎／神阪盛一郎, 谷本英一 共編,神阪, 盛一郎, 1940-,谷本, 英一,:培風館, 2010					
連絡先					

澤野 頼子:sawano.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

澤野 頼子:毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4 階

時間割番号	000628					
科目名	主題別選択Ⅰ（危険物の科学）					
担当教員	勝又 敏行					
開講時期	前期	対象年次	2			
曜日・時間:木曜日 2限 対象学科:医学科、歯学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表1-2)社会制度や仕組みについての基本を理解する 別表1-10)現代社会における科学の責任を意識できるようになる						
授業の目的、概要等 化学物質を扱うために、安全や環境保護など様々な理由から法による規制が行われている。その中で火災予防を目的として危険物が消防法により規定され、その取り扱いの監督者には資格が必要となる。危険物の化学的性質やその火災事例、消火法などを講義形式で紹介していく。最後にグループ討論を行い安全について議論してもらう。						
授業の到達目標 危険物の安全な取扱方法を理解する。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	6/6	10:05-10:55	大学院講義室 2	関係法令	化学物質に関わる法律など	勝又 敏行
2	6/13	10:05-10:55	大学院講義室 2	危険物とは何か	消防法で規定される危険物とは	勝又 敏行
3	6/20	10:05-10:55	大学院講義室 2	消火法について	危険物の消火法	勝又 敏行
4	6/27	10:05-10:55	大学院講義室 2	第1類～第2類の性質、事故事例等	第1、2類の性質等を事故事例を交えて紹介	勝又 敏行
5	7/4	10:05-10:55	大学院講義室 2	第3類～第4類の性質、事故事例等	第3、4類の性質等を事故事例を交えて紹介	勝又 敏行
6	7/11	10:05-10:55	大学院講義室 2	第5類～第6類の性質、事故事例等	第5、6類の性質等を事故事例を交えて紹介	勝又 敏行
7	7/18	10:05-10:55	大学院講義室 2	グループ討論	グループで危険物取り扱い等に関する討論を行う。	勝又 敏行
授業方法 講義形式一部アクティブラーニングを取り入れる。						
授業内容 1. 関係法令 2. 危険物とは何か 3. 消火法について 4. 第1類～第2類の性質、事故事例等 5. 第3類～第4類の性質、事故事例等 6. 第5類～第6類の性質、事故事例等 7. グループ討論						
成績評価の方法 評価:試験 0%、レポート 50%、出席、授業への参加度(グループ討論などを含む)等 50% レポートの内容および授業への参加度を考慮し、以上の通りとする。						
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による						
準備学習などについての具体的な指示 講義で興味を持った項目について調べ、次の授業に臨んでください。						
参考書						

基礎火災現象原論／James G.Quintiere 著,大宮喜文, 若月薫 訳,:共立出版, 2009

連絡先

勝又 敏行:katsumata.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

勝又 敏行:毎週金曜日 12:00-13:00 ヒポクラテス 2 階化学実験準備室

時間割番号	000629			
科目名	主題別選択Ⅰ（老化と寿命）			
担当教員	服部 淳彦			
開講時期	前期	対象年次	2	
・曜日・時間：木曜2限 ・対象学科：医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー） 1－5）人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る。 1－10）現代社会における科学の責任を意識できるようになる。				
授業の目的、概要等 「生あるものは必ず死を迎える」というが、果たして本当であろうか。生物学的に言えば、NOである。細菌などの原核生物は無限に分裂を繰り返し、生き延びることができるのである。一方、我々ヒトを含めた有性生殖を行う動物は、どんなに環境を整えても必ず死が訪れる。この授業では、「老化」に焦点を当て、老化の原因と老化に関連した病気についてはじめに解説した後、セミナー形式で各自に発表してもらう。なお、発表内容に関しては、適宜アドバイスを行う。				
授業の到達目標 生命科学のトピックスについて理解し、説明することができる。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	6/6	10:05-10:55	共用セミナー室 10	服部 淳彦
2	6/13	10:05-10:55	共用セミナー室 10	服部 淳彦
3	6/20	10:05-10:55	共用セミナー室 10	服部 淳彦
4	6/27	10:05-10:55	共用セミナー室 10	服部 淳彦
5	7/4	10:05-10:55	共用セミナー室 10	服部 淳彦
6	7/11	10:05-10:55	共用セミナー室 10	服部 淳彦
7	7/18	10:05-10:55	共用セミナー室 10	服部 淳彦
授業方法 セミナー形式による（各自に発表してもらう）。したがって、募集人数は15名をMAXとする。				
授業内容 老化現象と老化の原因（概要） 骨の老化 皮膚の老化 脳の老化 血管の老化 老化と遺伝子 抗加齢医学				
成績評価の方法 評価：その他 100% 平常点（参加度）と発表点による。病気以外では、全出席を前提とする。 再評価：有				
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。				
準備学習などについての具体的な指示 主題科目の内容と関連のある書物を多数読むこと。				
連絡先 服部 淳彦:ahattori.las@tmd.ac.jp				
オフィスアワー 服部 淳彦:毎週 水曜:12:30～14:00 金曜:10:30～12:30 ヒポ 4F 教員研究室(A2)				

時間割番号	000608			
科目名	主題別選択Ⅰ（環境への適応）			
担当教員	伊藤 正則			
開講時期	前期	対象年次	2	
・曜日・時間: 木曜 2 限 ・対象学科: 医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表 1-8)自己の心と体を管理する能力を獲得する。 別表 2-4)自己問題提起・解決型の学習方法を身につける。				
授業の目的、概要等				
外部環境から刺激を受容したとき、同種の生物ではほぼ定型的な反応を示す。この授業では、刺激を受容してから反応が起こるまでの過程とその反応を制御するメカニズムを器官、組織、細胞、分子レベルで理解することを目的とする。また、基本的な知識を活用して論理的に考え、その考えを解り易く説明する技術を向上させることと、研究テーマと目的を設定し、目的を達成するための実験を立案する技術を習得することを目指す。主に、生物の環境適応を対象とする最近の研究論文を教材として用いる。				
授業の到達目標				
1)生体の基本構造を説明することができる。 2)生体の構造と関連させて、基本的な機能を説明することができる。 3)知識を活用して論理的に考え、その考えを解り易く説明することができる。 4)研究テーマと目的を設定し、目的を達成するための実験を計画することができる。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	6/6	10:05-10:55	共用講義室 2	伊藤 正則
2	6/13	10:05-10:55	共用講義室 2	伊藤 正則
3	6/20	10:05-10:55	共用講義室 2	伊藤 正則
4	6/27	10:05-10:55	共用講義室 2	伊藤 正則
5	7/4	10:05-10:55	共用講義室 2	伊藤 正則
6	7/11	10:05-10:55	共用講義室 2	伊藤 正則
7	7/18	10:05-10:55	共用講義室 2	伊藤 正則
授業方法				
基本的には講義形式による。ただし、履修者の希望によってはセミナー形式等で行う。必要であれば、その場で、インターネットにより情報検索を行う。疑問点を抽出する能力を向上させるために、毎回、コメントシートに疑問点などを記述し、提出する。				
授業内容				
生物が刺激を受容してから反応が起こるまでの過程とその反応を制御するメカニズムを器官、組織、細胞、分子レベルで説明する。主に、最近の研究論文(生物の環境適応に関する論文)を教材として用いて、発想から目的の設定、目的を達成するための実験計画の立案、結果を整理する方法及び考察での論理展開を重視して説明する。				
成績評価の方法				
評価:試験 0%・レポート 80%・授業への参加度 20% 再評価:有				
成績評価の基準				
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表 2」による。				
準備学習などについての具体的な指示				
予習では予め配布した参考資料(主に英語で書かれた論文)を読んでおくこと。授業内容について疑問点があれば、コメントシートに書く。次回の授業において疑問点について説明する。復習では授業内容を参考にして、研究テーマを設定し、研究目的を達成するための実験計画を立案したレポートを提出する。				
試験の受験資格				
2/3 以上出席したものにレポートを提出することができる資格を与える。				
教科書				

資料を配布する。
参考書 Molecular biology of the cell／Bruce Alberts, Alexander Johnson, Julian Lewis, David Morgan, Martin Raff, Keith Roberts, Peter Walter,with problems by John Wilson, Tim Hunt,: Garland Science, Taylor and Francis Group, 2015 ヒューマンバイオロジー：人体と生命／シルビア・S.メイダー 著,坂井建雄, 岡田隆夫 監訳,坂井建雄, 橋本尚詞, 小林靖, 渡邊卓, 貞森直樹, 岡田隆夫, 中谷敬 訳,:医学書院, 2005 はじめの一步のイラスト生理学：はじめて学ぶ人のための目で見える教科書／照井直人 編,:羊土社, 2012
履修上の注意事項 出欠管理システムで出欠を記録する。
連絡先 伊藤 正則:itohmt.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 伊藤 正則:毎週月曜日 AM.10:00-PM.2:00 ヒポクラテスホール4階生物学教員研究室

時間割番号	000631			
科目名	主題別選択Ⅰ（民主主義を再考する）			
担当教員	藤井 達夫			
開講時期	前期	対象年次	2	
曜日・時間： 木曜 2 限				
対象学科： 医・歯学科				
募集人数： 25 人				
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)1-1)、1-2)、1-3)、1-4)、1-5)、1-7)、1-9)、2-4)、3-5)				
授業の目的、概要等				
私たちの誰もが民主主義は私たちの社会のあり方——医療制度を含め——を決定する重要な政治の理念であり、制度であると認めます。しかしながら、民主主義の内実をしっかりと理解している人はどれほどいるのでしょうか。また、民主主義にもとづいて行われている今の政治をどれほどの人が信頼し、満足しているのでしょうか。民主主義の理念と制度の基礎を押さえつつ、今年度は、平成の時代を振り返り、現在の日本の民主主義が機能不全に陥った原因について検討します。そしてポスト平成の時代の政治はどうあるべきかについて議論することで、これからの私たちの社会を立て直す道筋を履修生の皆さんと一緒に考えます。				
授業の到達目標				
(1)民主主義理論の基本的な理解を習得し、現代の社会が抱える問題について議論することができる。				
(2)人権、社会的公正さといった規範的な視点から現代社会のあるべき姿について検討し、議論することができる。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	6/6	10:05-10:55	共用セミナー室 11	藤井 達夫
2	6/13	10:05-10:55	共用セミナー室 11	藤井 達夫
3	6/20	10:05-10:55	共用セミナー室 11	藤井 達夫
4	6/27	10:05-10:55	共用セミナー室 11	藤井 達夫
5	7/4	10:05-10:55	共用セミナー室 11	藤井 達夫
6	7/11	10:05-10:55	共用セミナー室 11	藤井 達夫
7	7/18	10:05-10:55	共用セミナー室 11	藤井 達夫
授業方法				
講義形式と授業内での質疑応答。ただし、履修者の人数によっては、セミナー形式をとる場合もあります。				
授業内容				
第 1 回 今回の政治に満足か？				
第 2 回 民主主義の起源——古代アテナイの民主主義				
第 3 回 近代民主主義①——国民主権				
第 4 回 近代民主主義②——代表制度				
第 5 回 平成の民主主義の機能不全とその原因①——ポスト工業化社会、新自由主義、格差社会				
第 6 回 平成の民主主義の機能不全とその原因②——平成の政治改革と第二次安倍政権				
第 7 回 ポピュリズムに代わる選択肢——ポスト平成の時代の民主主義を構想する				
※以上の授業計画には、変更の可能性があります。				
成績評価の方法				
評価： レポート 80% ・ その他(授業での取り組み) 20%				
再評価： 有(再評価方法)レポート				
成績評価の基準				
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による				
準備学習などについての具体的な指示				
必要があれば、授業内で適宜、指示します。				
教科書				
藤井達夫『平成の正体』(イースト新書、2018 年)				
参考書				
ジョージ・オーウェル『一九八四年』(ハヤカワ epi 文庫、2009 年)				

齋藤純一『不平等を考える』(ちくま新書、2017 年)

水島治郎『ポピュリズムとは何か』(中公新書、2016 年)

S.レビツキー、D.ジブラット『民主主義の死に方』(新潮社、2018 年)

履修上の注意事項

出欠・遅刻の扱いについては、該当する規則に従います。ただし、教員自身が出欠を取る場合もあります。

時間割番号	000632			
科目名	主題別選択Ⅰ（英語で学ぶヒトの脳と言語）			
担当教員	時本 楠緒子			
開講時期	前期	対象年次	2	
曜日・時間： 木曜・2 限（10:05-10:55）				
対象学科： 医・歯学科				
募集人数： 25 人				
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):別表 1-1) 言語を通じた人間の創造的営みを理解する。 別表 1-7) 人間の心への理解を深める。 別表 2-3) 言語活動や社会現象を科学的に分析するための方法を知る。				
授業の目的、概要等				
地球上でヒトだけが言語を持ちます。この講義では、世界で使用されている代表的な神経科学の教科書を資料として、言語を可能にするヒトの脳構造を概観し、子どもの言語獲得と発達から臨界期仮説を学びます。また、様々な動物の音声コミュニケーションとヒト言語の比較研究から得られた、言語の生物学的起源についての知見を紹介します。講義は英語資料に基づき、日本語と英語で行います。				
授業の到達目標				
(1) 言語機能を担うヒトの脳構造について理解する。(2) 言語の生物学的起源に関する知見に触れる。(3) 言語の脳科学研究における研究手法を学ぶ。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	6/6	10:05-10:55	共用セミナー室 3	時本 楠緒子
2	6/13	10:05-10:55	共用セミナー室 3	時本 楠緒子
3	6/20	10:05-10:55	共用セミナー室 3	時本 楠緒子
4	6/27	10:05-10:55	共用セミナー室 3	時本 楠緒子
5	7/4	10:05-10:55	共用セミナー室 3	時本 楠緒子
6	7/11	10:05-10:55	共用セミナー室 3	時本 楠緒子
7	7/18	10:05-10:55	共用セミナー室 3	時本 楠緒子
授業方法				
初回は講義を行うが、以降は学生による論文紹介と討論を行う。				
授業内容				
6 月 13 日 Overview of the human brain 6 月 20 日 Language circuits in the brain 6 月 27 日 Critical period for language learning 7 月 4 日 Second-language and sign language 7 月 11 日 Animal behavior similar to language 7 月 18 日 Comparison between bird song and human language 7 月 25 日 Comparison between behavior of primates and human language				
成績評価の方法				
評価： 試験 0 % ・ レポート(英語) 60 % ・ その他(論文紹介) 40 %				
再評価： 有(レポート提出)				
成績評価の基準				
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による				
準備学習などについての具体的な指示				
教科書				

指定しない
参考書 Principles of Neural Science, Fifth Edition, Eric R. Kandel et al., 2013 McGraw-Hill. その他、講義中に随時紹介します。
履修上の注意事項 レポート提出の資格は、原則として授業回数の 2/3 以上の出席とします。出欠は、リアクションペーパーの提出により確認します。

時間割番号	000638			
科目名	主題別選択Ⅰ（Understanding Language and Society）			
担当教員	DAVID CANNEL			
開講時期	前期	対象年次	2	
授業の目的、概要等				
Language is more than just a tool to communicate ideas or a skill to learn, such as speaking a foreign language. Modern thinkers have shown that language is primarily responsible for the creation of the social realities and imaginative worlds we live in. In this course we will read and discuss the writings of such thinkers, which enlarge our conception of language and the role it plays in modern life.				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	6/6	10:05-10:55	医学科演習室 5－1, 医学科演習室 5－2	DAVID CANNEL
2	6/13	10:05-10:55	医学科演習室 5－1, 医学科演習室 5－2	DAVID CANNEL
3	6/20	10:05-10:55	医学科演習室 5－1, 医学科演習室 5－2	DAVID CANNEL
4	6/27	10:05-10:55	医学科演習室 5－1, 医学科演習室 5－2	DAVID CANNEL
5	7/4	10:05-10:55	医学科演習室 5－1, 医学科演習室 5－2	DAVID CANNEL
6	7/11	10:05-10:55	医学科演習室 5－1, 医学科演習室 5－2	DAVID CANNEL
7	7/18	10:05-10:55	医学科演習室 5－1, 医学科演習室 5－2	DAVID CANNEL
授業方法				
There is a strong expectation that each student will make every effort to contribute to class discussion. This is critical to the success of the whole course. Please come prepared to be a part of the conversation. *Each unexcused absence will affect the student's overall course grade.				
成績評価の方法				
評価：レポート 80％ ・ その他(授業での取り組み) 20％				
再評価：有(再評価方法)レポート				
成績評価の基準				
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による				
準備学習などについての具体的な指示				
必要があれば、授業内で適宜、指示します。				
教科書				
Most texts will be available as email attachments or handouts.				
備考				
クラス討論は英語				
教材は英語				
Notebook, A-5 size				

時間割番号	000912			
科目名	主題別選択Ⅰ（生命科学と医学）			
担当教員	石野 史敏			
開講時期	前期	対象年次	2	
・曜日・時間：木曜2限 ・対象学科：医学科・歯学科				
授業の目的、概要等 難治疾患研究所は、難治疾患をその学理と応用の研究により克服し、人々の健康と社会の福祉に貢献することを理念とします。本研究所では、がん・感染症・生活習慣病など様々な難治疾患を対象として、再生医療・核酸医薬など最新の技術を駆使して基礎医学研究に取り組んでいます。 本授業では、各回、異なる教員がそれぞれ専門の話題を提供し、最前線の研究に触れてもらうことを目的とします。医療現場を意識した基礎研究を紹介します。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	6/6	10:05-10:55		伊藤 暢聡
2	6/13	10:05-10:55		西村 栄美
3	6/20	10:05-10:55		鐙田 武志
4	6/27	10:05-10:55		村松 正明
5	7/4	10:05-10:55		三木 義男
6	7/11	10:05-10:55		仁科 博史
7	7/18	10:05-10:55		稲澤 譲治
授業方法				
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。				
準備学習などについての具体的な指示				

時間割番号	000913			
科目名	主題別選択Ⅱ（小説に見る日本語の変化と多様性(近代編)）			
担当教員	平井 裕香			
開講時期	前期	対象年次	3	
曜日・時間:木曜2限 対象学科:医学科・歯学科 受講資格:「言語と人間」、「時間と人間」の主題であること 募集人数:30人 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):1-1)言語を通じた人間の創造的営みを理解する、1-3)人間の歴史的営みを理解する、1-5)人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る				
授業の目的、概要等				
私たちの多くが日常的に使用している日本語は、通時的に不変でも、共時的に一定でもない。それは複雑な変化を経て現在のような形となり、現在においても重要な多様性を持っている。本授業では、日本語のそうした変化と多様性に、いくつかの小説を通して触れることを目的とする。多彩な言語現象のごく一部である「小説」が、日本語の変化と多様性にいかに関与してきたのかも、あわせて理解できるだろう。前半では比較的古い時代(これを仮に「近代」と呼ぼう)に焦点を当て、日本において「小説」というジャンルが新たに編成された事情を概観したうえで、書かれた時期を異にする三つの作品を取り上げる。自分が読んだ印象を、他人が読んだ印象や、教員が講義で提示する情報と突き合わせることで、表現と時代、言葉と主体、形式と内容の関係について、洞察を深めてもらいたい。				
授業の到達目標				
(1)日本語の通時的な変化と共時的な多様性を知る。 (2)「小説」というジャンルの特異性を理解する。 (3)自分の考えを口頭あるいは文章で他者に伝達する。 (4)表現と時代、言葉と主体、形式と内容の関係を考察する。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/4	10:05-10:55	共用セミナー室 7	平井 裕香
2	4/11	10:05-10:55	共用セミナー室 7	平井 裕香
3	4/18	10:05-10:55	共用セミナー室 7	平井 裕香
4	4/25	10:05-10:55	共用セミナー室 7	平井 裕香
5	5/9	10:05-10:55	共用セミナー室 7	平井 裕香
6	5/16	10:05-10:55	共用セミナー室 7	平井 裕香
7	5/23	10:05-10:55	共用セミナー室 7	平井 裕香
8	5/30	10:05-10:55	共用セミナー室 7	平井 裕香
授業方法				
各回の前半約3分の2を教員による講義に、後半約3分の1をクラス全体での討論かリアクションペーパーの執筆にあてる。				
授業内容				
1)イントロダクション 2)日本における近代「小説」ジャンルの編成 3)明治時代の小説1 4)明治時代の小説2 5)大正時代の小説1 6)大正時代の小説2 7)昭和時代の小説1 8)昭和時代の小説2 なお、各回の授業内容は、受講者の興味関心に即して変更する場合がある。				
成績評価の方法				
評価：試験 0% ・ レポート 60% ・ その他(授業への積極的参加(討論での発言、リアクションペーパーの執筆など)) 40%				
再評価：有(再評価方法:レポート)				

課題図書と各回の講義に対する応答を「授業への積極的参加」で、その総合と発展を「レポート」でそれぞれ評価する。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 8回で計3作、2週間ごとに1作の小説を読むことを求める。各自が読んでいることを前提に、講義および討論を行う。 なお、課題として読む3作は、多少なりとも医療にかかわる短編とするつもりである。現在とは離れた時代の、形式も異なる作品となるが、そのかわりをきっかけにして関心を持ってもらいたい。
試験の受験資格 8回中3回以上の欠席で、レポート提出の資格を失うことを原則とする。
教科書 なし。課題として読む3作については、コピーを配布する予定。
参考書 安藤宏『日本近代小説史』中央公論新社、2015 年 柄谷行人『定本 日本近代文学の起源』岩波現代文庫、2008 年 川口良、角田史幸『日本語は誰のものか』吉川弘文館、2005 年 小森陽一『〈ゆらぎ〉の日本文学』日本放送出版協会、1998 年 柳父章『近代日本語の思想—翻訳文体成立事情』法政大学出版局、2004 年
履修上の注意事項 出欠管理システムより、教員がとる出欠を優先させる。

時間割番号	000895			
科目名	主題別選択Ⅱ（戦争と科学）			
担当教員	田中 智彦			
開講時期	前期	対象年次	3	
◇ 曜日・時間:木曜 2 限				
◇ 対象学科:医学科・歯学科				
◇ 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)				
別表 1-3)人間の歴史的営みを理解する				
別表 1-5)人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る				
別表 1-10)現代社会における科学の責任を意識できるようになる				
授業の目的、概要等				
現代においては——とりわけ第一次世界大戦以降は——戦争と科学は切り離せなくなった。ペニシリンの開発史に示されるように、医学・医療も例外ではない。もちろん科学には多くの「光」の側面がある。だが同時に多くの「影」の側面もあるのであって、そのことに目を閉ざしてはならないはずだ。ではそうした「影」の側面はどこから生まれてくるのか。科学そのものからだろうか。研究者や技術者のふるまいからだろうか。そしてそうした問いに対する答えは、科学に、また研究者・技術者に、さらにどのような問いを投げかけることになるだろうか。この授業では戦争と科学の現代史をふまえながら、以上のような問いについて考えてゆくことにしたい。				
授業の到達目標				
(1)現代の科学研究・科学技術の問題点について理解を深めること。				
(2)研究者・技術者に求められる倫理の根拠と意味について理解を深めること。				
(3)科学研究・科学技術の未来について批判的に思考する基礎を築くこと。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/4	10:05-10:55	共用セミナー室 5	田中 智彦
2	4/11	10:05-10:55	共用セミナー室 5	田中 智彦
3	4/18	10:05-10:55	共用セミナー室 5	田中 智彦
4	4/25	10:05-10:55	共用セミナー室 5	田中 智彦
5	5/9	10:05-10:55	共用セミナー室 5	田中 智彦
6	5/16	10:05-10:55	共用セミナー室 5	田中 智彦
7	5/23	10:05-10:55	共用セミナー室 5	田中 智彦
8	5/30	10:05-10:55	共用セミナー室 5	田中 智彦
授業方法				
授業はセミナー形式で進める。教科書は用いず、必要な文献・資料等はコピーして配布する。授業ではそれらをもとにして解説や議論を行い、内容について理解を深めてゆく。				
授業内容				
(1)近代以降、戦争と科学はどのように結びつくことになったか。その特質、論理はどのようなものか。				
(2)二度の世界大戦において、その論理の下で研究者・技術者は何を考え、どのようにふるまったか。				
(3)こうしたことと現代の科学研究・科学技術との関係とは、またその問題とはどのようなものか。				
成績評価の方法				
◇評価:レポート 60%				
授業への参加度 40%(出席状況、議論への参加度など)				
◇再評価:有(レポート)				
成績評価の基準				
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表 2」による				
準備学習などについての具体的な指示				
受講者には授業の中で、文献や資料(ドキュメンタリー等も含む)から歴史を知り、「なぜ」を問い、考えることが求められる。解説や議論はそうした問いや思考を深めるためにある。それゆえ解説・議論への能動的な関与と、そこで学んだことの積極的な吸収・応用に努めてもらいたい。				
試験の受験資格				

◇ レポートの提出資格:原則として7回中5回以上の出席

教科書

教科書は用いない。必要な文献・資料等はコピーして配布する。

参考書

参考書等は授業の中で随時紹介する。

履修上の注意事項

出欠については、出欠管理システムの記録と、毎授業時に教員がとる出欠とを併用する。

時間割番号	000915			
科目名	主題別選択Ⅱ（ロシア・中央ユーラシアの文化と生活）			
担当教員	濱本 真実			
開講時期	前期	対象年次	3	
曜日・時間:木曜 2 限				
受講資格:「文化と人間」「言語と人間」選択者				
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):				
1－4) 異なる空間の文化を理解する				
3－4) 外国文化を理解する				
授業の目的、概要等				
本授業では、ロシアを含む中央ユーラシアに住む人々の生活を素材に、衣食住の文化や、多民族、多宗教が混在するコミュニティについて検討する。授業の前半で、ソ連のアニメや映画などの映像資料に基づいて、ロシアを含む中央ユーラシアの生活文化を紹介する。授業の後半では、受講者が自分の興味に基づいて現代のロシア・中央ユーラシアに関するテーマで発表を行い、その後発表内容について授業参加者全員で討論する。				
授業の到達目標				
中央ユーラシアの生活文化を学ぶことにより、日本の生活文化を相対化する思考力を身につけ、多文化共生社会について理解を深める。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/4	10:05-10:55	医学科演習室 5－3, 医学科演習室 5－4	濱本 真実
2	4/11	10:05-10:55	医学科演習室 5－3, 医学科演習室 5－4	濱本 真実
3	4/18	10:05-10:55	医学科演習室 5－3, 医学科演習室 5－4	濱本 真実
4	4/25	10:05-10:55	医学科演習室 5－3, 医学科演習室 5－4	濱本 真実
5	5/9	10:05-10:55	医学科演習室 5－3, 医学科演習室 5－4	濱本 真実
6	5/16	10:05-10:55	医学科演習室 5－3, 医学科演習室 5－4	濱本 真実
7	5/23	10:05-10:55	医学科演習室 5－3, 医学科演習室 5－4	濱本 真実
8	5/30	10:05-10:55	医学科演習室 5－3, 医学科演習室 5－4	濱本 真実
授業方法				
講義および演習形式				
授業内容				
1. ロシアのアニメ				
2. ロシア・中央ユーラシアの多民族社会と映画				
3. ロシア・中央ユーラシアの多民族社会と芸術				
4. 出席者による報告と討論				
5. 出席者による報告と討論				
6. 出席者による報告と討論				
7. 出席者による報告と討論				
8. 出席者による報告と討論				
成績評価の方法				
評価：試験 0%・レポート 70%・その他(授業への参加度) 30%				
再評価：有(レポート)				

成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示
試験の受験資格 レポートの提出資格:原則として8回中6回以上の出席
教科書 プリントを配布する。
参考書 下斗米伸夫編著『現代ロシアを知るための60章【第2版】』明石書店、2012年 宇山智彦、藤本透子編著『カザフスタンを知るための60章』明石書店、2015年 帯谷知可編著『ウズベキスタンを知るための60章』明石書店、2018年 廣瀬陽子編著『アゼルバイジャンを知るための67章』明石書店、2018年
履修上の注意事項 出欠については、出欠管理システムの記録と教員がとる出欠とを併用します。

時間割番号	000703			
科目名	主題別選択Ⅱ（スポーツと心）			
担当教員	水野 哲也			
開講時期	前期	対象年次	3	
曜日・時間:木曜 対象学科:医学科・歯学科 2年 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) 別表1－7)人間の心への理解を深める 別表1－8)自己の心と体を管理する能力を獲得する				
授業の目的、概要等 本授業では、競技を中心としたスポーツにおける心をテーマにいくつかの視点からこれまでに提示された理論を紹介し、スポーツにおける心の問題を考えます。また、授業の後半では受講者各自が考える「スポーツと心」について発表し、その中身について共に考えます。				
授業の到達目標 本授業の最終到達目標は、主題別選択授業のテーマでもある偏らない思考や物の見方をどのようにして身に付けてゆくか？を実践的に学ぶことである。よって、学生各自が本授業の題目である「スポーツと心」に関する独自のテーマを設定し、それぞれの私論を述べるとともに意見交換し、授業終了後にそれらを基に2000字程度のレポートをまとめることを具体的な到達目標とします。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/4	10:05-10:55	共用セミナー室 6	水野 哲也
2	4/11	10:05-10:55	共用セミナー室 6	水野 哲也
3	4/18	10:05-10:55	共用セミナー室 6	水野 哲也
4	4/25	10:05-10:55	共用セミナー室 6	水野 哲也
5	5/9	10:05-10:55	共用セミナー室 6	水野 哲也
6	5/16	10:05-10:55	共用セミナー室 6	水野 哲也
7	5/23	10:05-10:55	共用セミナー室 6	水野 哲也
8	5/30	10:05-10:55	共用セミナー室 6	水野 哲也
授業方法 授業は発表形式で実施しますが、その中で実習形式の内容がいくつかある。また後半は、その学習効果を上げるために学生による発表、討議型の授業を行います。				
授業内容 「スポーツと心の関係性」、「リラックスと集中」、「メンタルタフネス」、「動機づけ」、「ピークパフォーマンス」などを取り上げる予定ですが、受講者の発表を優先し、共に考え、意見交換することを重視します。				
成績評価の方法 評価:出席30%、各授業時の参加度20%、レポート50% 再評価: 有				
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による				
準備学習などについての具体的な指示 本授業では単に授業に出席して講義を聴くというだけでなく、主体的、能動的な取り組みによって、主題(自ら選択したテーマ)について考える積極的な態度や姿勢が求められます。よって、発表の内容をしっかりと準備してください。				
試験の受験資格 本授業は、原則全授業の2/3(全7回のうち5回)以上の出席を受験(評価対象)の資格とします。				
参考書 最新スポーツ心理学：その軌跡と展望／日本スポーツ心理学会 編.:大修館書店, 2004 実践メンタルタフネス／ジム・レーヤー 著,ジェフリー・ミグドゥ 著,小林 信也 訳.:TBSブリタニカ ピークパフォーマンス／チャールズ・A・ガーフィールドほか.:ベースボール・マガジン社, 1988				

他科目との関連

1年次のスポーツ・健康科学並びに保健体育学分野のS科目との有機的な連携を図ることでより効果が上がるように設計されています。

連絡先

水野 哲也:mizuno.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

水野 哲也:毎週金曜日 AM. 10:30 ~ 12:00 管理研究棟 2階 水野研究室

時間割番号	000704					
科目名	主題別選択Ⅱ（フランス文学を読む）					
担当教員	中島 ひかる					
開講時期	前期	対象年次	3			
・曜日・時間：木曜2限 ・対象学科：医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)： 別表1－1)言語を通じた人間の創造的営みを理解する 別表1－6)優れた芸術作品に触れて感性を高める 別表1－7)人間の心への理解を深める						
主な講義場所 湯島						
授業の目的、概要等 16 世紀から現代に至るまでのフランス文学から、幾つかの作品の抜粋を読んでいます。フランス語の原文と共に、日本語訳を配付して解説しますので、フランス語履修者でなくても、文学やフランス文化に興味があれば受講できます。文学には、普遍的な人間の感性が表現されていますが、また一方で、言語活動が現実の「再現」である以上、そこに「自然」のままの現実の表現はありません。語り、時間、空間等に関する、時代や文化によっても変わるさまざまな約束事の中で、言語表現は成立します。また、どの「現実」を切り取り、言語として表現するかも時代によって変化します。この授業では、文学作品を通して文化や時代の中での「言語表現」を意識していただきたいと考えています。						
授業の到達目標 1)フランス文学のニュアンス・表現を味わう。 2)文化・時代による感性の表現を自らの感性や表現と比較し、自らを相対化する。 3)文学作品の、時代や文化による表現の違いを意識する。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/4	10:05-10:55	共用セミナー室 2	イントロダクション スタンダール パルザック	心理分析 社会の描写 19 世紀と小説	中島 ひかる
2	4/11	10:05-10:55	共用セミナー室 2	パスカル モンテーニュ	モラリスト文学 文学と哲学	中島 ひかる
3	4/18	10:05-10:55	共用セミナー室 2	モリエール ラシーヌ	フランス古典劇	中島 ひかる
4	4/25	10:05-10:55	共用セミナー室 2	ラクロ	書簡体文学	中島 ひかる
5	5/9	10:05-10:55	共用セミナー室 2	ルソー	自伝文学	中島 ひかる
6	5/16	10:05-10:55	共用セミナー室 2	ブルースト	語り 時間	中島 ひかる
7	5/23	10:05-10:55	共用セミナー室 2	カミュ バルト	現代文学・批評	中島 ひかる
8	5/30	10:05-10:55	共用セミナー室 2	まとめ	意見交換	中島 ひかる
授業方法 講義と意見交換による。 毎回、幾つかの文学作品の抜粋を講読します。あらかじめ、作品に目を通して頂いた後、教員が作品の内容や言葉のニュアンス、時代背景等を解説します。それを聞いた後、各自の感想を述べて頂き受講者の間で意見交換を行います。						
授業内容 8 回の授業ですので、フランス文学を網羅的に扱うことはできませんが、フランス文学の概要がわかるように代表的な文学作品とりあげます。以下の予定は受講者の興味により変更することもあります。 1)スタンダール、パルザック(19 世紀の社会と小説) 2)パスカル、モンテーニュ(モラリスト文学) 3)モリエール、ラシーヌ(フランス古典劇) 4)ラクロ(書簡体文学) 5)ルソー(自伝文学)						

6) プルースト(時間の表現)
7) カミュ(現代文学)
8) バルト(現代批評)
成績評価の方法 評価: 試験(期末考査)0%・レポート80%・ その他 20%(授業への参加度) 再評価: 有 (再評価方法 主題別教育運営委員会の指示にしたがってください) フランス文学の中から作品を選び、授業で扱った内容を参考にしながら、自分なりに分析して頂くことで成績を評価します。 授業中に発言を求めますので、それについても 20%まで評価します。フランス文学への教養も大事ですが、知識の蓄積を 目的とする授業ではありませんので、解説記事を写すのではなく、選んだ作品に対して、何を感じ、なぜ自分がそう感じたの かを分析したレポートを高く評価します。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 初回の導入以外は、毎回、次回に扱う教材をあらかじめ配付するので、事前に目を通して、自分なりの解釈や感想をまとめ ておくこと。
試験の受験資格 2/3 以上出席したものに、レポート提出の資格を与える。
教科書 プリントを配付する
参考書 危険な関係／ラクロ 失われた時を求めて／プルースト 異邦人／カミュ 赤と黒／スタンダール 告白／ルソー パンセ／パスカル ペルシャ人の手紙／モンテスキュー エセー／モンテーニュ ゴリオ爺さん／バルザック 嫉妬／アラン・ロブ＝グリエ
履修上の注意事項 出欠管理システムの端末がない部屋がほとんどと思われるので、教員が出欠をとります。
連絡先 中島 ひかる:nakashima.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 中島 ひかる:毎週月・水曜 12:30～13:00 教養部管理研究棟 3 階フランス語研究室

時間割番号	000705																																		
科目名	主題別選択Ⅱ（ドイツとヨーロッパの社会）																																		
担当教員	SCHINZINGER EMI																																		
開講時期	前期	対象年次	3																																
前期前半 ・曜日・時間: 木曜 2 限 ・対象学科: 医学科・歯学科 3 年生 ・受講資格: ドイツ語 a,b,c,d,4 単位を持っていること ・募集人数: 2 年生とあわせて 20 人 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表1－1) 言語を通じた人間の創造的営みを理解する 別表1－2) 社会制度や仕組みについての基本を理解する 別表1－3) 人間の歴史的営みを理解する 別表1－4) 異なる空間の文化を理解する 別表3－4) 外国文化を理解する 別表3－5) 国際情勢を理解する																																			
主な講義場所 湯島キャンパス 3号棟4階演習室4－11, 12																																			
授業の目的、概要等 ドイツ語で書かれた教科書を読みながら、ドイツとヨーロッパの社会について学んでいきます。原文を読む授業ですので、ドイツ語の 4 単位を持っていない方は受講できません！ ドイツ政府や EU のホームページも見えていきます。時間があれば、DVD も見ます。毎回予習してきてもらって、ドイツ語を訳していきますので、予習をすることが受講の条件です。																																			
授業の到達目標 ドイツの地理と社会について教科書で読んでから、ドイツ政府と EU についても学び、 「ドイツ再統一」に至った経緯について学ぶことが目標です。																																			
授業計画 <table><tr><td>回</td><td>日付</td><td>時刻</td><td>講義室</td><td>授業題目</td><td>授業内容</td><td>担当教員</td><td>備考</td></tr><tr><td>1</td><td>4/4</td><td>10:05-10:55</td><td>医学科演習室 4－11, 医学科演習室 4－12</td><td>ドイツとヨーロッパの社会1</td><td>オリエンテーション:ドイツとヨーロッパについてのクイズをやってから、教科書第 1 課を読んで訳していきます。</td><td>SCHINZINGER EMI</td><td>生協で教科書を購入しておくこと:「ドイツとドイツ語を話す国々」朝日出版;次回に向けて:教科書第 2 課を予習しておく。</td></tr><tr><td>2</td><td>4/11</td><td>10:05-10:55</td><td>医学科演習室 4－11, 医学科演習室 4－12</td><td>ドイツとヨーロッパの社会2</td><td>教科書第 2 課を読んで訳していく。ドイツ政府のホームページを見て、原文を読んで訳していく。</td><td>SCHINZINGER EMI</td><td>次回に向けて:教科書第 3 課を予習しておく。</td></tr><tr><td>3</td><td>4/18</td><td>10:05-10:55</td><td>医学科演習室 4－11, 医学科演習室</td><td>ドイツとヨーロッパの社会3</td><td>教科書第3課を読んで訳していく。EUのホームページを見て、原文を読んで訳していく。</td><td>SCHINZINGER EMI</td><td>ドイツ政府とEUのホームページのプリントアウト</td></tr></table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考	1	4/4	10:05-10:55	医学科演習室 4－11, 医学科演習室 4－12	ドイツとヨーロッパの社会1	オリエンテーション:ドイツとヨーロッパについてのクイズをやってから、教科書第 1 課を読んで訳していきます。	SCHINZINGER EMI	生協で教科書を購入しておくこと:「ドイツとドイツ語を話す国々」朝日出版;次回に向けて:教科書第 2 課を予習しておく。	2	4/11	10:05-10:55	医学科演習室 4－11, 医学科演習室 4－12	ドイツとヨーロッパの社会2	教科書第 2 課を読んで訳していく。ドイツ政府のホームページを見て、原文を読んで訳していく。	SCHINZINGER EMI	次回に向けて:教科書第 3 課を予習しておく。	3	4/18	10:05-10:55	医学科演習室 4－11, 医学科演習室	ドイツとヨーロッパの社会3	教科書第3課を読んで訳していく。EUのホームページを見て、原文を読んで訳していく。	SCHINZINGER EMI	ドイツ政府とEUのホームページのプリントアウト
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考																												
1	4/4	10:05-10:55	医学科演習室 4－11, 医学科演習室 4－12	ドイツとヨーロッパの社会1	オリエンテーション:ドイツとヨーロッパについてのクイズをやってから、教科書第 1 課を読んで訳していきます。	SCHINZINGER EMI	生協で教科書を購入しておくこと:「ドイツとドイツ語を話す国々」朝日出版;次回に向けて:教科書第 2 課を予習しておく。																												
2	4/11	10:05-10:55	医学科演習室 4－11, 医学科演習室 4－12	ドイツとヨーロッパの社会2	教科書第 2 課を読んで訳していく。ドイツ政府のホームページを見て、原文を読んで訳していく。	SCHINZINGER EMI	次回に向けて:教科書第 3 課を予習しておく。																												
3	4/18	10:05-10:55	医学科演習室 4－11, 医学科演習室	ドイツとヨーロッパの社会3	教科書第3課を読んで訳していく。EUのホームページを見て、原文を読んで訳していく。	SCHINZINGER EMI	ドイツ政府とEUのホームページのプリントアウト																												

			4-12				を予習しておく。
4	4/25	10:05-10:55	医学科演習室 4-11, 医学科演習室 4-12	ドイツとヨーロッパの社会4	ドイツ政府とEUのホームページの続きを読んで訳していく。教科書第4課を読み始める。	SCHINZIN GER EMI	次回に向けて: 教科書第4課の前半(9~10ページ)を予習しておく。
5	5/9	10:05-10:55	医学科演習室 4-11, 医学科演習室 4-12	ドイツとヨーロッパの社会5	教科書第4課の前半を読んで訳していく。ドイツ再統一がどのように始まったのかについてのドキュメンタリーのDVDも見始める。	SCHINZIN GER EMI	次回に向けて: 教科書第4課の続き(10~11ページ?)を予習しておく。
6	5/16	10:05-10:55	医学科演習室 4-11, 医学科演習室 4-12	ドイツとヨーロッパの社会6	教科書第4課の続きを読んで訳していく。ドキュメンタリーのDVDの続きも見っていく。	SCHINZIN GER EMI	次回に向けて: 教科書第4課を最後まで(12~13ページ)予習しておく。
7	5/23	10:05-10:55	医学科演習室 4-11, 医学科演習室 4-12	ドイツとヨーロッパの社会7	教科書第4課を最後まで読んで訳していく。ドキュメンタリーのDVDの続きも見られるところまで見る。	SCHINZIN GER EMI	試験準備: 初回の「ドイツクイズ」を見直しておく。教科書とプリントで読んだところを復習しておく。ドイツ再統一に至る経緯についても考えておく。
8	5/30	10:05-10:55	医学科演習室 4-11, 医学科演習室 4-12	ドイツとヨーロッパの社会8	試験	SCHINZIN GER EMI	遅刻・欠席をしないこと。

授業方法

セミナー形式: 毎回教科書を読んで訳してから、ドイツ政府や EU のホームページの内容を読みます。時間があればドキュメンタリー映像も見ます。

授業内容

初回: オリエンテーション、第1課 (1ページ)

第2回~第3回: 第2課と第3課 (3ページと6ページ)

第4回~第6回: 第4課(9~13ページ)を読みながら、ドイツ再統一に至った経緯を考えます。インターネット、DVD も使用する予定。

第7回: 理解の度合いを調べるため、試験を行います。

成績評価の方法

毎回予習をしてきて積極的に授業に参加することによる平常点が 50 パーセント。

試験が 50 パーセント。

再評価: 無

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表 2」による

準備学習などについての具体的な指示

・授業中に沢山原文、ドイツ語を読みますので、1 年で学んだドイツ語の内容を授業が始まる前に復習しておいてください。1 年生の時に使った文法と会話の教科書を復習しておくといいです。他の参考書や、ラジオやテレビのドイツ語講座も活用するとよいです。

・授業時間が短いため、必ず毎回自宅で辞書を使い、指定された範囲を予習してきてください。
試験の受験資格 原則 3 分の 2 以上出席
教科書 ドイツとドイツ語を話す国ぐに／Heinz Griesbach [著],松本嘉久 編,Griesbach, Heinz,:朝日出版社, 1994 教科書が絶版の場合には、初回にコピーを渡します。 教科書のほかに独自のプリントなど様々な教材を使用します。 それらは授業中に配布されますので注意してください。
参考書 新現代独和辞典／ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編,Schinzinger, Robert, 1898-1988,山本, 明, 1928-,南原, 実, 1930-2013,:三修社, 2008 アポロン独和辞典／根本道也, 恒吉良隆, 吉中幸平, 成田克史, 福元圭太, 重竹芳江 責任編集執筆,有村隆広, 新保弼彬, 本田義昭, 鈴木敦典 編集執筆,根本, 道也, 1934-,恒吉, 良隆, 1938-,吉中, 幸平,有村, 隆広, 1936-,新保, 弼彬,本田, 義昭,:同学社, 2010 代表的な独和辞典を挙げておきましたが、授業時間が短いので、授業中は電子辞書の方が早く使えるので便利です。もしできるのであれば電子辞書を用意してください。これからもドイツ語を使うのであれば、カシオ Ex-word XD-U7100 がおすすめです。
履修上の注意事項 毎回出欠を取ります。 毎回教科書と電子辞書か独和辞典を持ってきてください。 毎回決められた範囲を予習してきてください。
連絡先 SCHINZINGER EMI:schinzinger.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー SCHINZINGER EMI:毎週月曜日 16:30 - 18:00 管理研究棟 3 階研究室

時間割番号	000810			
科目名	主題別選択Ⅱ（学習・記憶と言語）			
担当教員	岩下 洸			
開講時期	前期	対象年次	3	
曜日・時間:木曜 2 限				
対象学科:医学科・歯学科				
募集人数:20 人				
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):				
別表1－1)言語を通じた人間の創造的営みを理解する				
別表1－5)人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る				
別表2－3)言語活動や社会現象を科学的に分析するための方法論を知る				
授業の目的、概要等				
ヒトを含め、動物は過去の経験を記憶し、学習することで行動を変化させ、環境の変化に適応しながら生存している。そのため、「学習・記憶」は動物にとって重要な能力である。そして、動物は言語、少なくとも「ヒトのような言語」は持たないが、ヒトは主に言語を用いて考え、コミュニケーションをとり、生活している。したがって、言語を用いた情報処理こそがヒトのヒトたる所以である、重要な能力といっても過言ではないであろう。				
この授業では、これら「学習・記憶」や「言語」の処理といった脳の高次機能について、生物学的な視点から講義を行い、理解を深めることを目的とする。				
授業の到達目標				
学習・記憶と言語の観点から脳の機能への理解を深める。また、当該分野における研究手法を学ぶ。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/4	10:05-10:55	共用セミナー室 12	岩下 洸
2	4/11	10:05-10:55	共用セミナー室 12	岩下 洸
3	4/18	10:05-10:55	共用セミナー室 12	岩下 洸
4	4/25	10:05-10:55	共用セミナー室 12	岩下 洸
5	5/9	10:05-10:55	共用セミナー室 12	岩下 洸
6	5/16	10:05-10:55	共用セミナー室 12	岩下 洸
7	5/23	10:05-10:55	共用セミナー室 12	岩下 洸
8	5/30	10:05-10:55	共用セミナー室 12	岩下 洸
授業方法				
講義形式と授業内での質疑応答				
授業内容				
第 1 回-第 4 回 学習と記憶				
第 5 回-第 7 回 言語とコミュニケーション				
成績評価の方法				
評価：その他(各講義での小テスト・授業への参加度) 100%				
再評価: 有				
成績評価の基準				
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による				
準備学習などについての具体的な指示				
予習は特に必要ありません。毎回、前回と当日の講義内容について小テストを行うとともに、質問やコメントを書いています。				
教科書				
指定なし				
プリントを配布する。				
参考書				
カールソン神経科学テキスト 脳と行動/ NEIL R.CARLSON 著, 泰羅 雅登 監訳, 中村 克樹 監訳, 丸善出版, 2013				

履修上の注意事項				
毎回の講義における小テスト等を出欠確認に用います。また、3 分の 2 以上の出席を前提とし、評価の対象とする。				
時間割番号	000899			
科目名	主題別選択Ⅱ（情報機械と人間）			
担当教員	中口 悦史			
開講時期	前期	対象年次	3	
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 1-1), 1-10), 2-1), 2-3), 4-4)				
授業の目的、概要等				
情報化社会とよばれる現代、すでに人工知能を搭載したロボットが会社やホテルの受付で柔軟な来客対応を魅せる時代となり、人々は否が応でも情報機械との共生を迫られている。では現代の人々は、いかにして情報機械に順応しているのか。そもそも人間と機械とのコミュニケーションは成立しているのか。情報通信や情報機械について人文社会科学や工学などさまざまな観点から考察する。				
授業の到達目標				
情報と情報機械に対して自分なりの視点や立場を持ち、それを他人に説明し、互いに議論・討論することができる。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/4	10:05-10:55	医学科講義室 1	中口 悦史
2	4/11	10:05-10:55	医学科講義室 1	中口 悦史
3	4/18	10:05-10:55	医学科講義室 1	中口 悦史
4	4/25	10:05-10:55	医学科講義室 1	中口 悦史
5	5/9	10:05-10:55	医学科講義室 1	中口 悦史
6	5/16	10:05-10:55	医学科講義室 1	中口 悦史
7	5/23	10:05-10:55	医学科講義室 1	中口 悦史
8	5/30	10:05-10:55	医学科講義室 1	中口 悦史
授業方法				
講義と議論・討論を交えながら授業を進める。				
授業内容				
配付資料を基に、情報と情報機械の理論的基礎を学習しながら、互いに議論・討論を重ね、各自の視点で考察を加える。				
授業計画				
(1) 情報という概念、情報の定義				
(2) 情報と感知・認知・心理・行動				
(3) シヤノンとソシュールのモデル				
(4) 現代の情報通信システムの構造				
(5) 現代のコンピュータ・情報機械の仕組み				
(6) 情報機械と人間の対話は成立するか				
(7) 情報機械は人間に置き換われるか				
(8) まとめ、情報とは何か				
成績評価の方法				
評価：試験 0%・レポート 80%・その他(授業への参加度) 20%				
再評価：有				
レポートと授業への参加度を総合して成績評価を行う。授業への参加度は、質疑応答や議論・討論への参加の積極性、演習への取り組み具合などにより測る。期末にレポートを課し、この授業の内容に即したテーマに沿って、学生個々の考えを問う。				
「試験の受験資格」を満たし、かつレポートを提出したもののみを、評価の対象とする。				
成績評価の基準				
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則別表 2」による				
準備学習などについての具体的な指示				

毎回の授業計画にあるトピックについて、疑問点などを事前にまとめて、授業に臨むこと。
試験の受験資格 授業回数の3分の2回以上の出席。
教科書 教科書は特に指定しない。資料は適宜配付する。
参考書 情報理論／甘利俊一 著,甘利, 俊一, 1936-,筑摩書房, 2011 通信の数学的理論／クロード・E.シャノン, ワレン・ウィーバー 著,植松友彦 訳,Shannon, Claude E, 1916-2001,Weaver, Warren, 1894-1978,植松, 友彦,筑摩書房, 2009 ソシユールと言語学：コトバはなぜ通じるのか／町田健 著,町田, 健, 1957-,講談社, 2004 情報と自己組織性の理論（オンデマンド版）／吉田民人：東京大学出版会, 2012 生命と機械をつなぐ知：基礎情報学入門／西垣通 著,西垣, 通, 1948-,高陵社書店, 2012 人間機械論：人間の人間的な利用／ノーバート・ウィーナー [著],鎮目恭夫, 池原止戈夫 訳,Wiener, Norbert, 1894-1964, 鎮目, 恭夫, 1925-2011,池原, 止戈夫, 1904-1984,みすず書房, 2014 ノイマン・ゲーデル・チューリング／高橋昌一郎 著,高橋, 昌一郎, 1959-,筑摩書房, 2014 心と認知の情報学：ロボットをつくる・人間を知る／石川幹人 著,石川, 幹人, 1959-,勁草書房, 2006 人工知能は人間を超えるか：ディープラーニングの先にあるもの／松尾豊 [著],松尾, 豊, 1975-,KADOKAWA, 2015 AIに心は宿るのか／松原仁 著,松原, 仁, 1959-,集英社インターナショナル, 2018
履修上の注意事項 出欠確認は出欠管理システムと、授業中の点呼を併用する。

時間割番号	000736					
科目名	主題別選択Ⅱ（医歯系のための物理）					
担当教員	檜枝 光憲					
開講時期	前期	対象年次	3			
曜日・時間:木曜2限 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):別表2－1)別表2－2)別表2－4) 別表4－2)						
授業の目的、概要等 医療は物理学と大いに関係しています。例えば、人体の動きや歯の矯正治療は力学が関係しており、医療でお馴染みの X 線、MRI、レーザーなど現代医療技術は物理学者によって発見されました。本授業は講義形式で進め、医歯学に関係した物理について理解を深めていきます。						
授業の到達目標 医歯学に関係した物理を習得する。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/4	10:05-10:55	医学科講義室 2	第1回	力学	檜枝 光憲
2	4/11	10:05-10:55	医学科講義室 2	第2回	流体	檜枝 光憲
3	4/18	10:05-10:55	医学科講義室 2	第3回	熱	檜枝 光憲
4	4/25	10:05-10:55	医学科講義室 2	第4回	音	檜枝 光憲
5	5/9	10:05-10:55	医学科講義室 2	第5回	光	檜枝 光憲
6	5/16	10:05-10:55	医学科講義室 2	第6回	磁気	檜枝 光憲
7	5/23	10:05-10:55	医学科講義室 2	第7回	放射線	檜枝 光憲
8	5/30	10:05-10:55	医学科講義室 2	第8回	まとめ	檜枝 光憲
授業方法 講義と演習						
授業内容 1. 医歯系のための物理 1:力学 2. 医歯系のための物理 2:流体 3. 医歯系のための物理 3:熱 4. 医歯系のための物理 4:音 5. 医歯系のための物理 5:光 6. 医歯系のための物理 6:磁気 7. 医歯系のための物理 7:放射線 8. まとめ						
成績評価の方法 授業の到達目標の達成度を主に授業毎に提出してもらう演習内容(小レポート)によって評価する。 評価：レポート 80 % その他(授業の参加度) 20% 再評価: 無						
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による						
準備学習などについての具体的な指示 予習として関連の参考書や他の関連図書を探して読むこと。						
参考書 生物学と医学のための物理学／Paul Davidovits 著,曾我部正博 監訳,吉村建二郎 編集協力,:共立出版, 2015 物理学入門から医用物理へ：超音波、磁気共鳴、X 線理解のために／本間康浩 著,:ブイツーソリューション, 2013 医療系のための物理／佐藤幸一, 藤城敏幸 著,:東京教学社, 2013						
履修上の注意事項						

原則 2/3 以上の出席が必要。 出欠管理システムより、教員自身が取る出欠を優先させる。

連絡先

檜枝 光憲:hieda.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

檜枝 光憲:毎週金曜日 16:30～17:30 ヒボ 4F 教員研究室 3

時間割番号	000709					
科目名	主題別選択Ⅱ（物理数学演習）					
担当教員	越野 和樹					
開講時期	前期	対象年次	3			
・曜日・時間: 時間割を参照のこと ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) 別表2－1) 別表4－2)						
授業の目的、概要等						
私たちはみな、毎日の暮らしの中で物理法則に従って生きています。例えば、自動車の停止距離はスピードの2乗に比例しますが、このことは物理理論によって明快に説明することができます。物理法則は数学(特に微分方程式)を用いて記述されています。本講義では、微分方程式などの物理数学を演習形式で学習します。						
授業の到達目標						
問題演習をとおして、数理科学的能力を高めること						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/4	10:05-10:55	共用セミナー室 4	第 1 回	物理数学演習	越野 和樹
2	4/11	10:05-10:55	共用セミナー室 4	第 2 回	物理数学演習	越野 和樹
3	4/18	10:05-10:55	共用セミナー室 4	第 3 回	力学演習	越野 和樹
4	4/25	10:05-10:55	共用セミナー室 4	第 4 回	力学演習	越野 和樹
5	5/9	10:05-10:55	共用セミナー室 4	第 5 回	力学演習	越野 和樹
6	5/16	10:05-10:55	共用セミナー室 4	第 6 回	電磁気学演習	越野 和樹
7	5/23	10:05-10:55	共用セミナー室 4	第 7 回	電磁気学演習	越野 和樹
8	5/30	10:05-10:55	共用セミナー室 4	第 8 回	電磁気学演習	越野 和樹
授業方法						
講義およびアクティブラーニング(演習や討論など)による						
授業内容						
・物理数学演習 ・電磁気学演習 ・力学演習						
成績評価の方法						
評価: 試験(期末考査)0%・レポート0%・その他(各講義での提出課題)100%						
成績評価の基準						
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による						
準備学習などについての具体的な指示						
特別な準備は必要ないが、講義前半の基礎知識確認に集中すること。						
参考書						
「詳解物理応用数学演習」 後藤憲一ほか 共立出版						
履修上の注意事項						
数学・物理学の双方に十分な能力を有することを前提としている。						
連絡先						
越野 和樹: ikuzak.las@tmd.ac.jp						
オフィスアワー						
越野 和樹: 毎週月曜日 12:00—13:00 ヒポクラテス 4 階						

時間割番号	000706																																															
科目名	主題別選択Ⅱ（科学と疑似科学の境界）																																															
担当教員	奈良 雅之																																															
開講時期	前期	対象年次	3																																													
・曜日・時間：木曜2限 ・対象学科：医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）： 1-2)社会制度や仕組みについて基本を理解する 1-10) 現代社会における科学の責任を意識できるようになる 4-2) 生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける																																																
授業の目的、概要等 巷には「プラズマクラスターイオン」、「パワーストーン」、「活性水素水」「ホメオパシー」など科学的な根拠がないもの、曖昧なもので溢れています。大学生の科学的な知識があれば、このようなニセ科学（疑似科学）に属するものには絶対だまされるはずはないと過信しがちですが、科学とニセ科学の間に明確な境界線があるわけではなく、白黒がはっきりつかないことがしばしばです。この授業では、社会問題としてインパクトの強かった疑似科学のトピックをいくつか選び、科学と疑似科学のグレーゾーンについて理解を深めます。受講者にはできるだけ授業に参加できるように、発言、発表する機会を設けたいと思います。																																																
授業の到達目標 授業の関係したテーマを見つけて、そのテーマの基づいて理解を深める																																																
授業計画 <table><tr><td>回</td><td>日付</td><td>時刻</td><td>講義室</td><td>担当教員</td></tr><tr><td>1</td><td>4/4</td><td>10:05-10:55</td><td>共用セミナー室 3</td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>2</td><td>4/11</td><td>10:05-10:55</td><td>共用セミナー室 3</td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>3</td><td>4/18</td><td>10:05-10:55</td><td>共用セミナー室 3</td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>4</td><td>4/25</td><td>10:05-10:55</td><td>共用セミナー室 3</td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>5</td><td>5/9</td><td>10:05-10:55</td><td>共用セミナー室 3</td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>6</td><td>5/16</td><td>10:05-10:55</td><td>共用セミナー室 3</td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>7</td><td>5/23</td><td>10:05-10:55</td><td>共用セミナー室 3</td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>8</td><td>5/30</td><td>10:05-10:55</td><td>共用セミナー室 3</td><td>奈良 雅之</td></tr></table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	4/4	10:05-10:55	共用セミナー室 3	奈良 雅之	2	4/11	10:05-10:55	共用セミナー室 3	奈良 雅之	3	4/18	10:05-10:55	共用セミナー室 3	奈良 雅之	4	4/25	10:05-10:55	共用セミナー室 3	奈良 雅之	5	5/9	10:05-10:55	共用セミナー室 3	奈良 雅之	6	5/16	10:05-10:55	共用セミナー室 3	奈良 雅之	7	5/23	10:05-10:55	共用セミナー室 3	奈良 雅之	8	5/30	10:05-10:55	共用セミナー室 3	奈良 雅之
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																												
1	4/4	10:05-10:55	共用セミナー室 3	奈良 雅之																																												
2	4/11	10:05-10:55	共用セミナー室 3	奈良 雅之																																												
3	4/18	10:05-10:55	共用セミナー室 3	奈良 雅之																																												
4	4/25	10:05-10:55	共用セミナー室 3	奈良 雅之																																												
5	5/9	10:05-10:55	共用セミナー室 3	奈良 雅之																																												
6	5/16	10:05-10:55	共用セミナー室 3	奈良 雅之																																												
7	5/23	10:05-10:55	共用セミナー室 3	奈良 雅之																																												
8	5/30	10:05-10:55	共用セミナー室 3	奈良 雅之																																												
授業方法 講義形式を予定していますが、履修人数が少ない場合は、希望に応じて、セミナー形式に変更することができます。履修人数が多い場合にも、文献や指定課題について事前に調べてディスカッションするなど、アクティブラーニングを取り入れます。特に3年生の皆さんには積極的に参加して頂き、2年生を引っ張ってほしいと思います。																																																
授業内容 社会問題としてインパクトの強かった疑似科学のトピックをいくつか選び、科学と疑似科学のグレーゾーンについて理解を深めます。科学的な側面から基礎事項を確認するとともに、文化、制度の面からも考えていきます。																																																
成績評価の方法 評価：試験0%・レポート80% その他20%（授業への参加度・授業中の回答状況） 再評価：有 授業で習得したことをレポートにまとめることを重視します。																																																
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による																																																
準備学習などについての具体的な指示 予習：配付資料、関連資料に目を通してください。 復習：興味のある項目について、文献を調べてください。																																																
試験の受験資格 ・定期試験・再試験の受験資格：原則3分の2以上出席 （レポートでもって、定期試験・再試験の代替とする。）																																																

教科書 なぜ疑似科学が社会を動かすか／石川幹人：PHP 新書，2016
参考書 嘘と絶望の生命科学／榎木英介 著，：文藝春秋，2014 メディア・バイアス あやしい健康情報とニセ科学／松永和紀 著，：名古屋市鶴舞中央図書館点字文庫，2010 科学と人間の不協和音／池内了 [著]，：角川書店，2012 活性酸素／高柳 輝夫 編，大坂 武男 編，大坂 武男 [ほか] 共著，日本化学会 監修，：丸善 博士漂流時代：「余った博士」はどうなるか？／榎木英介 [著]，：ディスカヴァー・トゥエンティワン，2010 水素水とサビない身体／太田成男 著，：小学館，2013 疑似科学入門／池内 了 著，：岩波書店，2008
連絡先 nara.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週水曜日 PM.0:00-PM.2:00，毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4 階

時間割番号	000711				
科目名	主題別選択Ⅱ（食品の科学）				
担当教員	澤野 頼子				
開講時期	前期	対象年次	3		
曜日・時間:木曜日・2 時限 対象学科:医学科・歯学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表1－3)人間の歴史的営みを理解する 別表2－1)自然現象を科学的に探究するための方法論を知る。					
授業の目的、概要等 食品は私たちの健康や生命を維持するために欠かすことのできない大切なものである。人間にとって食品とは、身体の形成やエネルギー供給源として働く「栄養素」を与えるだけのものではない。「おいしさ」や「安全性」を兼ね備え、健康の維持や疾病の予防に有効な「機能性(生体調節機能)」をもたらすものでもある。そして、「食生活」、「食文化」という言葉が表すように、食は人類の進化の歴史の中で、生活環境や文化と密接に関連し、変遷を遂げてきた。本授業では、食の歴史的背景、食品成分の化学的性質を学び、食品の様々な側面についての理解を深めることを目的とする。					
授業の到達目標 食品を文化的、歴史的、および科学的側面からとらえ、自分の考えをレポートにまとめる。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	4/4	10:05-10:55	共用講義室 2	イントロダクション、食の歴史(1)	澤野 頼子
2	4/11	10:05-10:55	共用講義室 2	食の歴史(2)	澤野 頼子
3	4/18	10:05-10:55	共用講義室 2	食の歴史(3)	澤野 頼子
4	4/25	10:05-10:55	共用講義室 2	食品成分の化学的性質(1)	澤野 頼子
5	5/9	10:05-10:55	共用講義室 2	食品成分の化学的性質(2)	澤野 頼子
6	5/16	10:05-10:55	共用講義室 2	食品成分の化学的性質(3)	澤野 頼子
7	5/23	10:05-10:55	共用講義室 2	食品成分の化学的性質(4)	澤野 頼子
8	5/30	10:05-10:55	共用講義室 2	まとめ、課題発表など	澤野 頼子
授業方法 主に講義形式で行うが、適宜、アクティブラーニング(討論、課題発表など)を取り入れる。					
授業内容 食の歴史的背景および食品成分の化学的性質について学ぶ。					
成績評価の方法 評価：試験 0%・レポート 80%・その他(授業への参加度) 20% 再評価：有					
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による					
準備学習などについての具体的な指示 講義資料(WebClass に掲載)に目を通しておく。 授業で扱った事項について、参考書やインターネット等により知識の拡充・整理を行い、自分なりの考えをまとめる。					
試験の受験資格 定期試験・再試験の受験資格:原則3分の2以上出席 (レポートでもって、定期試験・再試験の代替とする。)					
参考書 食品の科学／上野川修一、田之倉優 編,:東京化学同人, 2005 食品学：食品成分と機能性／久保田紀久枝、森光康次郎 編,久保田、紀久枝, 1948-,森光、康次郎, 1963-,:東京化学同人, 2016 ニューフードサイエンス／鮫島邦彦、高橋史生 編著,鮫島、邦彦, 1938-,高橋、史生,:三共出版, 2005 健康と食生活／吉田勉 編著,吉田、勉, 1927-,:学文社, 2016					

連絡先

澤野 頼子:sawano.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

澤野 頼子:毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4 階

時間割番号	000712					
科目名	主題別選択Ⅱ（生物の中の糖）					
担当教員	勝又 敏行					
開講時期	前期	対象年次	3			
曜日・時間:木曜日 2限						
対象学科:医学科、歯学科						
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):						
別表1－10)現代社会における科学の責任を意識できるようになる						
別表2－1)自然現象を科学的に探求するための方法論を知る						
授業の目的、概要等						
糖は生物の中で構造体、エネルギー源をはじめとして、タンパク質、核酸、脂質などと結合して重要な機能を担っている物質である。糖の化学的性質および生体内での機能を、疾病との関連等最新の知見を交えながら講義形式で紹介していく。最後に自分の興味を持った事柄について調べ、プレゼンテーションを行ってもらう。						
授業の到達目標						
糖の性質と機能について基礎的な知識を身につける。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/4	10:05-10:55	共用セミナー室1	糖とは何か	糖の種類や構造について	勝又 敏行
2	4/11	10:05-10:55	共用セミナー室1	糖の生合成	糖の生合成について	勝又 敏行
3	4/18	10:05-10:55	共用セミナー室1	人の中の糖1	血液型と糖、受精と糖鎖など	勝又 敏行
4	4/25	10:05-10:55	共用セミナー室1	人の中の糖2	ガンと糖鎖構造など	勝又 敏行
5	5/9	10:05-10:55	共用セミナー室1	人の中の糖3	糖関連の疾病など	勝又 敏行
6	5/16	10:05-10:55	共用セミナー室1	糖の分析法	糖の分析法について	勝又 敏行
7	5/23	10:05-10:55	共用セミナー室1	プレゼンテーション	糖について興味を持った事柄について調べたものを発表する	勝又 敏行
8	5/30	10:05-10:55	共用セミナー室1	プレゼンテーション	糖について興味を持った事柄について調べたものを発表する	勝又 敏行
授業方法						
講義形式および一部アクティブラーニングを取り入れる。						
授業内容						
1. 糖とは何か						
2. 糖の種類、および構造、性質						
3. 糖の分析法						
4. 植物における糖						
5. 人の中の糖1						
6. 人の中の糖2						
7. 糖と疾病						
成績評価の方法						
評価:試験 0%、レポート 50%、出席、授業への参加度(発表を含む)等 50%						
アクティブラーニングを取り入れ以上の通りとする。						
成績評価の基準						
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による						
準備学習などについての具体的な指示						
講義で興味を持った項目について調べ、次の授業に臨んでください。						
参考書						
コールドスプリングハーバー糖鎖生物学／Ajit Varki [ほか編],鈴木康夫, 木全弘治 監訳,:丸善, 2010						

連絡先

勝又 敏行:katsumata.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

勝又 敏行:毎週金曜日 12:00-13:00 ヒポクラテス 2 階化学実験準備室

時間割番号	000713																																															
科目名	主題別選択Ⅱ（宇宙と生命）																																															
担当教員	服部 淳彦																																															
開講時期	前期	対象年次	3																																													
・曜日・時間：木曜2限 ・対象学科：医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー） 1－5）人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る。 1－10）現代社会における科学の責任を意識できるようになる。																																																
授業の目的、概要等 日本人が次々と宇宙に飛び立つ光景を見て、宇宙がますます身近な存在として感じられた学生さんも多いのではないだろうか。この授業では、宇宙環境、例えば「無（微小）重量状態」や「宇宙放射線」などが、さまざまな生物（ヒトも含めて）に与える影響について簡単に解説した後、セミナー形式で各自に発表してもらう。なお、発表内容に関しては、適宜アドバイスをを行う。																																																
授業の到達目標 生命科学のトピックスについて理解し、説明することができる。																																																
授業計画 <table><tr><td>回</td><td>日付</td><td>時刻</td><td>講義室</td><td>担当教員</td></tr><tr><td>1</td><td>4/4</td><td>10:05-10:55</td><td>共用セミナー室 10</td><td>服部 淳彦</td></tr><tr><td>2</td><td>4/11</td><td>10:05-10:55</td><td>共用セミナー室 10</td><td>服部 淳彦</td></tr><tr><td>3</td><td>4/18</td><td>10:05-10:55</td><td>共用セミナー室 10</td><td>服部 淳彦</td></tr><tr><td>4</td><td>4/25</td><td>10:05-10:55</td><td>共用セミナー室 10</td><td>服部 淳彦</td></tr><tr><td>5</td><td>5/9</td><td>10:05-10:55</td><td>共用セミナー室 10</td><td>服部 淳彦</td></tr><tr><td>6</td><td>5/16</td><td>10:05-10:55</td><td>共用セミナー室 10</td><td>服部 淳彦</td></tr><tr><td>7</td><td>5/23</td><td>10:05-10:55</td><td>共用セミナー室 10</td><td>服部 淳彦</td></tr><tr><td>8</td><td>5/30</td><td>10:05-10:55</td><td>共用セミナー室 10</td><td>服部 淳彦</td></tr></table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	4/4	10:05-10:55	共用セミナー室 10	服部 淳彦	2	4/11	10:05-10:55	共用セミナー室 10	服部 淳彦	3	4/18	10:05-10:55	共用セミナー室 10	服部 淳彦	4	4/25	10:05-10:55	共用セミナー室 10	服部 淳彦	5	5/9	10:05-10:55	共用セミナー室 10	服部 淳彦	6	5/16	10:05-10:55	共用セミナー室 10	服部 淳彦	7	5/23	10:05-10:55	共用セミナー室 10	服部 淳彦	8	5/30	10:05-10:55	共用セミナー室 10	服部 淳彦
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																												
1	4/4	10:05-10:55	共用セミナー室 10	服部 淳彦																																												
2	4/11	10:05-10:55	共用セミナー室 10	服部 淳彦																																												
3	4/18	10:05-10:55	共用セミナー室 10	服部 淳彦																																												
4	4/25	10:05-10:55	共用セミナー室 10	服部 淳彦																																												
5	5/9	10:05-10:55	共用セミナー室 10	服部 淳彦																																												
6	5/16	10:05-10:55	共用セミナー室 10	服部 淳彦																																												
7	5/23	10:05-10:55	共用セミナー室 10	服部 淳彦																																												
8	5/30	10:05-10:55	共用セミナー室 10	服部 淳彦																																												
授業方法 セミナー形式による（各自に発表してもらう）。したがって、募集人数は15名をMAXとする。																																																
授業内容 宇宙環境と生物（概論） 無（微小）重力と生物（1） 無（微小）重力と生物（2） 宇宙放射線と生物（1） 宇宙放射線と生物（2） 宇宙医学（1） 宇宙医学（2）																																																
成績評価の方法 評価：その他 100% 平常点（参加度）と発表点による。病気以外では、全出席を前提とする。 再評価：有																																																
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。																																																
準備学習などについての具体的な指示 主題科目の内容と関連のある書物を多数読むこと。																																																
連絡先 服部 淳彦:ahattori.las@tmd.ac.jp																																																
オフィスアワー 服部 淳彦:毎週 水曜:12:30～14:00 金曜:10:30～12:30 ヒポ 4F 教員研究室(A2)																																																

時間割番号	000714			
科目名	主題別選択Ⅱ（生物間のコミュニケーション）			
担当教員	伊藤 正則			
開講時期	前期	対象年次	3	
・曜日・時間: 木曜 2 限 ・対象学科: 医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表 1-8)自己の心と体を管理する能力を獲得する。 別表 2-4)自己問題提起・解決型の学習方法を身につける。				
授業の目的、概要等				
外部環境から刺激を受容したとき、同種の生物では特定の刺激に対してほぼ定型的な反応を示す。この授業では、刺激を受容してから反応が起こるまでの過程とその反応を制御するメカニズムを器官、組織、細胞、分子レベルで理解することを目的とする。また、基本的な知識を活用して論理的に考え、その考えを解り易く説明する技術を向上させることと、研究テーマと目的を設定し、目的を達成するための実験を立案する技術を習得することを目指す。主に、生物の環境適応を対象とする最近の研究論文を教材として用いる。				
授業の到達目標				
1)生体の基本構造を説明することができる。 2)生体の構造と関連させて、基本的な機能を説明することができる。 3)知識を活用して論理的に考え、その考えを解り易く説明することができる。 4)研究テーマと目的を設定し、目的を達成するための実験を計画することができる。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/4	10:05-10:55	大学院講義室 3	伊藤 正則
2	4/11	10:05-10:55	大学院講義室 3	伊藤 正則
3	4/18	10:05-10:55	大学院講義室 3	伊藤 正則
4	4/25	10:05-10:55	大学院講義室 3	伊藤 正則
5	5/9	10:05-10:55	大学院講義室 3	伊藤 正則
6	5/16	10:05-10:55	大学院講義室 3	伊藤 正則
7	5/23	10:05-10:55	大学院講義室 3	伊藤 正則
8	5/30	10:05-10:55	大学院講義室 3	伊藤 正則
授業方法				
講義形式による。ただし、履修者の希望によってはセミナー形式等で行う。毎回、コメントシートに疑問点などを記述し、提出する。次週の授業で説明する。				
授業内容				
生物が刺激を受容してから反応が起こるまでの過程とその反応を制御するメカニズムを器官、組織、細胞、分子レベルで説明する。主に、最近の研究論文(生物の環境適応に関する論文)を教材として用いて、発想から目的の設定、目的を達成するための実験計画の立案、結果を整理する方法及び考察での論理展開を重視して説明する。				
成績評価の方法				
評価:試験 0%・レポート 100%・授業への参加度 0% 再評価:有				
成績評価の基準				
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表 2」による。				
準備学習などについての具体的な指示				
予習では予め配布した参考資料を読んでおくこと。復習では授業内容を参考にして、研究テーマを設定し、研究目的を達成するための実験計画を立案すること。				
試験の受験資格				
2/3 以上出席したものにレポートを提出することができる資格を与える。				
教科書				
資料を配布する。				

参考書

Molecular biology of the cell／Bruce Alberts, Alexander Johnson, Julian Lewis, David Morgan, Martin Raff, Keith Roberts, Peter Walter, with problems by John Wilson, Tim Hunt, : Garland Science, Taylor and Francis Group, 2015

ヒューマンバイオロジー：人体と生命／シルビア・S.メイダー 著, 坂井建雄, 岡田隆夫 監訳, 坂井建雄, 橋本尚詞, 小林靖, 渡邊卓, 貞森直樹, 岡田隆夫, 中谷敬 訳, : 医学書院, 2005

はじめの一歩のイラスト生理学：はじめて学ぶ人のための目で見える教科書／照井直人 編, : 羊土社, 2012

履修上の注意事項

出欠管理システムで出欠を記録する。

連絡先

伊藤 正則: itohmt.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

伊藤 正則: 毎週月曜日 AM.10:00-PM.2:00 ヒポクラテスホール4階生物学教員研究室

時間割番号	000715			
科目名	主題別選択Ⅱ（医療の社会学）			
担当教員	藤井 達夫			
開講時期	前期	対象年次	3	
曜日・時間： 木曜 2 限 対象学科： 医・歯学科 募集人数： 25 人 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)：1-2)、1-3)、1-4)、1-5)、1-9)、1-10)、2-4)				
授業の目的、概要等 この授業では、医療テクノロジーの発展の中で医療が理想とした社会像や、医療が実際に可能にした社会の仕組みを批判的に検討します。その上で、医療との関係において、現在の社会がどこに向かおうとしているのかを考えます。具体的には、18 世紀から 20 世紀にかけての近代社会の形成と医療の発展との根深く暗い関係を優生学の観点から議論します。さらに、20 世紀後半に登場する新しい優生学の影響下で現代の医療が目指す社会像を検討します。今年度は、「優生手術」を手掛かりに、優生学と障害者問題にも焦点を当てる予定です。				
授業の到達目標 (1)人文科学・社会科学的な考察から得られる医療に対する知見を深めることができる。(2)社会のあり方やその仕組みに位置付けて医療の抱える問題を発見し、解決を模索するための視座を得ることができる。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/4	10:05-10:55	共用セミナー室 11	藤井 達夫
2	4/11	10:05-10:55	共用セミナー室 11	藤井 達夫
3	4/18	10:05-10:55	共用セミナー室 11	藤井 達夫
4	4/25	10:05-10:55	共用セミナー室 11	藤井 達夫
5	5/9	10:05-10:55	共用セミナー室 11	藤井 達夫
6	5/16	10:05-10:55	共用セミナー室 11	藤井 達夫
7	5/23	10:05-10:55	共用セミナー室 11	藤井 達夫
8	5/30	10:05-10:55	共用セミナー室 11	藤井 達夫
授業方法 講義形式と授業内での質疑応答。ただし、履修者の人数によっては、セミナー形式をとる場合もあります。				
授業内容 第 1 回 医療が描く理想社会 第 2 回 医療と優生学 第 3 回 健康優良者からなる社会——ナチス・ドイツの例 第 4 回 健康優良者からなる社会——日本の例 第 5 回 現代の優生学とそのユートピア 第 6 回 生命が廃棄される社会における障害者 第 7 回 『青い芝の会』と障害者の自己決定権 ※以上の授業計画には、変更の可能性があります。				
成績評価の方法 評価： レポート 80% ・ その他(授業での取り組み) 20% 再評価： 有(再評価方法)レポート				
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による				
準備学習などについての具体的な指示 必要があれば、授業内で適宜、指示します。				
教科書 教科書は使用しません。				
参考書 ハクスレー『素晴らしい新世界』(講談社文庫、1974 年)				

カズオ・イシグロ『わたしを離さないで』(ハヤカワ epi 文庫、2008 年)

ジグムント・フロイト『近代とホロコースト』(大月書店、2006 年)

横塚晃一『母よ！殺すな』(生活書院、2007 年)

横田弘『障害者殺しの思想』(現代書館、2015 年)

優生手術に対する謝罪を求める会編『優生保護法が犯した罪』(現代書館、2018 年)

履修上の注意事項

出欠・遅刻の扱いについては、該当する規則に従います。ただし、教員自身が出欠を取る場合もあります。

時間割番号	000716			
科目名	主題別選択Ⅱ（ヒトの脳と言語）			
担当教員	時本 楠緒子			
開講時期	前期	対象年次	3	
曜日・時間： 木曜・2 限(10:05-10:55)				
対象学科： 医・歯学科				
募集人数： 25 人				
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):別表 1-1) 言語を通じた人間の創造的営みを理解する。 別表 1-7) 人間の心への理解を深める。 別表 2-3) 言語活動や社会現象を科学的に分析するための方法を知る。				
授業の目的、概要等				
なぜヒトだけが言語を持つのでしょうか。授業の前半では、言語を可能にするヒトの脳構造と心的機能を概観し、子どもの言語獲得と脳神経系の発達から臨界期仮説を解説します。後半は、様々な動物の音声コミュニケーションとヒト言語の比較研究から得られた、言語の生物学的起源についての知見を紹介します。				
授業の到達目標				
(1) 言語機能を担うヒトの脳構造について理解する。(2) 言語の生物学的起源に関する知見に触れる。(3) 言語の脳科学研究における研究手法を学ぶ。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/4	10:05-10:55	大学院講義室 2	時本 楠緒子
2	4/11	10:05-10:55	大学院講義室 2	時本 楠緒子
3	4/18	10:05-10:55	大学院講義室 2	時本 楠緒子
4	4/25	10:05-10:55	大学院講義室 2	時本 楠緒子
5	5/9	10:05-10:55	大学院講義室 2	時本 楠緒子
6	5/16	10:05-10:55	大学院講義室 2	時本 楠緒子
7	5/23	10:05-10:55	大学院講義室 2	時本 楠緒子
8	5/30	10:05-10:55	大学院講義室 2	時本 楠緒子
授業方法				
基本的に講義形式で行うが、リアクションペーパーを利用した質疑や討論も予定している。				
授業内容				
4 月 11 日 言語とは:言語の研究法 4 月 18 日 言語獲得と脳 4 月 25 日 言語獲得の臨界期 5 月 9 日 言語の神経基盤 5 月 16 日 言語の神経基盤(2) 5 月 23 日 言語の生物学的起源 5 月 30 日 言語の生物学的起源(2) 6 月 6 日 総括				
成績評価の方法				
評価：試験 % ・ レポート 80 % ・ その他(リアクションペーパー) 20 %				
再評価：有(レポート) ・ 無				
成績評価の基準				
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による				
準備学習などについての具体的な指示				
教科書				
指定しない				

参考書

「カンデル神経科学」 金澤一郎 他監修, メディカルサイエンスインターナショナル, 2014. その他、抗議中に随時紹介します

履修上の注意事項

レポート提出の資格は、原則として授業回数の 2/3 以上の出席とします。出欠は、リアクションペーパーの提出により確認します。

時間割番号	000867			
科目名	主題別選択Ⅱ（Explorations in Literature Philosophy and Science）			
担当教員	DAVID CANNEL			
開講時期	前期	対象年次	3	
授業の目的、概要等				
What exactly is love? Is love madness, or a kind of sickness? Is it a form of blindness? Why does love feel so real and vital, and yet illusory and even ridiculous? Supposing that such baffling questions are not ultimately beyond us, who can we turn to for guidance and insight? In this course, we will appeal to a group of philosophers, poets and scientists to help guide our thinking and judgment on such matters of love.				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/4	10:05-10:55	医学科演習室 5－1, 医学科演習室 5－2	DAVID CANNEL
2	4/11	10:05-10:55	医学科演習室 5－1, 医学科演習室 5－2	DAVID CANNEL
3	4/18	10:05-10:55	医学科演習室 5－1, 医学科演習室 5－2	DAVID CANNEL
4	4/25	10:05-10:55	医学科演習室 5－1, 医学科演習室 5－2	DAVID CANNEL
5	5/9	10:05-10:55	医学科演習室 5－1, 医学科演習室 5－2	DAVID CANNEL
6	5/16	10:05-10:55	医学科演習室 5－1, 医学科演習室 5－2	DAVID CANNEL
7	5/23	10:05-10:55	医学科演習室 5－1, 医学科演習室 5－2	DAVID CANNEL
8	5/30	10:05-10:55	医学科演習室 5－1, 医学科演習室 5－2	DAVID CANNEL
授業内容				
What exactly is love? Is love madness, or a kind of sickness? Is it a form of blindness? Why does love feel so real and vital, and yet illusory and even ridiculous? Supposing that such baffling questions are not ultimately beyond us, who then can we turn to for guidance and insight? In this course, we will appeal to a group of philosophers, poets and scientists to help guide our thinking and judgment on such matters of love.				
The keywords for this course are reading, discussion, and writing. Since this is primarily a discussion-centered class, faithful attendance and participation will be critical to making it a success for each of us individually and for all of us as a group. Consequently, attendance will be recorded each time we meet.				
* Note: As a rule, use of electronic devices is not permitted in the classroom.				
成績評価の方法				
評価：レポート 80% ・ その他(授業での取り組み) 20%				
再評価：有(再評価方法)レポート				
成績評価の基準				
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による				
準備学習などについての具体的な指示				
必要があれば、授業内で適宜、指示します。				
教科書				
Most texts will be available as email attachments or handouts.				
参考書				

Participation

There is a strong expectation that each student will make every effort to contribute to class discussion. This is critical to the success of the whole course. Please come prepared to be a part of the conversation.

Absence policy

Each unexcused absence will affect the student's overall course grade.

Journal

Notebook, A-5 size

時間割番号	000917			
科目名	主題別選択Ⅱ（生命科学と技術）			
担当教員	石野 史敏			
開講時期	前期	対象年次	3	
・曜日・時間：木曜2限 ・対象学科：医学科・歯学科				
授業の目的、概要等				
難治疾患研究所は、難治疾患をその学理と応用の研究により克服し、人々の健康と社会の福祉に貢献することを理念とします。本研究所では、がん・感染症・生活習慣病など様々な難治疾患を対象として、ビッグデータ・ゲノム編集など最新の技術を駆使して基礎医学研究に取り組んでいます。本授業では、各回、異なる教員がそれぞれ専門の話題を提供し、最前線の研究に触れてもらうことを目的とします。生命科学を飛躍的に発展させたテクノロジーに力点をおいた研究を紹介します。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/4	10:05-10:55		石野 史敏
2	4/11	10:05-10:55		岡澤 均
3	4/18	10:05-10:55		清水 重臣
4	4/25	10:05-10:55		田賀 哲也
5	5/9	10:05-10:55		古川 哲史
6	5/16	10:05-10:55		樗木 俊聡
7	5/23	10:05-10:55		田中 光一
8	5/30	10:05-10:55		澁谷 浩司
授業方法				
成績評価の基準				
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。				
準備学習などについての具体的な指示				

時間割番号	000914			
科目名	主題別選択Ⅱ（小説に見る日本語の変化と多様性(現代編)）			
担当教員	平井 裕香			
開講時期	前期	対象年次	3	
曜日・時間:木曜2限 対象学科:医学科・歯学科 受講資格:「言語と人間」、「文化と人間」の主題であること 募集人数:30人 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):1－1)言語を通じた人間の創造的営みを理解する、1－5)人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る、1－9)市民としての倫理観を養う				
授業の目的、概要等				
私たちの多くが日常的に使用している日本語は、通時的に不変でも、共時的に一定でもない。それは複雑な変化を経て現在のような形となり、現在においても重要な多様性を持っている。本授業では、日本語のそうした変化と多様性に、いくつかの小説を通して触れることを目的とする。多彩な言語現象のごく一部である「小説」が、日本語の変化と多様性にいかに関与してきたのかも、あわせて理解できるだろう。後半では比較的新しい時代(これを仮に「現代」と呼ぼう)に焦点を当て、「日本語」に生じる問題や「日本語」という枠組みが生じてしまう問題に、異なる角度から接近している三つの作品を取り上げる。自分が読んだ印象を、他人が読んだ印象や、教員が講義で提示する情報と突き合わせることで、表現と時代、言葉と主体、形式と内容の関係について、洞察を深めてもらいたい。				
授業の到達目標				
(1)日本語の通時的な変化と共時的な多様性を知る。 (2)「小説」というジャンルの特異性を理解する。 (3)自分の考えを口頭あるいは文章で他者に伝達する。 (4)表現と時代、言葉と主体、形式と内容の関係を考察する。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	6/6	10:05-10:55	共用セミナー室 7	平井 裕香
2	6/13	10:05-10:55	共用セミナー室 7	平井 裕香
3	6/20	10:05-10:55	共用セミナー室 7	平井 裕香
4	6/27	10:05-10:55	共用セミナー室 7	平井 裕香
5	7/4	10:05-10:55	共用セミナー室 7	平井 裕香
6	7/11	10:05-10:55	共用セミナー室 7	平井 裕香
7	7/18	10:05-10:55	共用セミナー室 7	平井 裕香
授業方法				
各回の前半約3分の2を教員による講義に、後半約3分の1をクラス全体での討論かリアクションペーパーの執筆にあてる。				
授業内容				
1)イントロダクション 2)メディアへの視線1 3)メディアへの視線2 4)さまざまな越境1 5)さまざまな越境2 6)方言という戦略1 7)方言という戦略2 なお、各回の授業内容は、受講者の興味関心に即して変更する場合がある。				
成績評価の方法				
評価：試験 0% ・ レポート 60% ・ その他(授業への積極的参加(討論での発言、リアクションペーパーの執筆など)) 40%				
再評価：有(再評価方法:レポート)				
課題図書と各回の講義に対する応答を「授業への積極的参加」で、その総合と発展を「レポート」でそれぞれ評価する。				
成績評価の基準				

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 7回で計3作、2週間ごとに1作の小説を読むことを求める。各自が読んでいることを前提に、講義および討論を行う。 なお、課題として読む3作は、私たちが生きる現在の様々な事象を描いている。必ずしも医療とかかわらないが、それとは異なる観点から社会や自分自身について考えるきっかけにしてほしい。
試験の受験資格 7回中3回以上の欠席で、レポート提出の資格を失うことを原則とする。
教科書 なし。課題として読む3作については、コピーを配布する予定。
参考書 飯田祐子『彼女たちの文学—語りにくさと読まれること』名古屋大学出版会、2016 年 郭南燕(編著)『バイリンガルな日本語文学—多言語多文化のあいだ』三元社、2013 年 川口良、角田史幸『日本語は誰のものか』吉川弘文館、2005 年 斎藤美奈子『日本の同時代小説』岩波新書、2018 年 土田知則、青柳悦子『文学理論のプラクティス—物語・アイデンティティ・越境』新曜社、2001 年
履修上の注意事項 出欠管理システムより、教員がとる出欠を優先させる。

時間割番号	000896			
科目名	主題別選択Ⅱ（生命倫理を問いなおす）			
担当教員	田中 智彦			
開講時期	前期	対象年次	3	
◇ 曜日・時間:木曜 2 限 ◇ 対象学科:医学科・歯学科 ◇ 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) 別表 1-5)人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る 別表 1-9)市民としての倫理観を養う 別表 1-10)現代社会における科学の責任を意識できるようになる				
授業の目的、概要等 生命(いのち)の倫理を問うとはどういうことだろうか。なるほどすでに生命倫理(bioethics)という制度と学問がある。そのおかげでこの半世紀に医学・医療は大きく変わった。患者の権利を守り、また治療・研究にルールを課す、さまざまな法律やガイドラインが作られた。そのことの意義は評価しなければならない。しかし他方で、そうした所定の手続きにしたがうことは、本来、倫理的に考え、判断し、行為することと同じではないこともたしかである。そこでこの授業では、あらためて「生命(いのち)」とは何か、「倫理」とは何か、という原点に立ち返りながら、今日の医学・医療で「問題」とされることのいくつかを検討してゆくことにしたい。				
授業の到達目標 (1)「倫理」と「法」の違いについて理解を深めること。 (2)その理解のもとに、生命倫理上の問題を批判的に再検討する視点を得ること。 (3)「いのち」について倫理的に思考するとはどういうことかを理解すること。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	6/6	10:05-10:55	共用セミナー室 5	田中 智彦
2	6/13	10:05-10:55	共用セミナー室 5	田中 智彦
3	6/20	10:05-10:55	共用セミナー室 5	田中 智彦
4	6/27	10:05-10:55	共用セミナー室 5	田中 智彦
5	7/4	10:05-10:55	共用セミナー室 5	田中 智彦
6	7/11	10:05-10:55	共用セミナー室 5	田中 智彦
7	7/18	10:05-10:55	共用セミナー室 5	田中 智彦
授業方法 授業はセミナー形式で進める。教科書は用いず、必要な文献・資料等はコピーして配布する。授業ではそれらをもとにして解説や議論を行い、内容について理解を深めてゆく。				
授業内容 (1)「倫理」と「法」はどのように違うのか。またなぜその違いが重要なのか。 (2)患者の権利や尊厳(そして時にいのちまでも)が深く損なわれた歴史は、何を教えるのか。 (3)こうしたことから生命倫理を省みるとき、その意義と限界はどのように評価されるか。				
成績評価の方法 ◇評価:レポート 60% 授業への参加度 40%(出席状況、議論への参加度など) ◇再評価:有(レポート)				
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表 2」による				
準備学習などについての具体的な指示 受講者には授業の中で、文献や資料(ドキュメンタリー等も含む)から過去と現在を知り、「なぜ」を問い、考えることが求められる。解説や議論はそうした問いや思考を深めるためにある。それゆえ解説・議論への能動的な関与と、そこで学んだことの積極的な吸収・応用に努めてもらいたい。				
試験の受験資格 ◇ レポートの提出資格:原則として 7 回中 5 回以上の出席				

教科書

教科書は用いない。必要な文献・資料等はコピーして配布する。

参考書

参考書等は授業の中で随時紹介する。

履修上の注意事項

出欠については、出欠管理システムの記録と、教員が毎授業時にとる出欠とを併用する。

時間割番号	000916			
科目名	主題別選択Ⅱ（ロシア・中央ユーラシアの文化と歴史）			
担当教員	濱本 真実			
開講時期	前期	対象年次	3	
曜日・時間:木曜 2 限				
受講資格:「文化と人間」「言語と人間」選択者				
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):				
1－3) 人間の歴史的営みを理解する				
3－4) 外国文化を理解する				
授業の目的、概要等				
本授業では、ロシアを含む中央ユーラシアに住む人々の文化の成り立ちに注目し、この地に居住する多くの民族の文化的背景と、それらが影響しあい部分的に融合していく様子をたどる。授業の前半では、ロシアや中央アジアの諸民族の文化とその融合の歴史について解説する。授業の後半では、受講者が自分の興味に基づいて、ロシア、中央アジアやその周辺の国々の歴史に関する発表を行い、その後発表内容について授業参加者全員で討論する。				
授業の到達目標				
多文化共生社会成立の歴史を学ぶことにより、ときに激しい民族対立が発生する多文化・多民族共生社会の構造について理解を深める。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	6/6	10:05-10:55	医学科演習室 5－3, 医学科演習室 5－4	濱本 真実
2	6/13	10:05-10:55	医学科演習室 5－3, 医学科演習室 5－4	濱本 真実
3	6/20	10:05-10:55	医学科演習室 5－3, 医学科演習室 5－4	濱本 真実
4	6/27	10:05-10:55	医学科演習室 5－3, 医学科演習室 5－4	濱本 真実
5	7/4	10:05-10:55	医学科演習室 5－3, 医学科演習室 5－4	濱本 真実
6	7/11	10:05-10:55	医学科演習室 5－3, 医学科演習室 5－4	濱本 真実
7	7/18	10:05-10:55	医学科演習室 5－3, 医学科演習室 5－4	濱本 真実
授業方法				
講義および演習形式				
授業内容				
1. ナショナリズムとは？				
2. ロシア帝国は「諸民族の牢獄」か？				
3. 多民族国家ソ連の成り立ちと文化融合				
4. 出席者による報告と討論				
5. 出席者による報告と討論				
6. 出席者による報告と討論				

7. 出席者による報告と討論
成績評価の方法 評価：試験 0% ・ レポート 70% ・ その他(授業への参加度) 30% 再評価：有(レポート)
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示
試験の受験資格 レポートの提出資格:原則として7回中5回以上の出席
教科書 プリントを配布する。
参考書 塩川伸明『民族と言語』(多民族国家ソ連の興亡 1)岩波書店、2004 年 塩川伸明『民族とネーション—ナショナリズムという難問』岩波新書、2008 年
履修上の注意事項 出欠については、出欠管理システムの記録と教員がとる出欠とを併用します。

時間割番号	000710			
科目名	主題別選択Ⅱ（スポーツと健康）			
担当教員	水野 哲也			
開講時期	前期	対象年次	3	
曜日・時間:木曜 対象学科:医学科・歯学科 2年 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) 別表1－4)異なる空間の文化を理解する 別表1－8)自己の心と体を管理する能力を獲得する				
授業の目的、概要等 本授業では、生活の身近にある「スポーツ」また「健康」とは何か?、を原点に立ち返って、今一度考えてみたいと思います。授業では、私(水野)の考える「スポーツとは?」、「健康とは?」を述べますが、これは私論です。よって、授業では受講者各自が考える「スポーツ」また「健康」とは? を発表し、その本質について共に考えたいと思います。				
授業の到達目標 本授業の最終到達目標は、主題別選択授業のテーマでもある偏らない思考や物の見方をどのようにして身に付けてゆくか?を実践的に学ぶことです。よって、学生各自が本授業の題目である「スポーツと健康」に関する独自のテーマを設定し、それぞれの私論を述べるとともに意見交換し、授業終了後にそれらを基に2000字程度のレポートをまとめることを具体的な到達目標とします。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	6/6	10:05-10:55	共用セミナー室 6	水野 哲也
2	6/13	10:05-10:55	共用セミナー室 6	水野 哲也
3	6/20	10:05-10:55	共用セミナー室 6	水野 哲也
4	6/27	10:05-10:55	共用セミナー室 6	水野 哲也
5	7/4	10:05-10:55	共用セミナー室 6	水野 哲也
6	7/11	10:05-10:55	共用セミナー室 6	水野 哲也
7	7/18	10:05-10:55	共用セミナー室 6	水野 哲也
授業方法 授業は発表形式で実施しますが、その学習効果を上げるために学生による発表、討議型の授業を行います。				
授業内容 「スポーツとは?」、「健康とは?」、そして「文化とは?」について考え、その後「スポーツは文化か?」、「健康づくりは文化か?」などについて事例やデータを基にともに考えます。受講者の主体的な発表が重要で、そのをもとに意見交換をします。				
成績評価の方法 評価:出席 30%、各授業時の参加度 20%、レポート 50% 再評価: 有				
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による				
準備学習などについての具体的な指示 本授業では単に授業に出席して講義を聴くというだけでなく、主体性。能動的に主題(自ら選択したテーマ)について考える積極的な態度や姿勢が求められます。発表の内容をしっかりと準備してください。				
試験の受験資格 本授業は、原則全授業の2/3(全7回のうち5回)以上の出席を受験(評価対象)の資格とします。				
参考書 痛快!みんなのスポーツ学／辻秀一 著,:集英社インターナショナル, 2001 病気になるらない暮らし事典／本間真二郎:セブン&アイ出版, 2016 健康生成力SOCと人生・社会／山崎喜比古山崎ほか:有信堂, 2017				
他科目との関連				

1年次のスポーツ・健康科学並びに保健体育学分野のS科目との有機的な連携を図ることでより効果が上がるように設計されています。

連絡先

水野 哲也:mizuno.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

水野 哲也:毎週金曜日 AM. 10:30 ～ 12:00 管理研究棟 2階 水野研究室

時間割番号	000720					
科目名	主題別選択Ⅱ（フランス詩を読む）					
担当教員	中島 ひかる					
開講時期	前期	対象年次	3			
・曜日・時間：木曜2限 ・対象学科：医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)： 別表1－1)言語を通じた人間の創造的営みを理解する 別表1－6)優れた芸術作品に触れて感性を高める 別表1－7)人間の心への理解を深める						
主な講義場所 湯島						
授業の目的、概要等 ルネサンス期から現代にいたるまでのフランスの代表的な詩を講読します。授業では、フランス語の原文と共に、できる限り日本語訳を配付して、言葉のニュアンスや詩の構造を解説していきますので、フランス語履修者でなくても、詩や文学に興味があれば受講できます。フランス語を学習した人は、原語で、使われている単語・表現のニュアンスをできるだけ味わって下さい。 詩(文学)には、普遍的な人間の感性が表現されていますが、また一方で、その感性の表現は、時代・文化の刻印を受けて変化もします。現代の若い皆さんの感性で、共感できる部分、理解しがたい部分を正直に受け止めることが、詩を味わう出発点となると考えます。その共感や違和感をもとに文化・時代の差を考えていただくこともこの授業の目的です。						
授業の到達目標 1)フランス詩のニュアンス・表現を味わう。 2)文化・時代による感性の表現を自らの感性や表現と比較し、自らを相対化する。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	6/6	10:05-10:55	共用セミナー室 2	フランス詩を読む	序論(概要の説明) ジャック・プレヴェール	中島 ひかる
2	6/13	10:05-10:55	共用セミナー室 2	フランス詩を読む	ヴェルレーヌ等	中島 ひかる
3	6/20	10:05-10:55	共用セミナー室 2	フランス詩を読む	アポリネール、ロンサール	中島 ひかる
4	6/27	10:05-10:55	共用セミナー室 2	フランス詩を読む	ランボー、ボードレー ル	中島 ひかる
5	7/4	10:05-10:55	共用セミナー室 2	フランス詩を読む	マラルメ、ヴァレリー	中島 ひかる
6	7/11	10:05-10:55	共用セミナー室 2	フランス詩を読む	ロマン派	中島 ひかる
7	7/18	10:05-10:55	共用セミナー室 2	フランス詩を読む	現代詩、意見交換	中島 ひかる
授業方法 講義と演習による。 毎回、2、3篇の詩を講読します。最初に各自に簡単な解釈や感想を述べていただいた後、教員が詩の内容や言葉のニュアンス、時代背景等を解説し、それを聞いた後、どのように感じ方が変わったかを再び話していただきます。						
授業内容 ロンサール、ラシーヌ、ボードレー、ヴェルレーヌ、ランボー、マラルメ、アポリネール等、できるだけ日本語訳のあるフランス詩を、各時代から幅広く選んで読んでいきます。 おおよその予定は以下の通りですが、受講者の反応や希望によって取り上げる詩と順序は変更します。 1 回目：授業の概要説明、ジャック・プレヴェール 2 回目：ヴェルレーヌ等 3 回目：アポリネール・ロンサール 4 回目：ランボー・ボードレー 5 回目：マラルメ、ヴァレリー 6 回目：ロマン派						

7 回目:現代詩、意見交換
成績評価の方法 評価:試験(期末考査)0%・レポート80%・ その他 20 % (授業への参加度) 再評価:有 (再評価方法 主題別教育運営委員会の指示にしたがってください) 授業中のコメント、並びに期末レポートで評価します。レポートは、自分の興味を持った詩(授業中に取り上げた詩でも、それ以外の詩でも構いません)を選び、分析して頂きます。フランス文学への教養も大事ですが、知識の蓄積を目的とする授業ではありませんので、レポート作成にあたっては解説記事を写すのではなく、授業中の教員の解説や他の人のコメントも参考にしながら、選んだ作品に対して、何を感じ、なぜ自分がそう感じたのかを分析して下さい。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 初回の導入以外は、毎回、次回に扱う詩をあらかじめ配付するので、事前に目を通して、自分なりの解釈や感想をまとめておくこと。
試験の受験資格 2/3 以上出席したものに、レポート提出の資格を与える。
教科書 フランス名詩選／安藤元雄、入沢康夫、渋谷孝輔 編、:岩波書店、1998 プリントを配付する
参考書 珊瑚集：仏蘭西近代抒情詩選／永井 荷風 訳、:岩波書店 上田敏全訳詩集／山内 義雄・矢野峰人 編、:岩波書店 悪の華／ボードレール 著、鈴木信太郎 著、:集英社 ヴァレリー詩集／ヴァレリー／著、鈴木 信太郎／訳、:岩波書店、1979 月下の一群：訳詩集／堀口大樹 訳、:岩波書店、2013 ロンサル詩集／ピエール・ド・ロンサル／〔著〕、井上究一郎／訳、:岩波書店、1989 ランボオ詩集／ランボオ〔著〕、中原中也 訳、:岩波書店、2013 地獄の季節／ランボー /作、小林秀雄／訳、:岩波書店、2008 ヴェルレーヌ詩集／ヴェルレーヌ〔著〕、堀口 大樹 訳、:新潮社 アポリネール詩集／アポリネール／〔著〕、堀口大樹／訳、:新潮社、1985
履修上の注意事項 出欠管理システムの端末がない部屋がほとんどと思われるので、教員が出欠をとります。
連絡先 中島 ひかる:nakashima.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 中島 ひかる:毎週月・水曜 12:30～13:00 教養部管理研究棟 3 階フランス語研究室

時間割番号	000721						
科目名	主題別選択Ⅱ（ドイツとヨーロッパの現在）						
担当教員	SCHINZINGER EMI						
開講時期	前期	対象年次	3				
・前期後半 ・曜日・時間：木曜 2 限 ・対象学科：医学科・歯学科 3 年生 ・受講資格：ドイツ語 a,b,c,d,4 単位を持っていること ・募集人数：2 年生とあわせて 20 人 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)： 別表1－1) 言語を通じた人間の創造的営みを理解する 別表1－3) 人間の歴史的営みを理解する 別表1－4) 異なる空間の文化を理解する 別表1－6) 優れた芸術作品に触れて感性を高める 別表1－7) 人間の心への理解を深める 別表3－4) 外国文化を理解する							
主な講義場所							
湯島キャンパス							
3号棟4階演習室4－11, 12							
授業の目的、概要等							
ベルリンという特別な町について学ぶことによって、ドイツとヨーロッパの現在について考えていきます。具体的には、1986 年に初演されてから現在までベルリンで再演され続けている「Linie 1」という、ベルリンの地下鉄を題材にした音楽劇の中から、抜粋した箇所を読んでいきます。原文を読む授業ですので、ドイツ語の 4 単位を持っていない方は受講できません！毎回予習してきてもらって、ドイツ語を訳していきますので、予習をすることが受講の条件です。							
授業の到達目標							
ベルリンについて学んでから、現代の演劇作品から多くの抜粋箇所を読むことが目標です。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	6/6	10:05-10:55	医学科演習室 4－11, 医学科演習室 4－12	ドイツとヨーロッパの現在 1	オリエンテーション：ベルリンとこの作品について：教員の説明の後、プリントを読んで訳していく。その後作品のプリントから、最初の詩を読んで訳していく。どの詩をどの順番で読むか話し合う。	SCHINZINGER EMI	毎回独和辞典、できれば電子辞書を持ってきてください。毎回予習する範囲が指定されます。
2	6/13	10:05-10:55	医学科演習室 4－11, 医学科演習室 4－12	ドイツとヨーロッパの現在 2	一つ目の詩を読み終わったら、二つ目の詩を読んで訳し始める。	SCHINZINGER EMI	毎回独和辞典、できれば電子辞書を持ってくる。指定された範囲を予習しておくこと。
3	6/20	10:05-10:55	医学科演習室 4－11, 医学科演習室 4－12	ドイツとヨーロッパの現在 3	二つ目の詩を読み終わったら、三つ目の詩を読んで訳し始める。	SCHINZINGER EMI	毎回独和辞典、できれば電子辞書を持ってくる。指定された範囲を予習しておくこと。
4	6/27	10:05-10:55	医学科演習室 4－	ドイツとヨーロッパの現在 4	三つ目の詩を読み終わったら、四つ目の詩を読んで訳し始め	SCHINZINGER EMI	毎回独和辞典、できれば電子辞

			11, 医学科 演習室 4- 12		る。		書を持ってくる こと。指定され た範囲を予習し ておくこと。
5	7/4	10:05-10:55	医学科演 習室 4- 11, 医学科 演習室 4- 12	ドイツとヨーロッ パの現在5	四つ目の詩を読み終わったら、 五つ目の詩を読んで訳し始め る。	SCHINZIN GER EMI	毎回独和辞典、 できれば電子辞 書を持ってくる こと。指定され た範囲を予習し ておくこと。
6	7/11	10:05-10:55	医学科演 習室 4- 11, 医学科 演習室 4- 12	ドイツとヨーロッ パの現在6	五つ目の詩を読み終わったら、 六つ目の詩を読んで最後まで 訳す。	SCHINZIN GER EMI	試験準備：今ま で読んで訳した 詩を、全部しっ かり復習してお くこと。ベルリン と「地下鉄 1 号 線」について復 習しておくこと。
7	7/18	10:05-10:55	医学科演 習室 4- 11, 医学科 演習室 4- 12	ドイツとヨーロッ パの現在7	試験	SCHINZIN GER EMI	遅刻、欠席をし ないこと。

授業方法

セミナー形式；初回はベルリンについてのオリエンテーションで、インターネットのページなど読みます。その次からは作品の一部を原文で読んで訳していきます。

授業内容

初回：ベルリンについてのオリエンテーション、プリント配布

第 2 回～第 6 回：「Linie 1」より抜粋を読んでいきます。毎回予習が必要です。1 年生で習ったドイツ語より格段に難しいので覚悟が必要です。

第 7 回：到達したところまでの内容について、試験を行います。

成績評価の方法

毎回予習をしてきて積極的に授業に参加することによる平常点が 50 パーセント。

試験が 50 パーセント。

再評価：無

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表 2」による

準備学習などについての具体的な指示

授業中に沢山原文、ドイツ語を読みますので、1 年で学んだドイツ語の内容を、授業が始まる前に復習しておいてください。1 年生の時の文法と会話の両方の教科書を復習するとよいです。他の参考書や、ラジオやテレビのドイツ語講座も活用するとよいです。

・授業時間が短いため、必ず毎回自宅で辞書を使い、指定された範囲を予習してきてください。

試験の受験資格

原則 3 分の 2 以上出席

教科書

第 1 回目にプリントを配布。

参考書

新現代独和辞典／ロベルト・シンチンゲル、山本明、南原実 編、Schinzinger, Robert, 1898-1988, 山本, 明, 1928-, 南原, 実, 1930-2013, : 三修社, 2008

アポロン独和辞典／根本道也, 恒吉良隆, 吉中幸平, 成田克史, 福元圭太, 重竹芳江 責任編集執筆, 有村隆広, 新保弼彬, 本田義昭, 鈴木敦典 編集執筆, 根本, 道也, 1934-, 恒吉, 良隆, 1938-, 吉中, 幸平, 有村, 隆広, 1936-, 新保, 弼彬, 本田, 義昭, : 同学社, 2010 代表的な独和辞典を挙げておきましたが、授業時間が短いので、授業中は電子辞書の方が早く使えるので便利です。もしできるのであれば電子辞書を用意してください。これからもドイツ語を使うのであれば、カシオ Ex-word XD-U7100 がおすすめです。
履修上の注意事項 毎回出欠を取ります。 毎回プリントと電子辞書か独和辞典を持ってきてください。 毎回指定された範囲を予習してきてください。
連絡先 SCHINZINGER EMI:schinzinger.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー SCHINZINGER EMI:毎週月曜日 16:30 - 18:00 管理研究棟 3 階研究室

時間割番号	000811			
科目名	主題別選択Ⅱ（学習・記憶と老化）			
担当教員	岩下 洸			
開講時期	前期	対象年次	3	
曜日・時間:木曜 2 限 対象学科:医学科・歯学科 募集人数:20 人 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表1ー5)人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る 別表1ー7)人間の心への理解を深める 別表2ー1)自然現象を科学的に探求するための方法論を知る				
授業の目的、概要等				
ヒトを含め、動物は過去の経験を記憶し、学習することで行動を変化させ、環境の変化に適応しながら生存している。そのため、「学習・記憶」は動物にとって重要な能力である。しかしながら、「学習・記憶」を含む認知機能は加齢にともなう様々な要因に影響される。平均寿命の著しい伸びとともに、高齢化率が急速に増加しているわが国において、認知症患者数の増加が社会に与える影響は大きいであろう。 この授業では、「学習・記憶」に関係する脳の機能と、そこに与える老化の影響について、生物学的な視点から講義を行い、理解を深めることを目的とする。				
授業の到達目標				
学習・記憶の観点から脳の機能への理解を深め、そこに与える老化の影響を学ぶ。また、当該分野における研究手法を学ぶ。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	6/6	10:05-10:55	共用セミナー室 12	岩下 洸
2	6/13	10:05-10:55	共用セミナー室 12	岩下 洸
3	6/20	10:05-10:55	共用セミナー室 12	岩下 洸
4	6/27	10:05-10:55	共用セミナー室 12	岩下 洸
5	7/4	10:05-10:55	共用セミナー室 12	岩下 洸
6	7/11	10:05-10:55	共用セミナー室 12	岩下 洸
7	7/18	10:05-10:55	共用セミナー室 12	岩下 洸
授業方法				
講義形式と授業内での質疑応答				
授業内容				
第 1 回-第 4 回 学習と記憶 第 5 回-第 7 回 学習・記憶の老化				
成績評価の方法				
評価：その他(各講義での小テスト・授業への参加度) 100% 再評価：有				
成績評価の基準				
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による				
準備学習などについての具体的な指示				
予習は特に必要ありません。毎回、前回と当日の講義内容について小テストを行うとともに、質問やコメントを書いています。				
教科書				
指定なし プリントを配布する。				
参考書				
カールソン神経科学テキスト 脳と行動/ NEIL R.CARLSON 著, 泰羅 雅登 監訳, 中村 克樹 監訳, 丸善出版, 2013 老年医学系統講義テキスト/ 日本老年医学会 編, 西村書店, 2013				

履修上の注意事項

毎回の講義における小テスト等を出欠確認に用います。また、3 分の 2 以上の出席を前提とし、評価の対象とする。

時間割番号	000900			
科目名	主題別選択Ⅱ（情報社会と人間）			
担当教員	中口 悦史			
開講時期	前期	対象年次	3	
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 1－1), 1－7), 2－1), 2－3), 4－4)				
授業の目的、概要等				
情報化社会とよばれる現代、すでに対面よりもスマホの画面内のSNS上での会話が支配的な時代となり、人々はネット社会とリアル社会の両面での生活を強いられている。では現代の人々は、ネット社会での生活にうまく適応できているのだろうか。そもそもコミュニケーションの本質とは何か。情報社会やコミュニケーションについて人文社会科学や医学などさまざまな観点から考察する。				
授業の到達目標				
情報と情報社会に対して自分なりの視点や立場を持ち、それを他人に説明し、互いに議論・討論することができる。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	6/6	10:05-10:55	医学科講義室 1	中口 悦史
2	6/13	10:05-10:55	医学科講義室 1	中口 悦史
3	6/20	10:05-10:55	医学科講義室 1	中口 悦史
4	6/27	10:05-10:55	医学科講義室 1	中口 悦史
5	7/4	10:05-10:55	医学科講義室 1	中口 悦史
6	7/11	10:05-10:55	医学科講義室 1	中口 悦史
7	7/18	10:05-10:55	医学科講義室 1	中口 悦史
授業方法				
講義と議論・討論を交えながら授業を進める。				
授業内容				
配付資料を基に、情報と情報社会の理論的基礎を学習しながら、互いに議論・討論を重ね、各自の視点で考察を加える。				
授業計画				
(1) 情報という概念、情報の定義				
(2) 情報と感知・認知・心理・行動				
(3) シヤノンとソシュールのモデル				
(4) コミュニケーションの成立と言語の役割				
(5) うわさやデマの伝播				
(6) デジタル社会は仮想か現実か				
(7) まとめ・情報とは何か				
成績評価の方法				
評価：試験 0%・レポート 80%・その他(授業への参加度) 20%				
再評価：有				
レポートと授業への参加度を総合して成績評価を行う。授業への参加度は、質疑応答や議論・討論への参加の積極性、演習への取り組み具合などにより測る。期末にレポートを課し、この授業の内容に即したテーマに沿って、学生個々の考えを問う。				
「試験の受験資格」を満たし、かつレポートを提出したもののみを、評価の対象とする。				
成績評価の基準				
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則別表 2」による				
準備学習などについての具体的な指示				
毎回の授業計画にあるトピックについて、疑問点などを事前にまとめて、授業に臨むこと。				
試験の受験資格				
授業回数の3分の2回以上の出席。				
教科書				

教科書は特に指定しない。資料は適宜配付する。

参考書

情報理論／甘利俊一 著,甘利, 俊一, 1936-,筑摩書房, 2011

通信の数学的理論／クロード・E.シャノン, ワレン・ウィーバー 著,植松友彦 訳,Shannon, Claude E, 1916-2001,Weaver, Warren, 1894-1978,植松, 友彦,筑摩書房, 2009

ソシールと言語学：コトバはなぜ通じるのか／町田健 著,町田, 健, 1957-,講談社, 2004

情報と自己組織性の理論（オンデマンド版）／吉田民人:東京大学出版会, 2012

生命と機械をつなぐ知：基礎情報学入門／西垣通 著,西垣, 通, 1948-,高陵社書店, 2012

ケータイ化する日本語：モバイル時代の“感じる”“伝える”“考える”／佐藤健二 著,佐藤, 健二, 1957-,大修館書店, 2012

ケータイ社会論 = Understanding Keitai Society／岡田朋之, 松田美佐 編,岡田, 朋之, 1965-,松田, 美佐, 1968-,有斐閣, 2012

うわさとは何か：ネットで変容する「最も古いメディア」／松田美佐 著,松田, 美佐, 1968-,中央公論新社, 2014

クチコミとネットワークの社会心理：消費と普及のサービスイノベーション研究／池田謙一 編,池田, 謙一, 1955-,東京大学出版会, 2010

ウェブ社会のゆくえ：〈多孔化〉した現実のなかで／鈴木謙介 著,鈴木, 謙介, 1976-,NHK 出版, 2013

履修上の注意事項

出欠確認は出欠管理システムと、授業中の点呼を併用する。

時間割番号	000737					
科目名	主題別選択Ⅱ（人体・医療の物理）					
担当教員	檜枝 光憲					
開講時期	前期	対象年次	3			
曜日・時間:木曜2限						
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):別表2－1)別表2－2)別表2－4)別表4－2)						
授業の目的、概要等						
生命も含め物質現象は物理学の原理と大いに関係しています。例えば人体の動きや歯の矯正治療は力学、血流の流れは流体力学、また体内に取り込み消費するエネルギーは熱力学の原理に従っています。また、X線、MRI、重粒子線治療など多くの現代医療測定技術は物理学の成果です。本授業は講義形式で進め、人体や医歯学に関係した物理を学んでいきます。						
授業の到達目標						
人体・医療に関係した物理を習得する。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	6/6	10:05-10:55	医学科講義室 2	第1回	力学と人体・医療	檜枝 光憲
2	6/13	10:05-10:55	医学科講義室 2	第2回	流体と人体・医療	檜枝 光憲
3	6/20	10:05-10:55	医学科講義室 2	第3回	熱と人体・医療	檜枝 光憲
4	6/27	10:05-10:55	医学科講義室 2	第4回	音と人体・医療	檜枝 光憲
5	7/4	10:05-10:55	医学科講義室 2	第5回	光と人体・医療	檜枝 光憲
6	7/11	10:05-10:55	医学科講義室 2	第6回	磁気と人体・医療	檜枝 光憲
7	7/18	10:05-10:55	医学科講義室 2	第7回	放射線と人体・医療	檜枝 光憲
授業方法						
講義と演習						
授業内容						
1. 人体・医療と力学						
2. 人体・医療と流体						
3. 人体・医療と熱						
4. 人体・医療と音						
5. 人体・医療と光						
6. 人体・医療と磁気						
7. 人体・医療と放射線						
成績評価の方法						
授業の到達目標の達成度を主に授業毎に提出してもらう演習内容(小レポート)によって評価する。						
評価：レポート 80 %						
その他(授業の参加度) 20%						
再評価: 無						
成績評価の基準						
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による						
準備学習などについての具体的な指示						
予習として関連の参考書や他の関連図書を探して読むこと。						
参考書						
生物学と医学のための物理学／Paul Davidovits 著,曾我部正博 監訳,吉村建二郎 編集協力,:共立出版, 2015						
物理学入門から医用物理へ:超音波、磁気共鳴、X線理解のために／本間康浩 著,:ブイツーソリューション, 2013						
医療系のための物理／佐藤幸一, 藤城敏幸 著,:東京教学社, 2013						
履修上の注意事項						
原則 2/3 以上の出席が必要。 出欠管理システムより、教員自身が取る出欠を優先させる。						

連絡先

檜枝 光憲:hieda.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

檜枝 光憲:毎週金曜日 16:30～17:30 ヒポ 4F 教員研究室 3

時間割番号	000726					
科目名	主題別選択Ⅱ（微分方程式演習）					
担当教員	越野 和樹					
開講時期	前期	対象年次	3			
・曜日・時間：時間割を参照のこと ・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー） 別表2－1） 別表4－2）						
授業の目的、概要等						
私たちはみな、毎日の暮らしの中で物理法則に従って生きています。例えば、自動車の停止距離はスピードの2乗に比例しますが、このことは物理理論によって明快に説明することができます。物理法則は数学（特に微分方程式）を用いて記述されています。本講義では、微分方程式などの物理数学を演習形式で学習します。						
授業の到達目標						
問題演習をとおして、数理科学的能力を高めること						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	6/6	10:05-10:55	共用セミナー室 4	第 1 回	物理数学演習	越野 和樹
2	6/13	10:05-10:55	共用セミナー室 4	第 2 回	物理数学演習	越野 和樹
3	6/20	10:05-10:55	共用セミナー室 4	第 3 回	力学演習	越野 和樹
4	6/27	10:05-10:55	共用セミナー室 4	第 4 回	力学演習	越野 和樹
5	7/4	10:05-10:55	共用セミナー室 4	第 5 回	力学演習	越野 和樹
6	7/11	10:05-10:55	共用セミナー室 4	第 6 回	電磁気学演習	越野 和樹
7	7/18	10:05-10:55	共用セミナー室 4	第 7 回	電磁気学演習	越野 和樹
授業方法						
講義およびアクティブラーニング（演習や討論など）による						
授業内容						
・物理数学演習 ・電磁気学演習 ・力学演習						
成績評価の方法						
評価：試験（期末考査）0％・レポート0％・その他（各講義での提出課題）100％						
成績評価の基準						
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による						
準備学習などについての具体的な指示						
特別な準備は必要ないが、講義前半の基礎知識確認に集中すること。						
参考書						
「詳解物理応用数学演習」 後藤憲一ほか 共立出版						
履修上の注意事項						
数学・物理学の双方に十分な能力を有することを前提としている。						
連絡先						
越野 和樹:ikuzak.las@tmd.ac.jp						
オフィスアワー						
越野 和樹:毎週月曜日 12:00—13:00 ヒポクラテス 4 階						

時間割番号	000727																																										
科目名	主題別選択Ⅱ（タンパク質科学の光と影）																																										
担当教員	奈良 雅之																																										
開講時期	前期	対象年次	3																																								
・曜日・時間：木曜2限 ・対象学科：医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）： 1-3)人間の歴史的営みを理解する。 1-10)現代社会における科学の責任を意識できるようになる 2-1)自然現象を科学的に理解するための方法論を知る 4-2)生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける																																											
授業の目的、概要等 我々の生存を支えている生命現象はきわめて複雑で、それにはタンパク質、糖質、脂質、核酸などの多種類の物質が関わっています。それらの物質の中で生命現象の直接的な担い手であるタンパク質に注目が集まっています。21世紀はタンパク質の時代ともてはやされて、この10年間で大型のプロジェクトが活発に推進されました。この授業ではタンパク質研究におけるX線、核磁気共鳴（NMR）、赤外線という電磁波の活用に焦点を当てます。これらの光を活用するために、フーリエ変換という数学的な手法について知り、タンパク質科学の「光と影」について理解を深めます。																																											
授業の到達目標 授業に関するテーマを見つけて、そのテーマについて理解を深める																																											
授業計画 <table><tr><td>回</td><td>日付</td><td>時刻</td><td>講義室</td><td>担当教員</td></tr><tr><td>1</td><td>6/6</td><td>10:05-10:55</td><td>共用セミナー室1</td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>2</td><td>6/13</td><td>10:05-10:55</td><td>共用セミナー室1</td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>3</td><td>6/20</td><td>10:05-10:55</td><td>共用セミナー室1</td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>4</td><td>6/27</td><td>10:05-10:55</td><td>共用セミナー室1</td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>5</td><td>7/4</td><td>10:05-10:55</td><td>共用セミナー室1</td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>6</td><td>7/11</td><td>10:05-10:55</td><td>共用セミナー室1</td><td>奈良 雅之</td></tr><tr><td>7</td><td>7/18</td><td>10:05-10:55</td><td>共用セミナー室1</td><td>奈良 雅之</td></tr></table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	6/6	10:05-10:55	共用セミナー室1	奈良 雅之	2	6/13	10:05-10:55	共用セミナー室1	奈良 雅之	3	6/20	10:05-10:55	共用セミナー室1	奈良 雅之	4	6/27	10:05-10:55	共用セミナー室1	奈良 雅之	5	7/4	10:05-10:55	共用セミナー室1	奈良 雅之	6	7/11	10:05-10:55	共用セミナー室1	奈良 雅之	7	7/18	10:05-10:55	共用セミナー室1	奈良 雅之
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																							
1	6/6	10:05-10:55	共用セミナー室1	奈良 雅之																																							
2	6/13	10:05-10:55	共用セミナー室1	奈良 雅之																																							
3	6/20	10:05-10:55	共用セミナー室1	奈良 雅之																																							
4	6/27	10:05-10:55	共用セミナー室1	奈良 雅之																																							
5	7/4	10:05-10:55	共用セミナー室1	奈良 雅之																																							
6	7/11	10:05-10:55	共用セミナー室1	奈良 雅之																																							
7	7/18	10:05-10:55	共用セミナー室1	奈良 雅之																																							
授業方法 講義形式を予定していますが、履修人数が少ない場合は、希望に応じて、セミナー形式に変更することができます。履修人数が多い場合にも、文献や指定課題について事前に調べてディスカッションするなど、アクティブラーニングを取り入れます。特に3年生の皆さんには積極的に参加してほしいと思います。																																											
授業内容 21世紀はタンパク質の時代ともてはやされて、この18年間で大型のプロジェクトが活発に推進されましたが、その光と影に迫ってみたいと考えます。科学的な知識として、タンパク質構造解析の概略を勉強しますが、実際にこの研究に携わったポスドクの問題など、社会的な視点からも理解を深めます。																																											
成績評価の方法 評価：試験0%・レポート 80% その他（授業への参加度 20%） 再評価：有 授業で習得したことをレポートにまとめることを重視します。																																											
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による																																											
準備学習などについての具体的な指示 予習：配付資料に目を通してください。 復習：興味のあるテーマを見つけたら、それに関する文献や本を調べてください。																																											
試験の受験資格																																											

・定期試験・再試験の受験資格:原則3分の2以上出席
(レポートでもって、定期試験・再試験の代替とする。)

参考書

タンパク質の生命科学：ポスト・ゲノム時代の主役／池内俊彦 著,：中央公論新社, 2001

ポストゲノム時代のタンパク質科学：構造・機能・ゲノミクス／Arthur M.Lesk 著,高木淳一 訳,：化学同人, 2007

入門構造生物学：放射光 X 線と中性子で最新の生命現象を読み解く／高エネルギー加速器研究機構構造生物学研究センター, 加藤龍一 編,：共立出版, 2010

タンパク質の構造と機能：カラー図説／グレゴリー A. ペツコ／著,ダグマール リンゲ／著,横山 茂之／監訳,宮島 郁子／訳,：メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2005

連絡先

nara.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週水曜日 PM.0:00-PM.2:00, 毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4 階

時間割番号	000719				
科目名	主題別選択Ⅱ（植物の科学）				
担当教員	澤野 頼子				
開講時期	前期	対象年次	3		
曜日・時間:木曜日・2 時限 対象学科:医学科・歯学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表1－3)人間の歴史的営みを理解する 別表1－10)現代社会における科学の責任を意識できるようになる					
授業の目的、概要等 植物は地球上のあらゆる生物の生存を支えている。動物の食物として役立つだけでなく、光合成によって大気圏の二酸化炭素を吸収して酸素を供給し、大気環境を保持する役割をもつ。また、人間は、太古に繁殖していた植物の遺体を化石燃料として、医療現場では植物中の有効成分から誘導された医薬品を利用している。本授業では、植物の構造・成長・代謝などに関する基礎的な知識を講義を通して学び、人類と植物との関わりについて考える。					
授業の到達目標 植物を歴史的および科学的側面からとらえ、自分の考えをレポートにまとめる。					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	6/6	10:05-10:55	大学院講義室 3	イントロダクション、植物の歴史と人類との関わり	澤野 頼子
2	6/13	10:05-10:55	大学院講義室 3	植物の構造	澤野 頼子
3	6/20	10:05-10:55	大学院講義室 3	植物の成長	澤野 頼子
4	6/27	10:05-10:55	大学院講義室 3	植物の機能(1)	澤野 頼子
5	7/4	10:05-10:55	大学院講義室 3	植物の機能(2)	澤野 頼子
6	7/11	10:05-10:55	大学院講義室 3	PBL	澤野 頼子
7	7/18	10:05-10:55	大学院講義室 3	発表会	澤野 頼子
授業方法 主に講義形式で行うが、適宜、アクティブラーニング(PBL、課題発表など)を取り入れる。					
授業内容 植物の構造・成長・代謝や人類との関わりについて学ぶ。					
成績評価の方法 評価：試験 0% ・ レポート 80% ・ その他(授業への参加度) 20% 再評価：有					
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による					
準備学習などについての具体的な指示 講義資料(WebClass に掲載)に目を通しておく。 授業で扱った事項について、参考書やインターネット等で知識を整理し、自分なりの考えをまとめる。					
試験の受験資格 定期試験・再試験の受験資格:原則3分の2以上出席 (レポートでもって、定期試験・再試験の代替とする。)					
参考書					

植物生理学／三村徹郎, 鶴見誠二 編著, : 化学同人, 2009 ベーシックマスター 植物生理学／塩井祐三, 井上弘, 近藤矩朗 共編, : オーム社, 2009 植物生理学概論／桜井英博 [ほか] 共著, 桜井, 英博, 柴岡, 弘郎(1934-), 高橋, 陽介, 小関, 良宏, 藤田, 知道(1964-), : 培風館, 2017 新しい植物科学 : 環境と食と農業の基礎／神阪盛一郎, 谷本英一 共編, 神阪, 盛一郎, 1940-, 谷本, 英一, : 培風館, 2010
連絡先 澤野 頼子:sawano.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 澤野 頼子:毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4 階

時間割番号	000729					
科目名	主題別選択Ⅱ（危険物の科学）					
担当教員	勝又 敏行					
開講時期	前期	対象年次	3			
曜日・時間:木曜日 2限 対象学科:医学科、歯学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表1-2)社会制度や仕組みについての基本を理解する 別表1-10)現代社会における科学の責任を意識できるようになる						
授業の目的、概要等 化学物質を扱うために、安全や環境保護など様々な理由から法による規制が行われている。その中で火災予防を目的として危険物が消防法により規定され、その取り扱いの監督者には資格が必要となる。危険物の化学的性質やその火災事例、消火法などを講義形式で紹介していく。最後にグループ討論を行い安全について議論してもらう。						
授業の到達目標 危険物の安全な取扱方法を理解する。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	6/6	10:05-10:55	大学院講義室 2	関係法令	化学物質に関わる法律など	勝又 敏行
2	6/13	10:05-10:55	大学院講義室 2	危険物とは何か	消防法で規定される危険物とは	勝又 敏行
3	6/20	10:05-10:55	大学院講義室 2	消火法について	危険物の消火法	勝又 敏行
4	6/27	10:05-10:55	大学院講義室 2	第1類～第2類の性質、事故事例等	第1、2類の性質等を事故事例を交えて紹介	勝又 敏行
5	7/4	10:05-10:55	大学院講義室 2	第3類～第4類の性質、事故事例等	第3、4類の性質等を事故事例を交えて紹介	勝又 敏行
6	7/11	10:05-10:55	大学院講義室 2	第5類～第6類の性質、事故事例等	第5、6類の性質等を事故事例を交えて紹介	勝又 敏行
7	7/18	10:05-10:55	大学院講義室 2	グループ討論	グループで危険物取り扱い等に関する討論を行う。	勝又 敏行
授業方法 講義形式 一部アクティブラーニングを取り入れる。						
授業内容 1. 関係法令 2. 危険物とは何か 3. 消火法について 4. 第1類～第2類の性質、事故事例等 5. 第3類～第4類の性質、事故事例等 6. 第5類～第6類の性質、事故事例等 7. グループ討論						
成績評価の方法 評価:試験 0%、レポート 50%、出席、授業への参加度(グループ討論などを含む)等 50% レポートの内容および授業への参加度を考慮し、以上の通りとする。						
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による						
準備学習などについての具体的な指示 講義で興味を持った項目について調べ、次の授業に臨んでください。						
参考書						

基礎火災現象原論／James G.Quintiere 著,大宮喜文, 若月薫 訳,:共立出版, 2009

連絡先

勝又 敏行:katsumata.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

勝又 敏行:毎週金曜日 12:00-13:00 ヒポクラテス 2 階化学実験準備室

時間割番号	000730																																										
科目名	主題別選択Ⅱ（老化と寿命）																																										
担当教員	服部 淳彦																																										
開講時期	前期	対象年次	3																																								
・曜日・時間：木曜2限 ・対象学科：医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー） 1－5）人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る。 1－10）現代社会における科学の責任を意識できるようになる。																																											
授業の目的、概要等 「生あるものは必ず死を迎える」というが、果たして本当であろうか。生物学的に言えば、NOである。細菌などの原核生物は無限に分裂を繰り返し、生き延びることができるのである。一方、我々ヒトを含めた有性生殖を行う動物は、どんなに環境を整えても必ず死が訪れる。この授業では、「老化」に焦点を当て、老化の原因と老化に関連した病気についてはじめに解説した後、セミナー形式で各自に発表してもらう。なお、発表内容に関しては、適宜アドバイスをを行う。																																											
授業の到達目標 生命科学のトピックスについて理解し、説明することができる。																																											
授業計画 <table><tr><td>回</td><td>日付</td><td>時刻</td><td>講義室</td><td>担当教員</td></tr><tr><td>1</td><td>6/6</td><td>10:05-10:55</td><td>共用セミナー室 10</td><td>服部 淳彦</td></tr><tr><td>2</td><td>6/13</td><td>10:05-10:55</td><td>共用セミナー室 10</td><td>服部 淳彦</td></tr><tr><td>3</td><td>6/20</td><td>10:05-10:55</td><td>共用セミナー室 10</td><td>服部 淳彦</td></tr><tr><td>4</td><td>6/27</td><td>10:05-10:55</td><td>共用セミナー室 10</td><td>服部 淳彦</td></tr><tr><td>5</td><td>7/4</td><td>10:05-10:55</td><td>共用セミナー室 10</td><td>服部 淳彦</td></tr><tr><td>6</td><td>7/11</td><td>10:05-10:55</td><td>共用セミナー室 10</td><td>服部 淳彦</td></tr><tr><td>7</td><td>7/18</td><td>10:05-10:55</td><td>共用セミナー室 10</td><td>服部 淳彦</td></tr></table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	6/6	10:05-10:55	共用セミナー室 10	服部 淳彦	2	6/13	10:05-10:55	共用セミナー室 10	服部 淳彦	3	6/20	10:05-10:55	共用セミナー室 10	服部 淳彦	4	6/27	10:05-10:55	共用セミナー室 10	服部 淳彦	5	7/4	10:05-10:55	共用セミナー室 10	服部 淳彦	6	7/11	10:05-10:55	共用セミナー室 10	服部 淳彦	7	7/18	10:05-10:55	共用セミナー室 10	服部 淳彦
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																							
1	6/6	10:05-10:55	共用セミナー室 10	服部 淳彦																																							
2	6/13	10:05-10:55	共用セミナー室 10	服部 淳彦																																							
3	6/20	10:05-10:55	共用セミナー室 10	服部 淳彦																																							
4	6/27	10:05-10:55	共用セミナー室 10	服部 淳彦																																							
5	7/4	10:05-10:55	共用セミナー室 10	服部 淳彦																																							
6	7/11	10:05-10:55	共用セミナー室 10	服部 淳彦																																							
7	7/18	10:05-10:55	共用セミナー室 10	服部 淳彦																																							
授業方法 セミナー形式による（各自に発表してもらう）。したがって、募集人数は15名をMAXとする。																																											
授業内容 老化現象と老化の原因（概要） 骨の老化 皮膚の老化 脳の老化 血管の老化 老化と遺伝子 抗加齢医学																																											
成績評価の方法 評価：その他 100% 平常点（参加度）と発表点による。病気以外では、全出席を前提とする。 再評価：有																																											
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。																																											
準備学習などについての具体的な指示 主題科目の内容と関連のある書物を多数読むこと。																																											
連絡先 服部 淳彦:ahattori.las@tmd.ac.jp																																											
オフィスアワー 服部 淳彦:毎週 水曜:12:30～14:00 金曜:10:30～12:30 ヒポ 4F 教員研究室(A2)																																											

時間割番号	000708			
科目名	主題別選択Ⅱ（環境への適応）			
担当教員	伊藤 正則			
開講時期	前期	対象年次	3	
・曜日・時間: 木曜 2 限 ・対象学科: 医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表 1-8)自己の心と体を管理する能力を獲得する。 別表 2-4)自己問題提起・解決型の学習方法を身につける。				
授業の目的、概要等				
外部環境から刺激を受容したとき、同種の生物ではほぼ定型的な反応を示す。この授業では、刺激を受容してから反応が起こるまでの過程とその反応を制御するメカニズムを器官、組織、細胞、分子レベルで理解することを目的とする。また、基本的な知識を活用して論理的に考え、その考えを解り易く説明する技術を向上させることと、研究テーマと目的を設定し、目的を達成するための実験を立案する技術を習得することを目指す。主に、生物の環境適応を対象とする最近の研究論文を教材として用いる。				
授業の到達目標				
1)生体の基本構造を説明することができる。 2)生体の構造と関連させて、基本的な機能を説明することができる。 3)知識を活用して論理的に考え、その考えを解り易く説明することができる。 4)研究テーマと目的を設定し、目的を達成するための実験を計画することができる。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	6/6	10:05-10:55	共用講義室 2	伊藤 正則
2	6/13	10:05-10:55	共用講義室 2	伊藤 正則
3	6/20	10:05-10:55	共用講義室 2	伊藤 正則
4	6/27	10:05-10:55	共用講義室 2	伊藤 正則
5	7/4	10:05-10:55	共用講義室 2	伊藤 正則
6	7/11	10:05-10:55	共用講義室 2	伊藤 正則
7	7/18	10:05-10:55	共用講義室 2	伊藤 正則
授業方法				
講義形式による。ただし、履修者の希望によってはセミナー形式等で行う。毎回、コメントシートに疑問点などを記述し、提出する。次週の授業で説明する。				
授業内容				
生物が刺激を受容してから反応が起こるまでの過程とその反応を制御するメカニズムを器官、組織、細胞、分子レベルで説明する。主に、最近の研究論文(生物の環境適応に関する論文)を教材として用いて、発想から目的の設定、目的を達成するための実験計画の立案、結果を整理する方法及び考察での論理展開を重視して説明する。				
成績評価の方法				
評価:試験 0%・レポート 100%・授業への参加度 0% 再評価:有				
成績評価の基準				
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表 2」による。				
準備学習などについての具体的な指示				
予習では予め配布した参考資料を読んでおくこと。復習では授業内容を参考にして、研究テーマを設定し、研究目的を達成するための実験計画を立案すること。				
試験の受験資格				
2/3 以上出席したものにレポートを提出することができる資格を与える。				
教科書				
資料を配布する。				
参考書				

Molecular biology of the cell／Bruce Alberts, Alexander Johnson, Julian Lewis, David Morgan, Martin Raff, Keith Roberts, Peter Walter,with problems by John Wilson, Tim Hunt,: Garland Science, Taylor and Francis Group, 2015 ヒューマンバイオロジー：人体と生命／シルビア・S.メイダー 著,坂井建雄, 岡田隆夫 監訳,坂井建雄, 橋本尚詞, 小林靖, 渡邊卓, 貞森直樹, 岡田隆夫, 中谷敬 訳,:医学書院, 2005 はじめの一步のイラスト生理学：はじめて学ぶ人のための目で見える教科書／照井直人 編,:羊土社, 2012
履修上の注意事項 出欠管理システムで出欠を記録する。
連絡先 伊藤 正則:itohmt.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 伊藤 正則:毎週月曜日 AM.10:00-PM.2:00 ヒポクラテスホール4階生物学教員研究室

時間割番号	000732			
科目名	主題別選択Ⅱ（民主主義を再考する）			
担当教員	藤井 達夫			
開講時期	前期	対象年次	3	
曜日・時間： 木曜 2 限 対象学科： 医・歯学科 募集人数： 25 人 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)1-1)、1-2)、1-3)、1-4)、1-5)、1-7)、1-9)、2-4)、3-5)				
授業の目的、概要等				
私たちの誰もが民主主義は私たちの社会のあり方——医療制度を含め——を決定する重要な政治の理念であり、制度であると認めます。しかしながら、民主主義の内実をしっかり理解している人はどれほどいるのでしょうか。また、民主主義にもとづいて行われている今の政治をどれほどの人が信頼し、満足しているのでしょうか。民主主義の理念と制度の基礎を押さえつつ、今年度は、平成の時代を振り返り、現在の日本の民主主義が機能不全に陥った原因について検討します。そしてポスト平成の時代の政治はどうあるべきかについて議論することで、これからの私たちの社会を立て直す道筋を履修生の皆さんと一緒に考えます。				
授業の到達目標				
(1)民主主義理論の基本的な理解を習得し、現代の社会が抱える問題について議論することができる。 (2)人権、社会的公正さといった規範的な視点から現代社会のあるべき姿について検討し、議論することができる。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	6/6	10:05-10:55	共用セミナー室 11	藤井 達夫
2	6/13	10:05-10:55	共用セミナー室 11	藤井 達夫
3	6/20	10:05-10:55	共用セミナー室 11	藤井 達夫
4	6/27	10:05-10:55	共用セミナー室 11	藤井 達夫
5	7/4	10:05-10:55	共用セミナー室 11	藤井 達夫
6	7/11	10:05-10:55	共用セミナー室 11	藤井 達夫
7	7/18	10:05-10:55	共用セミナー室 11	藤井 達夫
授業方法				
講義形式と授業内での質疑応答。ただし、履修者の人数によっては、セミナー形式をとる場合もあります。				
授業内容				
第 1 回 今回の政治に満足か？ 第 2 回 民主主義の起源——古代アテナイの民主主義 第 3 回 近代民主主義①——国民主権 第 4 回 近代民主主義②——代表制度 第 5 回 平成の民主主義の機能不全とその原因①——ポスト工業化社会、新自由主義、格差社会 第 6 回 平成の民主主義の機能不全とその原因②——平成の政治改革と第二次安倍政権 第 7 回 ポピュリズムに代わる選択肢——ポスト平成の時代の民主主義を構想する ※以上の授業計画には、変更の可能性があります。				
成績評価の方法				
評価： レポート 80% ・ その他(授業での取り組み) 20% 再評価： 有(再評価方法)レポート				
成績評価の基準				
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による				
準備学習などについての具体的な指示				
必要があれば、授業内で適宜、指示します。				
教科書				
藤井達夫『平成の正体』(イースト新書、2018 年)				
参考書				
ジョージ・オーウェル『一九八四年』(ハヤカワ epi 文庫、2009 年)				

齋藤純一『不平等を考える』(ちくま新書、2017 年)

水島治郎『ポピュリズムとは何か』(中公新書、2016 年)

S.レビツキー、D.ジブラット『民主主義の死に方』(新潮社、2018 年)

履修上の注意事項

出欠・遅刻の扱いについては、該当する規則に従います。ただし、教員自身が出欠を取る場合もあります。

時間割番号	000733			
科目名	主題別選択Ⅱ（英語で学ぶヒトの脳と言語）			
担当教員	時本 楠緒子			
開講時期	前期	対象年次	3	
曜日・時間： 木曜・2 限(10:05-10:55)				
対象学科： 医・歯学科				
募集人数： 25 人				
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):別表 1-1) 言語を通じた人間の創造的営みを理解する。 別表 1-7) 人間の心への理解を深める。 別表 2-3) 言語活動や社会現象を科学的に分析するための方法を知る。				
授業の目的、概要等				
地球上でヒトだけが言語を持ちます。この講義では、世界で使用されている代表的な神経科学の教科書を資料として、言語を可能にするヒトの脳構造を概観し、子どもの言語獲得と発達から臨界期仮説を学びます。また、様々な動物の音声コミュニケーションとヒト言語の比較研究から得られた、言語の生物学的起源についての知見を紹介します。講義は英語資料に基づき、日本語と英語で行います。				
授業の到達目標				
(1) 言語機能を担うヒトの脳構造について理解する。(2) 言語の生物学的起源に関する知見に触れる。(3) 言語の脳科学研究における研究手法を学ぶ。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	6/6	10:05-10:55	共用セミナー室 3	時本 楠緒子
2	6/13	10:05-10:55	共用セミナー室 3	時本 楠緒子
3	6/20	10:05-10:55	共用セミナー室 3	時本 楠緒子
4	6/27	10:05-10:55	共用セミナー室 3	時本 楠緒子
5	7/4	10:05-10:55	共用セミナー室 3	時本 楠緒子
6	7/11	10:05-10:55	共用セミナー室 3	時本 楠緒子
7	7/18	10:05-10:55	共用セミナー室 3	時本 楠緒子
授業方法				
初回は講義を行うが、以降は学生による論文紹介と討論を行う。				
授業内容				
6 月 13 日 Overview of the human brain 6 月 20 日 Language circuits in the brain 6 月 27 日 Critical period for language learning 7 月 4 日 Second-language and sign language 7 月 11 日 Animal behavior similar to language 7 月 18 日 Comparison between bird song and human language 7 月 25 日 Comparison between behavior of primates and human language				
成績評価の方法				
評価：試験 0 % ・ レポート(英語) 60 % ・ その他(論文紹介) 40 %				
再評価： 有(レポート提出)				
成績評価の基準				
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による				
準備学習などについての具体的な指示				
教科書				
指定しない				

参考書

Principles of Neural Science, Fifth Edition, Eric R. Kandel et al., 2013 McGraw-Hill. その他、講義中に随時紹介します。

履修上の注意事項

レポート提出の資格は、原則として授業回数の 2/3 以上の出席とします。出欠は、リアクションペーパーの提出により確認します。

時間割番号	000868			
科目名	主題別選択Ⅱ（Understanding Language and Society）			
担当教員	DAVID CANNEL			
開講時期	前期	対象年次	3	
授業の目的、概要等				
Language is more than just a tool to communicate ideas or a skill to learn, such as speaking a foreign language. Modern thinkers have shown that language is primarily responsible for the creation of the social realities and imaginative worlds we live in. In this course we will read and discuss the writings of such thinkers, which enlarge our conception of language and the role it plays in modern life.				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	6/6	10:05-10:55	医学科演習室 5－1, 医学科演習室 5－2	DAVID CANNEL
2	6/13	10:05-10:55	医学科演習室 5－1, 医学科演習室 5－2	DAVID CANNEL
3	6/20	10:05-10:55	医学科演習室 5－1, 医学科演習室 5－2	DAVID CANNEL
4	6/27	10:05-10:55	医学科演習室 5－1, 医学科演習室 5－2	DAVID CANNEL
5	7/4	10:05-10:55	医学科演習室 5－1, 医学科演習室 5－2	DAVID CANNEL
6	7/11	10:05-10:55	医学科演習室 5－1, 医学科演習室 5－2	DAVID CANNEL
7	7/18	10:05-10:55	医学科演習室 5－1, 医学科演習室 5－2	DAVID CANNEL
8	7/25	10:05-10:55	医学科演習室 5－1, 医学科演習室 5－2	DAVID CANNEL
授業方法				
There is a strong expectation that each student will make every effort to contribute to class discussion. This is critical to the success of the whole course. Please come prepared to be a part of the conversation. *Each unexcused absence will affect the student's overall course grade.				
成績評価の方法				
評価：レポート 80％・その他(授業での取り組み) 20％				
再評価：有(再評価方法)レポート				
成績評価の基準				
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による				
準備学習などについての具体的な指示				
必要があれば、授業内で適宜、指示します。				
教科書				
Most texts will be available as email attachments or handouts.				
備考				
クラス討論は英語				
教材は英語				
Notebook, A-5 size				

時間割番号	000918			
科目名	主題別選択Ⅱ（生命科学と医学）			
担当教員	石野 史敏			
開講時期	前期	対象年次	3	
・曜日・時間：木曜2限 ・対象学科：医学科・歯学科				
授業の目的、概要等				
難治疾患研究所は、難治疾患をその学理と応用の研究により克服し、人々の健康と社会の福祉に貢献することを理念とします。本研究所では、がん・感染症・生活習慣病など様々な難治疾患を対象として、再生医療・核酸医薬など最新の技術を駆使して基礎医学研究に取り組んでいます。 本授業では、各回、異なる教員がそれぞれ専門の話題を提供し、最前線の研究に触れてもらうことを目的とします。医療現場を意識した基礎研究を紹介します。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	6/6	10:05-10:55		伊藤 暢聡
2	6/13	10:05-10:55		西村 栄美
3	6/20	10:05-10:55		鐔田 武志
4	6/27	10:05-10:55		村松 正明
5	7/4	10:05-10:55		三木 義男
6	7/11	10:05-10:55		仁科 博史
7	7/18	10:05-10:55		稲澤 譲治
授業方法				
成績評価の基準				
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。				
準備学習などについての具体的な指示				

主題別人文社会科学セミナー・講義

●医学科・歯学科(3年生):主題別人文社会科学セミナー・講義スケジュール

			3時限(11:10～12:00)																													
			文化			生命			言語			制度			時間																	
月日	曜日		A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C															
4月4日	木	1	オリエンテーション(医学科講義室2)			オリエンテーション(大学院講義室2)			オリエンテーション(第4ゼミナール室)			オリエンテーション(大学院講義室3)			オリエンテーション(共用講義室2)																	
4月11日	木	2	(共用ゼミナー⑪)	(大学院講義室③)	(医療と社会 共用講義室2)	(大学院講義室②)	(医療と社会 共用講義室2)	(共用ゼミナー⑦)	(大学院講義室③)	(医療と社会 共用講義室2)	(共用ゼミナー⑩)	(大学院講義室③)	(医療と社会 共用講義室2)	(共用ゼミナー⑫)	(大学院講義室③)	(医療と社会 共用講義室2)	(共用ゼミナー⑫)															
4月18日	木	3																														
4月25日	木	4																														
5月9日	木	5																														
5月16日	木	6																														
5月23日	木	7	(共用講義室2)	(共用ゼミナー⑪)	(大学院講義室③)	(共用講義室2)	(大学院講義室②)	(大学院講義室③)	(医療と社会 共用講義室2)	(共用ゼミナー⑦)	(大学院講義室③)	(共用講義室2)	(共用ゼミナー⑩)	(大学院講義室③)	(共用講義室2)	(共用ゼミナー⑫)	(大学院講義室③)															
5月30日	木	8																														
6月6日	木	1																														
6月13日	木	2																														
6月20日	木	3																														
6月27日	木	4	(共用講義室2)	(共用ゼミナー⑪)	(大学院講義室③)	(共用講義室2)	(大学院講義室②)	(大学院講義室③)	(医療と社会 共用講義室2)	(共用ゼミナー⑦)	(大学院講義室③)	(共用講義室2)	(共用ゼミナー⑩)	(大学院講義室③)	(共用講義室2)	(共用ゼミナー⑫)	(大学院講義室③)															
7月4日	木	5																														
7月11日	木	6																														
7月18日	木	7																														
9月5日	木	予備																														
予備日(1限:9:00～9:50)																																
9月26日	木	1	(大学院講義室③)	(医療と社会※)	(共用ゼミナー⑪)	(大学院講義室③)	(医療と社会※)	(共用ゼミナー⑥)	(大学院講義室③)	(医療と社会※)	(共用ゼミナー⑦)	(大学院講義室③)	(医療と社会※)	(共用ゼミナー⑩)	(大学院講義室③)	(医療と社会※)	(共用ゼミナー⑫)															
10月3日	木	2																														
10月10日	木	3																														
10月24日	木	4																														
10月31日	木	5																														
11月7日	木	6	(共用講義室2)	(共用ゼミナー⑪)	(大学院講義室③)	(共用講義室2)	(大学院講義室②)	(共用ゼミナー⑥)	(共用講義室2)	(医療と社会※)	(共用ゼミナー⑦)	(共用講義室2)	(医療と社会※)	(共用ゼミナー⑩)	(共用講義室2)	(医療と社会※)	(共用ゼミナー⑫)															
11月14日	木	7																														
11月21日	木	1																総括ゼミナー(医学科講義室2)			総括ゼミナー(大学院講義室2)			総括ゼミナー(第4ゼミナール室)			総括ゼミナー(アクティブラーニングルーム)			総括ゼミナー(共用講義室2)		
11月28日	木	2																合同総括ゼミナー(医学科講義室2)			総括ゼミナー(大学院講義室2)			総括ゼミナー(第4ゼミナール室)			総括ゼミナー(大学院講義室3)			総括ゼミナー(共用講義室2)		
12月5日	木	3																総括ゼミナー(医学科講義室2)			総括ゼミナー(大学院講義室2)			総括ゼミナー(第4ゼミナール室)			総括ゼミナー(大学院講義室3)			総括ゼミナー(共用講義室2)		
12月12日	木	4	総括ゼミナー(医学科講義室2)			総括ゼミナー(大学院講義室2)			合同総括ゼミナー(第4ゼミナール室)			総括ゼミナー(アクティブラーニングルーム)			総括ゼミナー(共用講義室2)																	
12月19日	木	5	総括ゼミナー(医学科講義室2)			総括ゼミナー(大学院講義室2)			総括ゼミナー(第4ゼミナール室)			総括ゼミナー(アクティブラーニングルーム)			総括ゼミナー(共用講義室2)																	
1月9日	木	6	総括ゼミナー(医学科講義室2)			総括ゼミナー(大学院講義室2)			総括ゼミナー(第4ゼミナール室)			総括ゼミナー(アクティブラーニングルーム)			総括ゼミナー(共用講義室2)																	
1月16日	木	7	総括ゼミナー(医学科講義室2)			総括ゼミナー(大学院講義室2)			総括ゼミナー(第4ゼミナール室)			総括ゼミナー(アクティブラーニングルーム)			総括ゼミナー(共用講義室2)																	
1月23日	木	8	総括ゼミナー(医学科講義室2)			総括ゼミナー(大学院講義室2)			総括ゼミナー(第4ゼミナール室)			総括ゼミナー(アクティブラーニングルーム)			総括ゼミナー(共用講義室2)																	
1月30日	木	予備	予備日(医学科講義室2)			予備日(大学院講義室2)			予備日(第4ゼミナール室)			予備日(アクティブラーニングルーム)			予備日(共用講義室2)																	

※ 10月24日、11月7日の「医療と社会」は、共用講義室2から医学科講義室2へ変更します。

時間割番号	000801			
科目名	人文社会科学講義（医療と社会）			
担当教員	藤井 達夫			
開講時期	通年	対象年次	3	
曜日・時間： 木曜 3 限				
対象学科： 医・歯学科				
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 1-2)、1-3)、1-4)、1-5)、1-9)、1-10)				
授業の目的、概要等				
巨大化し複雑化した現代の社会は、政治や経済、教育など、相対的に自律した諸システムから構成され、それらの相互作用によって機能しています。この授業では、医療およびそれを支える制度を社会システムの一つとして理解することで、その特徴や、それが抱える問題について検討します。今年度は引き続き、日本の病院制度や医療保険制度の歴史に加え、脱病院時代の医療に焦点を当てます。				
授業の到達目標				
(1)社会を構成する諸システムのの一つとして医療を理解し、政治や経済などの他の諸システムとの関係からそのあり方を分析することができる。				
(2)社会システムとしての医療およびそれを支える諸制度の歴史と仕組みを理解した上で、現在の医療が抱える問題点・課題を発見し、その解決策について議論することができる。				
(3)これまでに学んだ知識や獲得した視野と、総括セミナーでの思考の深化とを架橋することができる。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/4	11:10-12:00	医学科講義室 2,大学院講義室 2,第 4 ゼミナール室,大学院講義室 3,共用講義室 2	藤井 達夫
2	4/11	11:10-12:00	共用講義室 2	藤井 達夫
3	4/18	11:10-12:00	共用講義室 2	藤井 達夫
4	4/25	11:10-12:00	共用講義室 2	藤井 達夫
5	5/9	11:10-12:00	共用講義室 2	藤井 達夫
6	5/16	11:10-12:00	共用講義室 2	藤井 達夫
7	5/23	11:10-12:00	共用講義室 2	藤井 達夫
8	5/30	11:10-12:00	共用講義室 2	藤井 達夫
9	6/6	11:10-12:00	共用講義室 2	藤井 達夫
10	6/13	11:10-12:00	共用講義室 2	藤井 達夫
11	6/20	11:10-12:00	共用講義室 2	藤井 達夫
12	6/27	11:10-12:00	共用講義室 2	藤井 達夫
13	7/4	11:10-12:00	共用講義室 2	藤井 達夫
14	7/11	11:10-12:00	共用講義室 2	藤井 達夫
15	7/18	11:10-12:00	共用講義室 2	藤井 達夫
16	9/26	11:10-12:00	共用講義室 2	藤井 達夫
17	10/3	11:10-12:00	共用講義室 2	藤井 達夫
18	10/10	11:10-12:00	共用講義室 2	藤井 達夫
19	10/24	11:10-12:00	医学科講義室 2	藤井 達夫
20	10/31	11:10-12:00	共用講義室 2	藤井 達夫
21	11/7	11:10-12:00	医学科講義室 2	藤井 達夫
22	11/14	11:10-12:00	共用講義室 2	藤井 達夫
23	11/21	11:10-12:00		藤井 達夫
24	11/28	11:10-12:00		藤井 達夫
25	12/5	11:10-12:00		藤井 達夫
26	12/12	11:10-12:00		藤井 達夫

27	12/19	11:10-12:00		藤井 達夫
28	1/9	11:10-12:00		藤井 達夫
29	1/16	11:10-12:00		藤井 達夫
30	1/23	11:10-12:00		藤井 達夫
授業方法				
講義形式と授業内での質疑応答				
授業内容				
第1回 医療化された社会とその批判——医原病と脱医療化社会の試み				
第2回 社会システムとしての医療——パーソンズを中心に				
第3回 病院医学の誕生——フーコーおよびアッカークネヒトを中心に				
第4回 日本の医療制度の特徴(1)——病院				
第5回 日本の医療制度の特徴(2)——医療保険				
第6回 脱病院時代の医療——地域包括ケアシステム				
第7回 まとめと試験				
※以上の授業計画には、変更の可能性があります。				
成績評価の方法				
評価：試験 80% ・ その他(授業での取り組み) 20%				
再評価：有(再評価方法)レポート				
成績評価の基準				
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による				
準備学習などについての具体的な指示				
必要があれば、授業内で適宜、指示します。				
教科書				
教科書は使用しません。				
参考書				
イヴァン・イリイチ『脱病院化社会』(晶文社、1998年)				
ミシェル・フーコー『臨床医学の誕生』(みすず書房、1969年)				
E.H.アッカークネヒト『パリ、病院医学の誕生』(みすず書房、2012年)				
J.C.キャンベル、池上直己『日本の医療』(中公新書、1996年)				
広井良典『医療保険改革の構想』(日本経済新聞社、1997年)				
猪飼周平『病院の世紀の理論』(有斐閣、2010年)				
真野俊樹『比較医療政策』(ミネルヴァ書房、2013年)				
島崎謙治『日本の医療——制度と政策——』(東京大学出版会、2011年)				
二木 立『地域包括ケアと地域医療連携』(勁草書房、2015年)				
履修上の注意事項				
出欠・遅刻の扱いについては、該当する規則に従います。ただし、教員自身が出欠を取る場合もあります。				

時間割番号	000802			
科目名	人文社会科学講義（医療と法）			
担当教員	飛田 綾子			
開講時期	通年	対象年次	3	
曜日・時間： 木曜 3 限(11 時 10 分から 12 時まで)				
対象学科：医学部医学科・歯学部歯学科				
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)：別表 1-2) 社会制度や仕組みについての基本を理解する。1-4)異なる空間の文化を理解する。1-9)市民としての倫理観を養う。				
授業の目的、概要等				
いま日本の社会保障は重大な岐路に立っています。増大する医療費、年金制度への不安、貧困層の拡大、労働環境の悪化、育児環境の不整備など様々な問題が指摘される一方で、財政赤字の増大も度々ニュースになっています。こうした問題への適切な処方箋とはいかなるものでしょうか。その答えを導き出すための知識をこの授業では提示したいと思います。具体的には、そもそも社会保障の目的や機能とはなにか、といった議論からはじめ、日本の社会保障の具体的制度の概要、現在政府が推進している社会保障改革の概要などを説明します。適宜、アメリカやドイツなど他国との比較的視点も盛り込みつつ、日本の抱える問題点について考えます。				
授業の到達目標				
(1)国民皆保険・皆年金を実現している日本の社会保障制度と、日本国憲法とのつながりを理解する。(2)各々の社会保障制度が抱えている問題を、財政や制度内の不平等など多角的側面から考察し、説明できるようになる。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/4	11:10-12:00	医学科講義室 2,大学院講義室 2,第 4 ゼミナール室,大学院講義室 3,共用講義室 2	飛田 綾子
2	4/11	11:10-12:00	大学院講義室 3	飛田 綾子
3	4/18	11:10-12:00	大学院講義室 3	飛田 綾子
4	4/25	11:10-12:00	大学院講義室 3	飛田 綾子
5	5/9	11:10-12:00	大学院講義室 3	飛田 綾子
6	5/16	11:10-12:00	大学院講義室 3	飛田 綾子
7	5/23	11:10-12:00	大学院講義室 3	飛田 綾子
8	5/30	11:10-12:00	大学院講義室 3	飛田 綾子
9	6/6	11:10-12:00	大学院講義室 3	飛田 綾子
10	6/13	11:10-12:00	大学院講義室 3	飛田 綾子
11	6/20	11:10-12:00	大学院講義室 3	飛田 綾子
12	6/27	11:10-12:00	大学院講義室 3	飛田 綾子
13	7/4	11:10-12:00	大学院講義室 3	飛田 綾子
14	7/11	11:10-12:00	大学院講義室 3	飛田 綾子
15	7/18	11:10-12:00	大学院講義室 3	飛田 綾子
16	9/26	11:10-12:00	大学院講義室 3	飛田 綾子
17	10/3	11:10-12:00	大学院講義室 3	飛田 綾子
18	10/10	11:10-12:00	大学院講義室 3	飛田 綾子
19	10/24	11:10-12:00	大学院講義室 3	飛田 綾子
20	10/31	11:10-12:00	大学院講義室 3	飛田 綾子
21	11/7	11:10-12:00	大学院講義室 3	飛田 綾子
22	11/14	11:10-12:00	大学院講義室 3	飛田 綾子
23	11/21	11:10-12:00		飛田 綾子

24	11/28	11:10-12:00		飛田 綾子
25	12/5	11:10-12:00		飛田 綾子
26	12/12	11:10-12:00		飛田 綾子
27	12/19	11:10-12:00		飛田 綾子
28	1/9	11:10-12:00		飛田 綾子
29	1/16	11:10-12:00		飛田 綾子
30	1/23	11:10-12:00		飛田 綾子
授業方法 教員が作成したレジュメをもとに、講義形式で行います。ニュースで伝えられている話題を授業ではより詳しく、時に批判的に取り上げます。そうした情報を踏まえ、社会保障の存在意義や税金の負担への不信感の原因など、具体的問題への自らの考えを述べてもらうアクティブラーニング形式を適宜取り入れます。				
授業内容 第 1 回 社会保障制度の概要（憲法とのかかわり、社会保障の存在意義、海外との比較からみた日本の社会保障の達成度など） 第 2 回 医療保険（制度の概要、強制加入の理由、財政状況など） 第 3 回 年金保険（制度の概要、年金の世代間格差論について） 第 4 回 社会福祉サービス（児童・障害者福祉の概要、子育て支援の具体策、児童虐待に関する医療者の義務など） 第 5 回 公的扶助（生活保護の受給資格、給付内容、不正受給者対策の問題点など） 第 6 回 労働保険（雇用保険と労働災害保険の内容、日本の労働環境の抱える問題点など） 第 7 回 テスト				
成績評価の方法 評価：試験 65 % ・ レポート 0 % ・ その他（アクティブラーニング形式を取り入れた、具体的問題への解決策の論述等）35% 再評価：有（再評価方法：レポート） ・ 無 社会保障に関する基本知識の確実な習得と、社会保障の抱える問題点や改善策の明瞭な説明を重視する。				
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による				
準備学習などについての具体的な指示 社会保障に関するニュースは、財源調達のための消費税率の引き上げや厚労省の統計に関する不祥事など、日々ニュースに取り上げられています。そうしたニュースに敏感になり、授業内容と関連付ける癖をつけてください。これが予習復習となります。こうしたニュースに関しては、リアクションペーパー等で簡単に記述してもらおうと考えています。レジュメを読み直すことも有効です。				
教科書 特に指定しません。				
参考書 権丈善一『ちょっと気になる社会保障 増補版』勁草書房、2017 年。同『ちょっと気になる医療と介護 増補版』勁草書房、2018 年。井出英策『日本財政 転換の指針』岩波新書、2013 年。				
履修上の注意事項 ①出欠管理システムの記録と教員の出欠調査を併用します。②教員の出欠調査は、出席調査票やリアクションペーパーの提出で行います。③3 分の 2 以上の出席を満たさなければ、原則、テストの受験資格を得られません。④代返などの不正行為には厳正に対処します。⑤授業中の教員の発言は積極的にメモを取ってください。				
備考 キーワード：社会保障、日本国憲法、生存権、税、財源、				

時間割番号	000803			
科目名	主題別人文社会科学セミナー（文化と人間）			
担当教員	濱本 真実			
開講時期	通年	対象年次	3	
曜日・時間： 木曜 3 限				
受講資格：「文化と人間」選択者				
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)：				
1-2) 社会制度や仕組みについての基本を理解する				
1-3) 人間の歴史的営みを理解する				
授業の目的、概要等				
セミナーでは「身近な外国文化」をテーマに、履修者が関心のある作品、商品、店舗、建築物、博物館などを紹介してもらい、その文化的、歴史的な背景を考える。後期の総括セミナーでは「文化と人間」という大枠のなかから、各自の関心のあるテーマを自由に探して調べ、討論し、最終的にセミナー論文を仕上げてもらう。				
授業の到達目標				
1. 外国文化の一例を実感を伴って理解することを軸としながら、その国の文化と歴史を広く、深く知る。				
2. わかりやすく面白いプレゼンテーションの技術を習得する。				
3. 論理的で説得力のある論文を書く技術を身につける。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/4	11:10-12:00	医学科講義室 2	濱本 真実
2	4/11	11:10-12:00	共用セミナー室 11	濱本 真実
3	4/18	11:10-12:00	共用セミナー室 11	濱本 真実
4	4/25	11:10-12:00	共用セミナー室 11	濱本 真実
5	5/9	11:10-12:00	共用セミナー室 11	濱本 真実
6	5/16	11:10-12:00	共用セミナー室 11	濱本 真実
7	5/23	11:10-12:00	共用セミナー室 11	濱本 真実
8	5/30	11:10-12:00	共用セミナー室 11	濱本 真実
9	6/6	11:10-12:00	共用セミナー室 11	濱本 真実
10	6/13	11:10-12:00	共用セミナー室 11	濱本 真実
11	6/20	11:10-12:00	共用セミナー室 11	濱本 真実
12	6/27	11:10-12:00	共用セミナー室 11	濱本 真実
13	7/4	11:10-12:00	共用セミナー室 11	濱本 真実
14	7/11	11:10-12:00	共用セミナー室 11	濱本 真実
15	7/18	11:10-12:00	共用セミナー室 11	濱本 真実
16	9/26	11:10-12:00	共用セミナー室 11	濱本 真実
17	10/3	11:10-12:00	共用セミナー室 11	濱本 真実
18	10/10	11:10-12:00	共用セミナー室 11	濱本 真実
19	10/24	11:10-12:00	共用セミナー室 11	濱本 真実
20	10/31	11:10-12:00	共用セミナー室 11	濱本 真実
21	11/7	11:10-12:00	共用セミナー室 11	濱本 真実
22	11/14	11:10-12:00	共用セミナー室 11	濱本 真実
23	11/21	11:10-12:00	医学科講義室 2	濱本 真実
24	11/28	11:10-12:00	医学科講義室 2	濱本 真実
25	12/5	11:10-12:00	医学科講義室 2	濱本 真実
26	12/12	11:10-12:00	医学科講義室 2	濱本 真実
27	12/19	11:10-12:00	医学科講義室 2	濱本 真実
28	1/9	11:10-12:00	医学科講義室 2	濱本 真実
29	1/16	11:10-12:00	医学科講義室 2	濱本 真実

30	1/23	11:10-12:00	医学科講義室 2	濱本 真実	
授業方法					
演習形式					
授業内容					
前期および後期前半の各 A～C 班セミナーでは、最初の授業でプレゼンテーションの組み立て方や、プレゼンテーションに際して注意すべき点について詳しい説明を行ったあと、身近な外国の文化に関して各自の関心に基づいたテーマを設定する。そして、文献資料や映像、画像のほかに、実際に自分で見たり、聞いたり、触れたり、味わったり、といった実体験に基づく調査の結果を交えて、プレゼンテーションをしてもらう。 後期の総括セミナーでは、プレゼンテーションを発展させた形で、或いは、プレゼンテーションでの調査から得た気づきをもとに別のテーマで、全員が論文の構想を発表し、その内容について全員でコメントや討論を行う。					
成績評価の方法					
評価：セミナー論文 60%、発表と討論 20%、授業への参加度 20% 再評価：有(レポート)					
成績評価の基準					
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による					
準備学習などについての具体的な指示					
配布されたプリントをよく読み、プレゼンテーションと討論の準備をすること。					
試験の受験資格					
【セミナー論文の提出資格】原則として、初回オリエンテーションに出席した上で、セミナー(グループ別:7 回)、医療と法(7 回)、医療と社会(7 回)、総括セミナー(全グループ:8 回)のそれぞれについて、3 分の 2 以上の出席があること。※「3 分の 2 以上の出席」とは、授業が 7 回の場合は 5 回以上の出席を、8 回の場合は 6 回以上の出席を意味する。					
教科書					
プリントを配布します。					
参考書					
授業のなかで随時紹介します。					
履修上の注意事項					
出欠については、出欠管理システムの記録と教員がとる出欠とを併用します。					

時間割番号	000804			
科目名	主題別人文社会科学セミナー（生命と人間）			
担当教員	田中 智彦			
開講時期	通年	対象年次	3	
◇ 曜日・時間:木曜 2 限				
◇ 対象学科:医学科・歯学科				
◇ 受講資格:「生命と人間」の主題であること				
◇ 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)				
別表 1-3)人間の歴史的営みを理解する				
別表 1-5)人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る				
別表 1-10)現代社会における科学の責任を意識できるようになる				
授業の目的、概要等				
「論文を書く」とは、ただ自分の意見を書けばよいということではない。ただ自分の意見を書くだけなら、それは「感想文」であり、「ひとりごと」であるにすぎない。「論文を書く」とは、自分の問題関心をめぐり自分自身と「対話する」ことであり、その成果を自分とは違う誰か(読み手)に「送り／贈り届ける」ことである。「論文を書く」のに文献や資料を読み、活用し、また言葉を尽くして論じなければならないのは、その「対話」「送信／贈与」を少しでもよいものに、実り多いものにするためにほかならない。				
この授業では、そのような「論文を書く」ということを実際にやってみる。やってみないとわからないことが多くあるからである。どのように書けばよいのか、どのような文献や資料があるのか、アドバイスをし、サポートもする。それを頼りに、ともかくも「読む」こと「書く」ことを始めるなら、自分が選んだテーマについてだけでなく、自分自身についても、多くの発見をすることができる。				
授業の到達目標				
(1)「生命と人間」という主題に関する自分の問題関心のありかを明らかにする。				
(2)「生命と人間」という主題に関して他にどのような視点・論点があるのかを知る。				
(3)自ら問いを立て、文献・資料にも拠って論証し、その成果をセミナー論文にまとめる。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/4	11:10-12:00	大学院講義室 2	田中 智彦
2	4/11	11:10-12:00	大学院講義室 2	田中 智彦
3	4/18	11:10-12:00	大学院講義室 2	田中 智彦
4	4/25	11:10-12:00	大学院講義室 2	田中 智彦
5	5/9	11:10-12:00	大学院講義室 2	田中 智彦
6	5/16	11:10-12:00	大学院講義室 2	田中 智彦
7	5/23	11:10-12:00	大学院講義室 2	田中 智彦
8	5/30	11:10-12:00	大学院講義室 2	田中 智彦
9	6/6	11:10-12:00	大学院講義室 2	田中 智彦
10	6/13	11:10-12:00	大学院講義室 2	田中 智彦
11	6/20	11:10-12:00	大学院講義室 2	田中 智彦
12	6/27	11:10-12:00	大学院講義室 2	田中 智彦
13	7/4	11:10-12:00	大学院講義室 2	田中 智彦
14	7/11	11:10-12:00	大学院講義室 2	田中 智彦
15	7/18	11:10-12:00	大学院講義室 2	田中 智彦
16	9/26	11:10-12:00	共用セミナー室 6	田中 智彦
17	10/3	11:10-12:00	共用セミナー室 6	田中 智彦
18	10/10	11:10-12:00	共用セミナー室 6	田中 智彦
19	10/24	11:10-12:00	共用セミナー室 6	田中 智彦
20	10/31	11:10-12:00	共用セミナー室 6	田中 智彦
21	11/7	11:10-12:00	共用セミナー室 6	田中 智彦

22	11/14	11:10-12:00	共用セミナー室 6	田中 智彦
23	11/21	11:10-12:00	大学院講義室 2	田中 智彦
24	11/28	11:10-12:00	大学院講義室 2	田中 智彦
25	12/5	11:10-12:00	大学院講義室 2	田中 智彦
26	12/12	11:10-12:00	大学院講義室 2	田中 智彦
27	12/19	11:10-12:00	大学院講義室 2	田中 智彦
28	1/9	11:10-12:00	大学院講義室 2	田中 智彦
29	1/16	11:10-12:00	大学院講義室 2	田中 智彦
30	1/23	11:10-12:00	大学院講義室 2	田中 智彦
授業方法 授業はセミナー形式で進める。受講者は一人一回、セミナー論文でとりあげてみたいテーマについて報告をすることが求められる。授業ではそれをもとに議論をするとともに、参考文献や構成等のアドバイスをを行う。				
授業内容 第 1 回 生命・身体を論じる視点について 第 2-6 回 セミナー論文の構想について報告・議論・アドバイス 第 7 回 論文の書き方について				
成績評価の方法 ◇評価: セミナー論文 70% 授業への参加度 30%(事前課題への取り組み、議論への参加度など) ◇再評価: 有(レポート)				
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表 2」による				
準備学習などについての具体的な指示 受講者は一人一回、セミナー論文でとりあげてみたいテーマについて報告をすることが求められる。授業ではそれをもとに議論をするとともに、参考文献や構成等のアドバイスをを行う。また他の受講者の報告についても、質問・コメント等により積極的に応答することが求められる。こうしたプロセスを経ることで、自分の問題関心が明らかになるとともに、それをより広い文脈の中で考え、検討することができるようになる。そのためにも、準備段階から授業における報告・議論までの能動的な関与と、そこで学んだことの積極的な吸収・応用に努めてもらいたい。				
試験の受験資格 【セミナー論文の提出資格】 原則として、初回オリエンテーションに出席した上で、セミナー(グループ別: 7 回)、医療と法(7 回)、医療と社会(7 回)、総括セミナー(全グループ: 8 回)のそれぞれについて、3 分の 2 以上の出席があること。 ※「3 分の 2 以上の出席」とは、授業が 7 回の場合は 5 回以上の出席を、8 回の場合は 6 回以上の出席を意味する。				
教科書 教科書は用いず、必要な文献・資料はコピーして配布する。				
参考書 参考書等は授業の中で随時紹介する。				
履修上の注意事項 出欠については、出欠管理システムの記録と、教員が毎授業時にとる出欠とを併用する。				
連絡先 田中 智彦: tanaka.las@tmd.ac.jp				
オフィスアワー 田中 智彦: 前期: 毎週月曜日 12:30~13:30 管理研究棟 2 階 哲学研究室 後期: 第 1・第 3 水曜日 12:30~15:00 管理研究棟 2 階 哲学研究室				

時間割番号	000805			
科目名	主題別人文社会科学セミナー（言語と人間）			
担当教員	平井 裕香			
開講時期	通年	対象年次	3	
曜日・時間:木曜3限				
対象学科:医学科・歯学科				
受講資格:「言語と人間」の主題であること				
募集人数:30 人				
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):1-1)言語を通した人間の創造的営みを理解する、1-9)市民としての倫理観を養う、2-3)言語活動や社会現象を科学的に分析するための方法論を知る、2-5)自らテーマを見つけて、調べ、発展させ、論文にまとめる能力を養う、自らの考えを的確に伝えるための基本的な文章表現能力を身につける、3-3)チームの中で、自己の役割を果たす能力を身につける				
授業の目的、概要等				
言語は、人間社会における主要なコミュニケーションの手段である。私たちは言語によって、自分の立場や考えを相手に対して表明し、自分の立場や考えと異なる相手の立場や考えを理解しようと試みる。しかし、立場や考えがそもそも異なっていることが、コミュニケーションの成立を妨げてしまうこともある。互いに他者であるためにコミュニケーションが必要なのだが、互いに他者であることがコミュニケーションの障壁となる。そのような矛盾と困難がコミュニケーションには伴っている。その矛盾と困難に、皆さんは社会で生活する一個人としてはもちろん、医療に従事する者として向き合っていかなければならない。医師と患者、医師とその他の専門を持つ人々の立場や考えの間には、大きな隔たりがあり得るだろう。 以上の問題意識のもと、本授業では言語にかかわる事象を、主にコミュニケーションという観点から考察してゆく。他者との共生に不可欠な、言葉に対する鋭敏な感性を養うと同時に、医師として言葉を発することに、常に付きまとう責任を思いやってもらいたい。また、一年を通して組み立てた自分自身の考えを論文の形にまとめることで、言語によって思考しながらその思考を伝えることの、難しさと達成感を味わってほしいと考えている。				
授業の到達目標				
(1)言語とコミュニケーションへの洞察を深める。				
(2)自分で問題を発見し、解決する能力を養う。				
(3)論文の書き方の基本を身につける。				
(4)他者と論理的な意見交換を行う。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/4	11:10-12:00	第4ゼミナール室	平井 裕香
2	4/11	11:10-12:00	共用セミナー室7	平井 裕香
3	4/18	11:10-12:00	共用セミナー室7	平井 裕香
4	4/25	11:10-12:00	共用セミナー室7	平井 裕香
5	5/9	11:10-12:00	共用セミナー室7	平井 裕香
6	5/16	11:10-12:00	共用セミナー室7	平井 裕香
7	5/23	11:10-12:00	共用セミナー室7	平井 裕香
8	5/30	11:10-12:00	共用セミナー室7	平井 裕香
9	6/6	11:10-12:00	共用セミナー室7	平井 裕香
10	6/13	11:10-12:00	共用セミナー室7	平井 裕香
11	6/20	11:10-12:00	共用セミナー室7	平井 裕香
12	6/27	11:10-12:00	共用セミナー室7	平井 裕香
13	7/4	11:10-12:00	共用セミナー室7	平井 裕香
14	7/11	11:10-12:00	共用セミナー室7	平井 裕香
15	7/18	11:10-12:00	共用セミナー室7	平井 裕香
16	9/26	11:10-12:00	共用セミナー室7	平井 裕香
17	10/3	11:10-12:00	共用セミナー室7	平井 裕香
18	10/10	11:10-12:00	共用セミナー室7	平井 裕香

19	10/24	11:10-12:00	共用セミナー室 7	平井 裕香
20	10/31	11:10-12:00	共用セミナー室 7	平井 裕香
21	11/7	11:10-12:00	共用セミナー室 7	平井 裕香
22	11/14	11:10-12:00	共用セミナー室 7	平井 裕香
23	11/21	11:10-12:00	第 4 セミナール室	平井 裕香
24	11/28	11:10-12:00	第 4 セミナール室	平井 裕香
25	12/5	11:10-12:00	第 4 セミナール室	平井 裕香
26	12/12	11:10-12:00	第 4 セミナール室	平井 裕香
27	12/19	11:10-12:00	第 4 セミナール室	平井 裕香
28	1/9	11:10-12:00	第 4 セミナール室	平井 裕香
29	1/16	11:10-12:00	第 4 セミナール室	平井 裕香
30	1/23	11:10-12:00	第 4 セミナール室	平井 裕香
授業方法 講義、全体での討論、数人のグループでの討論、実習を適宜組み合わせる。また、ほぼ毎週課題を出し、全員が取り組んできたことを前提に、次週の授業を行う。				
授業内容 1) 全体オリエンテーション 【セミナー】 2) オリエンテーション 3) コミュニケーション理論の概説 4) コミュニケーション理論と小説 5) 論文とは何か 6) セミナー論文のテーマの発表1 7) セミナー論文のテーマの発表2 8) 執筆のための基礎調査 【総括セミナー】 9) オリエンテーション 10) 引用 11) アウトライン(構成)1 12) アウトライン(構成)2 13) パラグラフ・ライティング1 14) パラグラフ・ライティング2 15) わかりやすい文章 16) 一年間の総括 なお、各回の授業内容は、受講者の学習状況に即して変更する場合がある。				
成績評価の方法 評価：試験 0% ・ レポート 60% ・ その他(授業への積極的参加(討論での発言、課題への取り組みなど) 40% 再評価：有(再評価方法:レポート) セミナー論文を重視しつつ、執筆プロセスを「授業への積極的参加」で評価する。				
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による				
準備学習などについての具体的な指示 各週の課題に全力で取り組むとともに、その取り組みを授業での討論に活かしてもらいたい。 なお、欠席した場合には、その回のプリントやスライドを次週までによく読んでおくこと。				
試験の受験資格 16回中6回以上の欠席で、論文提出の資格を失うことを原則とする。				
教科書 なし。課題として読む文献については、コピーを配布する予定。				

参考書

大島弥生、池田玲子、大場理恵子、加納なおみ、高橋淑郎、岩田夏穂『ピアで学ぶ日本語表現—プロセス重視のレポート作成』ひつじ書房、2005 年

石原千秋、木股知史、小森陽一、島村輝、高橋修、高橋世織『読むための理論—文学・思想・批評』世織書房、1991 年

小笠原喜康『最新版 大学生のためのレポート・論文術』講談社現代新書、2018 年

戸田山和久『論文の教室—レポートから卒論まで』NHK 出版、2009 年

日本記号学会（編）『いのちとからだのコミュニケーション—医療と記号学の対話』慶応義塾大学出版会、2011 年

野矢茂樹『増補版 大人のための国語ゼミ』筑摩書房、2018 年

前田愛『文学テキスト入門』筑摩書房、1988 年

履修上の注意事項

出欠管理システムより、教員がとる出欠を優先させる。

時間割番号	000806			
科目名	主題別人文社会科学セミナー（制度と人間）			
担当教員	青山 豊			
開講時期	通年	対象年次	3	
木曜日 3 時限(11 時 10 分～12 時)				
対象学科:医学科、歯学科				
受講資格:主題「制度と人間」コースであること。				
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 1－2:社会制度や仕組みについての基本を理解する 1－4:異なる空間の文化を理解する 1－5:人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る 1－9:市民としての倫理観を養う				
授業の目的、概要等				
政治、そして政治的思考とはどういうことなのかを最大限奥深く掘り下げながら、政治では何をどのように決定すべきか、議会で何がどのように審議されるべきか、選挙で選ぶ国民の代表はなぜ必要で、代表には何が求められるのか、権力とは何か、人々が求める自由とは何か、国家でも市場でもない「社会」とは何か、政治が果たすべき範囲・限界をどう考えるか、政治とどのような距離感でつきあうべきか等々について考えるセミナーにしたいと考えている。この点、いま政治の現場で「憲法改正」問題が語られつつある。公権力の制限という憲法の基本的存在意義の一方で、例えば生存権保障などのように公権力には「積極的」役割もあること、今日の民主国家では国民一人ひとりが国家権力を形づくる一翼を担っていることなどを指摘しながら、国民の国家への向き合い方についての更なる探求の必要性についても問題提起していきたい。				
授業の到達目標				
現代国家における立憲主義と民主主義との併存可能性を制度構造およびその政治運用の観点から説明できるようになること。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/4	11:10-12:00	大学院講義室 3	青山 豊
2	4/11	11:10-12:00	共用セミナー室 10	青山 豊
3	4/18	11:10-12:00	共用セミナー室 10	青山 豊
4	4/25	11:10-12:00	共用セミナー室 10	青山 豊
5	5/9	11:10-12:00	共用セミナー室 10	青山 豊
6	5/16	11:10-12:00	共用セミナー室 10	青山 豊
7	5/23	11:10-12:00	共用セミナー室 10	青山 豊
8	5/30	11:10-12:00	共用セミナー室 10	青山 豊
9	6/6	11:10-12:00	共用セミナー室 10	青山 豊
10	6/13	11:10-12:00	共用セミナー室 10	青山 豊
11	6/20	11:10-12:00	共用セミナー室 10	青山 豊
12	6/27	11:10-12:00	共用セミナー室 10	青山 豊
13	7/4	11:10-12:00	共用セミナー室 10	青山 豊
14	7/11	11:10-12:00	共用セミナー室 10	青山 豊
15	7/18	11:10-12:00	共用セミナー室 10	青山 豊
16	9/26	11:10-12:00	共用セミナー室 10	青山 豊
17	10/3	11:10-12:00	共用セミナー室 10	青山 豊
18	10/10	11:10-12:00	共用セミナー室 10	青山 豊
19	10/24	11:10-12:00	共用セミナー室 10	青山 豊
20	10/31	11:10-12:00	共用セミナー室 10	青山 豊
21	11/7	11:10-12:00	共用セミナー室 10	青山 豊
22	11/14	11:10-12:00	共用セミナー室 10	青山 豊
23	11/21	11:10-12:00	アクティブラーニング教室	青山 豊
24	11/28	11:10-12:00	大学院講義室 3	青山 豊
25	12/5	11:10-12:00	大学院講義室 3	青山 豊
26	12/12	11:10-12:00	アクティブラーニング教室	青山 豊

27	12/19	11:10-12:00	アクティブラーニング教室	青山 豊
28	1/9	11:10-12:00	アクティブラーニング教室	青山 豊
29	1/16	11:10-12:00	アクティブラーニング教室	青山 豊
30	1/23	11:10-12:00	アクティブラーニング教室	青山 豊
授業方法 本セミナーでは参加者とのコミュニケーションを前提に運営されるため、毎回アクティブ・ラーニングの観点から教員と参加者との間並びに参加者間での双方向的な質疑応答を行う。				
授業内容 第1回: 憲法解釈 第2回: 天皇制とデモクラシーの歴史 第3回: 立憲主義 第4回: 不寛容社会における人権問題 第5回: メディア・リテラシー 第6回: 国民への問い 第7回: まとめ				
成績評価の方法 評価 : 試験 0 % ・ レポート 85 % ・ その他(出席) 15 %。ただし受講姿勢等に問題がある場合は別途減点対象となる。				
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。				
準備学習などについての具体的な指示 指定図書および配布プリントを事前に必ず精読し、配布プリント記載の例題に対応すること。				
教科書 高橋源一郎編著『憲法が変わるかもしれない社会』(文藝春秋、2018年)				
参考書 愛敬浩二『改憲問題』(ちくま新書、2006年)、宇野重規『〈私〉時代のデモクラシー』(岩波新書、2010年)、佐々木毅『民主主義という不思議な仕組み』(ちくまプリマー新書、2007年)、杉田敦『デモクラシーの論じ方―論争の政治』(ちくま新書、2001年)、長谷部恭男『憲法と平和を問いなおす』(ちくま新書、2004年)、樋口陽一『個人と国家』(集英社新書、2000年)、長谷部恭男『憲法とは何か』(岩波新書、2006)、長谷部恭男・杉田敦『憲法と民主主義の論じ方』(朝日新聞出版、2016年)、森政稔『変貌する民主主義』(ちくま新書、2008年)、待鳥聡史『代議制民主主義』(中公新書、2015年)、水島治郎『ポピュリズムとは何か』(中公新書、2016年)など。				
履修上の注意事項 毎回出欠を確認します。10分以上の遅刻は欠席扱いとなりますし、提出物を期限までに提出しない場合は減点対象になりますので気を付けて下さい。				
備考 キーワード: 立憲主義、民主主義、ポピュリズム、代議制、違憲審査制、安保法制、憲法改正、国民投票、参加民主主義、放送法制、緊急事態条項など				

時間割番号	000807			
科目名	主題別人文社会科学セミナー（時間と人間）			
担当教員	飯田 卓			
開講時期	通年	対象年次	3	
曜日・時間： 木曜 3 限				
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)：1-3)人間の歴史的営みを理解する、1-4)異なる空間の文化を理解する、1-5)人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る、2-5)自らテーマを見つけて、調べ、発展させ、論文にまとめる能力を養う				
授業の目的、概要等				
本セミナーでは、時間の観点から、人間あるいは人間の生死の問題について考察します。それは、私たちの経験がどのように可能であり、どのように不可能であるのかということを考えることでもあります。ただし、時間の存在を素朴に自明視したまま、人間について中心的に考察するわけではありません。たとえば、しばしばなされるように時間を「t」で表すことによって、時間を流れではなく、空間上の軌跡として捉えれば(時間の空間化)、それで事足りるといったわけではありません。むしろここで問題にしたい時間とは、「t」で表したり微分操作をしたりする以前の時間なのです。あるいは、人間の意識や行為から独立して時間なるものが存在すると想定したうえで、そのような時間が一方的に人間を規定・拘束する在り方を考察するわけでもありません。時間の実在を認める立場には、時間に関する常識的見方だけでなく、キリスト教における世界創造説、近代以降の自然科学的見方、そして人文・社会科学的見方もその大部分が含まれますが、むしろここでの目的は、そうした見方を批判的に吟味しながら、時間と人間について考察することにあります。 時間を無条件に実体化して捉える実在論的独断や、時間を主観的観念あるいは意識に還元する観念論的独断に陥ることなく、時間と人間について考察しようとするならば、時間の量的な側面(物理的・客観的時間等)、または時間の質的な側面(過去・現在・未来という様相、体験的・行為的時間等)の一方のみをもって時間の本質とみなしてしまうのではなく、なによりも両者の相互反映的な関係を問うことが求められるでしょう。すなわち、時間を二つ以上の出来事(変化)の相関(天体の運動・時計等と人間の意識・行為等との相関)と捉えたうえで、両者を媒介するような意味というものに注目し、時間というものが、さまざまな文化・社会・歴史的状況に置かれた人間を経由してはじめてその時間的意味を獲得し(たとえば、現在の行為における関心によって先取りされる未来とのかかわりが、「～するためには時間がない」や「～までにはまだ時間がある」という仕方で、時間に実質と意味を与える)、同時にこのような仕方で構成された時間を背景(前提)として人間(による時間構成)もまた成立するという、いわば自己言及的な循環から時間と人間との関係を考察する必要があるのです。時間という概念は、そのうちに人間の意識や行為を含んでいると言ってもよいでしょう。この意味で、時間への問いとは自己への問いでもあり、その解明の作業は同時に自己反省の作業となるはずです。				
授業の到達目標				
「○○とは何か」という問いは、その問い自体が○○についての一定の知識を論理的に前提しています。そして時間に関するかぎり、「○○とは何か」という問い方は、十分に吟味しなければ決して正しい問いの立て方とは言えません。というのは、時間について問うたり語ったりすること自体が、時間を必要としているという事情があるだけでなく、「時間とは何か」という問いの形式そのものが、先に述べたような時間についての一定の先入見(実体化)に基づいているために、その妥当性を吟味しなければ、この問いは問いとして正当かつ十分な資格を持ちえないからです。時間についての問い方が誤っていることは、時間にアプローチする基本的な姿勢が誤っていることにほかならないのです。このことを踏まえて本セミナーでは、まずは文献講読と討議を通して、時間を自明視しない姿勢を身につけること。そして変化や運動、継起の順序、同時性、持続や流れ、過去・現在・未来、連続性といった時間に関する基本的な諸概念を理解し、時間と人間について考察できるようになること。そのうえで、各自の興味・関心に仕掛けて執筆する「セミナー論文」において、(その主題が生物的時間であれ、物理的時間であれ、社会的時間であれ、心理的時間であれ、歴史的時間であれ、文学的時間であれ、芸術的時間であれ・・・)正しく問いを設定し、一定の結論を導くことができるようになること。以上のことを到達目標とします。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/4	11:10-12:00	共用講義室 2	飯田 卓
2	4/11	11:10-12:00	共用セミナー室 12	飯田 卓
3	4/18	11:10-12:00	共用セミナー室 12	飯田 卓
4	4/25	11:10-12:00	共用セミナー室 12	飯田 卓
5	5/9	11:10-12:00	共用セミナー室 12	飯田 卓
6	5/16	11:10-12:00	共用セミナー室 12	飯田 卓

7	5/23	11:10-12:00	共用セミナー室 12	飯田 卓
8	5/30	11:10-12:00	共用セミナー室 12	飯田 卓
9	6/6	11:10-12:00	共用セミナー室 12	飯田 卓
10	6/13	11:10-12:00	共用セミナー室 12	飯田 卓
11	6/20	11:10-12:00	共用セミナー室 12	飯田 卓
12	6/27	11:10-12:00	共用セミナー室 12	飯田 卓
13	7/4	11:10-12:00	共用セミナー室 12	飯田 卓
14	7/11	11:10-12:00	共用セミナー室 12	飯田 卓
15	7/18	11:10-12:00	共用セミナー室 12	飯田 卓
16	9/26	11:10-12:00	共用セミナー室 12	飯田 卓
17	10/3	11:10-12:00	共用セミナー室 12	飯田 卓
18	10/10	11:10-12:00	共用セミナー室 12	飯田 卓
19	10/24	11:10-12:00	共用セミナー室 12	飯田 卓
20	10/31	11:10-12:00	共用セミナー室 12	飯田 卓
21	11/7	11:10-12:00	共用セミナー室 12	飯田 卓
22	11/14	11:10-12:00	共用セミナー室 12	飯田 卓
23	11/21	11:10-12:00	共用講義室 2	飯田 卓
24	11/28	11:10-12:00	共用講義室 2	飯田 卓
25	12/5	11:10-12:00	共用講義室 2	飯田 卓
26	12/12	11:10-12:00	共用講義室 2	飯田 卓
27	12/19	11:10-12:00	共用講義室 2	飯田 卓
28	1/9	11:10-12:00	共用講義室 2	飯田 卓
29	1/16	11:10-12:00	共用講義室 2	飯田 卓
30	1/23	11:10-12:00	共用講義室 2	飯田 卓

授業方法

演習形式、アクティブラーニング

授業内容

授業は演習形式で進めてゆきますので、各回とも履修者各自による発表・質問・討議が中心となります。前半(グループ別)では、履修者の興味・関心に沿って比較的平易な時間に関する文献をいくつか選び、それらを全員で講読します。具体的には履修者のあいだで分担(発表・質問担当)を決め、発表担当者には PowerPoint を用いて内容について報告を行っていただきます。そして報告された内容をもとに討議を行うという仕方です。後半(総括セミナー)では各自の興味・関心にしたがつた研究の成果を報告していただき、その報告をもとに討議を行うという仕方です。

成績評価の方法

評価 : 試験 % ・ セミナー論文 70 % ・ その他(出席、コメントシート等) 30 %

再評価: 有(セミナー論文再提出)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

配布された文献は、次回までに熟読しておいてください。

教科書

とくに必要ありません。参考までに、これまでのセミナーで用いた文献(論文集)を一部挙げておきます。広中平祐・井上慎一・金子務[編]『時間と時——今日を豊かにするために』日本学会事務センター学会出版センター(2002 年)、村上陽一郎[編]『東京大学教養講座 3 時間と人間』東京大学出版会(1981 年)、向坊隆ほか『東京大学公開講座 時間』東京大学出版会(1980 年)、伏見康治・柳瀬睦男[編]『時間とは何か』中央公論社(1974 年)、渡辺慧・渡辺ドロテア『時間と人間』中央公論社(1979 年)、田山忠行[編]『時を編む人間——人文科学の時間論』北海道大学出版会(2015 年)、井上俊・上野千鶴子・大澤真幸・見田宗介・吉見俊哉[編]『岩波講座 現代社会学 6 時間と空間の社会学』岩波書店(1996 年)、田島節夫・坂本賢三・市川浩・坂部恵・村上陽一郎[編]『講座現代の哲学 1 時間・空間』弘文堂(1977 年)、大森荘蔵・滝浦静雄・中村雄二郎・藤沢令夫[編]『新岩波講座哲学 7 トポス 空間 時間』岩波書店(1985 年)、小安増生・白井利明[編]『発達科学ハンドブ

ック 3 時間と人間』新曜社(2011 年)、橋本毅彦・栗山茂久[編]『遅刻の誕生——近代日本における時間意識の形成』三元社(2001 年)、「別冊・数理科学 時間論の諸パラダイム」サイエンス社(2004 年)等
参考書 教場にて適宜指示しますが、さしあたり以下の文献を挙げておきます。アリストテレス『アリストテレス全集 3 自然学』岩波書店(1987 年)、H.ベルクソン『意識に直接与えられたものについての試論』ちくま学芸文庫(2002 年)、E.フッサール『内的時間意識の現象学』みすず書房(1970 年)、M.ハイデガー『存在と時間』岩波文庫(2013 年)、E.ミンコフスキー『生きられる時間——現象学的・精神病理学的研究』みすず書房(1972 年)、E.マッハ『時間と空間』法政大学出版局(2008 年)、P.ホーウィツ『時間に向きはあるか』丸善(1992 年)、R.モリス『時間の矢』地人選書(1987 年)、B.リベット『マインド・タイム——脳と意識の時間』岩波書店(2005 年)、P.J.ズワルト『時間について』紀伊國屋書店(1980 年)、J.メイザー『ゼノンのパラドックス——時間と空間をめぐる 2500 年の謎』白揚社(2009 年)、R.ペドヴィン『時間と空間をめぐる 12 の謎』岩波書店(2012 年)、B.アダム『時間と社会理論』法政大学出版局(1997 年)、渡辺慧『時』河出書房新社(2012 年)、大森荘蔵『時間と自我』青土社(1992 年)、滝浦静雄『時間』岩波新書(1976 年)、植村恒一郎『時間の本性』勁草書房(2002 年)、入不二基義『時間は実在するか』講談社現代新書(2002 年)、中島義道『「時間」を哲学する』講談社現代新書(1996 年)、青山拓央『タイムトラベルの哲学』ちくま文庫(2011 年)、野家啓一『物語の哲学』岩波現代文庫(2005 年)、真木悠介『時間の比較社会学』岩波現代文庫(2003 年)、今村仁司『近代性の構造——「企て」から「試み」へ』講談社選書メチエ(1994 年)、西本郁子『時間意識の近代——「時は金なり」の社会史』法政大学出版局(2006 年)、内山節『時間についての十二章——哲学における時間の問題』岩波書店(1993 年)、木村敏『時間と自己』中公新書(1982 年)、広井良典『生命と時間——科学・医療・文化の接点』勁草書房(1994 年)、本川達雄『ゾウの時間 ネズミの時間』中公新書(1992 年)、M.エンデ『モモ』岩波少年文庫(2005 年)、A.ハート=デイヴィス『時間の図鑑』悠書館(2012 年)、A.カレル『人間 この未知なるもの』三笠書房(1992 年)等
履修上の注意事項 毎回コメントシートを配布し、出欠をとります。

東京医科歯科大学全学共通科目履修規則

平成 16 年 4 月 1 日
規則 第 217 号

(趣旨)

第1条 東京医科歯科大学における全学に共通する教育科目（以下「全学共通科目」という。）の履修に関しては、東京医科歯科大学学則（平成16年規程第4号。以下「学則」という。）に定めるもののほか、この規則の定めるところによる。

(授業科目の編成)

第2条 全学共通科目における授業科目は、次の4系をもって編成する。

自由教育講義系
自由教育実習系
自由教育セミナー系
基礎教育系

(授業科目及び単位数)

第3条 前条の各系に属する授業科目及び修得すべき単位数等は、別表1に定めるとおりとする。

2 前項の授業科目及び修得すべき単位数等は、教養部教授会の意見を聴いて学長が定めるものとする。

(1単位当たりの授業時間)

第4条 学則第36条に定める1単位当たりの授業時間は、次のとおりとする。

- (1) 講義及び演習については、15時間から30時間
- (2) 実験及び実習については、30時間から45時間

2 前項の授業時間の設定においては、次の事項に配慮しなければならない。

- (1) 学習目標を十分に満たすこと
- (2) 履修時間及び自主的学修時間の確保

(履修届)

第5条 学生は、別に定める授業科目の中から、履修しようとする授業科目を所定の期日までに届け出なければならない。

(定期試験)

第6条 履修した授業科目については、試験を行う。

2 前項の規定にかかわらず、実験、実習を伴う授業科目又は試験を行うことが困難な授業科目等で、平常の学修の成果を評価して成績を与えることが適切と認められる場合には、試験によらず、指定した課題についての報告等をもって試験に代えることができる。

3 第1項の試験については、別に定める。

4 試験に合格したときは、所定の単位を与える。

(学習の評価)

第7条 履修した授業科目の成績については、別表2により学習の評価を行う。

2 前項の規定にかかわらず、前条第2項に該当する授業科目のうち、第1項により難しい場合の学習の評価は、別表3により行う。

3 第1項及び第2項の学習の評価に、平常の学修の成果を加味することができる。

4 教養部長は、学習の評価の結果を学生に通知する。

(再履修)

第8条 前条により、「不可」又は「不合格」の評価を得た授業科目については、所定の手続きにより再履修することができる。

(懲戒)

第9条 教養部長は、懲戒に相当すると思われる行為があったときは、学則第58条に定める懲戒の手続きをとるものとする。なお、手続きについては別に定める。

(進級要件)

- 第10条 別表1(1)に定める単位をすべて修得しなければ、第2学年に進級することができない。
- 2 別表1(2)に定める単位をすべて修得しなければ、第3学年に進級することができない。
- 3 別表1(3)に定める単位をすべて修得しなければ、第4学年に進級することができない。
- 4 別表1(4)に定める単位をすべて修得しなければ、卒業することはできない。
- 5 全学共通科目の単位の認定については、教養部教授会の議を経て、教養部長がこれを行う。
- 6 教養部長は、前項の認定の結果について各学部長に通知する。
- 7 2年以内に、別表1(1)に定める単位をすべて修得することができない学生は、特別に考慮すべき事由のない限り、学則第33条第1項第1号に規定する「成業の見込みがない」者として、同条により除籍する。ただし、当該期間には、休学の期間を算入しない。
- 8 前項の場合において、大学は、教授会等における審議を行う前に、除籍の対象となる学生に対し、書面又は口頭による弁明の機会を与えなければならない。ただし、当該学生が、弁明の機会を与えられたにもかかわらず、正当な理由なく欠席し、又は文書を提出しなかった場合は、この権利を放棄したものとみなす。
- 9 第7項の場合において、教授会等における審議の後、当該学生から不服が申立てられた場合で、教養部長が再審議の必要性があると判断したときは、教養部長は、教務委員会等に再度審議を行わせるものとする。

(歯学部口腔保健学科編入学生の履修)

第11条 学則第18条及び第18条の2に定める歯学部口腔保健学科編入学生の全学共通科目に係る履修については、別に定める。

(補則)

第12条 この規則に定めるもののほか、全学共通科目の履修に関する必要な事項は、教養部教授会が別に定める。

附 則

- 1 この規則は、平成16年4月1日から施行する。
- 2 国立大学法人の成立前の東京医科歯科大学に平成16年3月31日に在学し、引き続き本学の在学者となったもの(以下「在学者」という。)及び平成16年4月1日以後在学者の属する学年に再入学、転入学及び編入学する者の教育課程の履修については、この規則の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則(平成18年3月31日規則第10号)

- 1 この規則は、平成18年4月1日から施行する。
- 2 平成18年3月31日において、現に本学に在学する者(以下「在学者」という。)および平成18年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表1の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則(平成20年3月31日規則第8号)

- 1 この規則は、平成20年4月1日から施行する。
- 2 平成20年3月31日において現に本学に在学する者(以下「在学者」という。)及び平成20年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表(1)

の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成 21 年 3 月 19 日規則第 11 号）

- 1 この規則は、平成 21 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 平成 21 年 3 月 31 日において現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成 21 年 4 月 1 日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表（1）の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成 22 年 3 月 30 日規則第 40 号）

- 1 この規則は、平成 22 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 平成 22 年 3 月 31 日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成 22 年 4 月 1 日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表 1、別表 2 及び別表 3 の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成 23 年 3 月 4 日規則第 14 号）

- 1 この規則は、平成 23 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 平成 23 年 3 月 31 日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成 23 年 4 月 1 日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、この規則にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成 28 年 2 月 25 日規則第 3 号）

- 1 この規則は、平成 28 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 平成 28 年 3 月 31 日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成 28 年 4 月 1 日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、この規則にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成 28 年 3 月 4 日規則第 12 号）

この規則は、平成 28 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 28 年 3 月 31 日規則第 72 号）

- 1 この規則は、平成 28 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 平成 28 年 3 月 31 日において現に本学に在学する者が履修した科目の学習の評価については、次のとおり読み替えるものとする。

評価区分	評価
秀	A+
優	A
良	B
可	C
不可	D

附 則（平成 29 年 3 月 31 日規則第 53 号）

- 1 この規則は、平成 29 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 平成 29 年 3 月 31 日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成 29 年 4 月 1 日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、この規則にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成 30 年 5 月 1 日規則第 31 号）

この規則は、平成 30 年 5 月 1 日から施行し、平成 30 年 4 月 1 日から適用する。

附 則（平成 30 年 10 月 24 日規則第 号）

この規則は、平成 31 年 4 月 1 日から施行する。

別表 1
(1)第1学年

授 業 科 目			修 得 す べ き 単 位 数						備考
			医 学 部			歯 学 部			
			医学科	保健衛生学科		歯学科	口腔保健学科		
				看護学 専攻	検査技 術学専 攻		口腔保 健衛生 学専攻	口腔保 健工学 専攻	
自由教育講義系	人文科学・社会科学	哲学Ⅰ	8	8	8	8	8	8	選択科目 1科目 2単位
		哲学Ⅱ							
		倫理学Ⅰ							
		倫理学Ⅱ							
		心理学Ⅰ							
		心理学Ⅱ							
		宗教学Ⅰ							
		宗教学Ⅱ							
		芸術Ⅰ							
		芸術Ⅱ							
		歴史学AⅠ							
		歴史学AⅡ							
		歴史学BⅠ							
		歴史学BⅡ							
		民俗学Ⅰ							
		民俗学Ⅱ							
		科学史Ⅰ							
		科学史Ⅱ							
		文学AⅠ							
		文学AⅡ							
		文学BⅠ							
		文学BⅡ							
		法学Ⅰ							
		法学Ⅱ							
		政治学Ⅰ							
		政治学Ⅱ							
		経済学Ⅰ							
		経済学Ⅱ							
		社会学AⅠ							
		社会学AⅡ							
		社会学BⅠ							
		社会学BⅡ							
		社会心理学Ⅰ							
		社会心理学Ⅱ							
社会思想史Ⅰ									
社会思想史Ⅱ									
文化人類学Ⅰ									
文化人類学Ⅱ									
社会科学特論Ⅰ									

		社会科学特論Ⅱ						
		Japanese Culture and Society I						
		Japanese Culture and Society II						
		グローバル教養科目 (注1)						
	自然科学	物理学入門	1 (注2)		1 (注2)	1 (注2)		選択科目
		生物学入門						
		化学入門						
		数学Ⅰ	1		1	1		必修科目
		物理学Ⅰ	1		1	1		
		数学Ⅱ	1 (注3)			1 (注3)		医学科・歯学科は、選択科目。検査技術学専攻は、必修科目。
		物理学Ⅱ			1			
		統計学		1	1		1	必修科目
		化学	2		2	2		
		化学基礎		1			1	
		生物学	2		2	2		
		細胞生物学基礎		1			1	
		人体の生物学基礎		1			1	
自由教育実習系	外国語	英語	4	4	4	4	4	必修科目
		日本語(注4)	4	4	4	4	4	選択科目 1科目 4単位
		ドイツ語						
		フランス語						
		中国語						
		スペイン語						
	自然科学	物理学実験	1			1		必修科目
		化学実験	1			1		
		生物学実験	1			1		
		サイエンスPBL入門	1			1		

		科学基礎実験		1 (注 5)	1		1 (注 5)	1 (注 5)	看護学専攻・口腔保健衛生学専攻・口腔保健工学専攻は、選択科目。検査技術学専攻は、必修科目。
		科学基礎演習							
		情報科学		1	1		1	1	
		情報処理	1			1			
	保健 体育	スポーツ・健康科学	1	1	1	1	1	1	必修科目
		フィットネスマネージメント	1	1	1	1	1	1	
自由 教育 セミナー系	共通 領域	共通領域セミナー科目	2	1	1	2	1	1	必修科目(具体的な科目名は、全学共通科目教育要項に定める。)
基礎 教育 系	共通 領域	教養総合講座	1	1	1	1	1	1	必修科目
第1学年 小計			34	26	31	34	26	26	

(注)

- 1 詳細は、全学共通科目教育要項に定める。
- 2 医学部医学科、保健衛生学科検査技術学専攻及び歯学部歯学科の学生については物理学入門、生物学入門、化学入門のうちから1科目(1単位)を選択する。
- 3 医学部医学科及び歯学部歯学科の学生については数学Ⅱ、物理学Ⅱのうちから1科目(1単位)を選択する。
- 4 外国人留学生のみ履修できる。
- 5 保健衛生学科看護学専攻及び口腔保健学科の学生については科学基礎実験又は科学基礎演習のいずれか1科目(1単位)を選択する。

(2)第2学年

授 業 科 目			修 得 す べ き 単 位 数						備考
			医 学 部			歯 学 部			
			医学科	保健衛生学科		歯学科	口腔保健学科		
				看護学 専攻	検査技 術学専 攻		口腔保 健衛生 学専攻	口腔保 健工学 専攻	
基礎 教育系	教養 教育	生命科学基礎	2			2			必修 科目
		主題別選択Ⅰ	1			1			
	連携 教育	教養英語				4			
		情報科学演習				1			
		サイエンスPBL				1			
		生命科学(人体の生物学)				2			
		生命科学(生物物理化学)				2			
		人文社会科学総合講義				2			
		医療人間学概論 (倫理学)		1					
		医療人間学概論 (法学)		1					
		医療人間学セミナー		1					
		第2学年 小計			3	3		15	

(3)第3学年

授 業 科 目			修 得 す べ き 単 位 数						備 考
			医 学 部			歯 学 部			
			医学科	保健衛生学科		歯学科	口腔保健学科		
				看護学 専攻	検査技 術学専 攻		口腔保 健衛生 学専攻	口腔保 健工学 専攻	
基礎 教育系	教養 教育	主題別選択Ⅱ	1			1			必修 科目
		主題別人文社会科学セ ミナー	2			2			
第3学年 小計			3			3			

(4) 第 4 学年

授 業 科 目			修 得 す べ き 単 位 数					備考	
			医 学 部			歯 学 部			
			医学科	保健衛生学科		歯学科	口腔保健学科		
				看護学 専攻	検査技術学専攻		口腔保健衛生学専攻		口腔保健工学専攻
基礎 教育系	連携 教育	医療人間学概論（法学）			1				必修 科目
第 4 学 年 小 計					1				
全学共通科目 合計			40	29	32	52	26	26	

別表2

摘要	評価基準	評価	単位認定
第 7 条第 1 項に該当する授業科目	当該科目の到達目標を期待された水準を超えて達成した	A+	合格
	当該科目の到達目標を全て達成した	A	
	当該科目の到達目標を概ね達成した	B	
	当該科目の到達目標のうち最低限を達成した	C	
	当該科目の到達目標を達成していない	D	不合格
	到達目標の達成度を評価できない	F	

別表3

摘要	評価基準	評価	単位認定
第 7 条第 2 項に該当する授業科目	当該科目の到達目標を達成している	合格	合格
	当該科目の到達目標を達成していない	不合格	不合格